

いすみ市  
子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
【結果報告書】

令和6年9月

いすみ市

## 目次

I	調査の概要	1
II	調査結果 就学前児童の保護者	2
1.	お子さんご家族の状況について	2
2.	保護者の就労状況について	4
3.	子育て環境などについて	8
5.	平日の定期的な教育・保育施設の利用について<利用希望について>	22
6.	土曜・休日や長期休暇中の教育・保育施設の利用希望について	26
7.	不定期の保育事業（一時預かり等）の利用について	29
8.	病気の際の対応について	38
9.	地域の子育て支援事業の利用状況について	44
III	調査結果 小学生児童の保護者	46
1.	お子さんご家族の状況について	46
2.	保護者の就労状況について	48
3.	子育て環境などについて	53
4.	お子さんの放課後のすごしかたについて	60
5.	お子さんの病気の際の対応について	66
6.	宿泊を伴う一時預かりについて	71
IV	調査結果 中学生生徒	73

# I 調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、令和2年3月に策定した「いすみ市第2期子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度に終了することに伴い、令和7年（2025）年度からの「いすみ市第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定基礎資料とするため、市における子ども子育て家庭の状況や市民の意識と生活実態等子育て支援に関するニーズ量等の把握を目的として実施しました。

## (2) 調査対象者

調査区分	調査対象者数	調査方法
就学前児童の保護者	861人	郵送またはWeb
小学生児童の保護者	1,289人	郵送またはWeb
中学生生徒	765人	Web

## (3) 調査期間

調査区分	調査期間
就学前児童の保護者	令和6年7月19日～令和6年8月16日
小学生児童の保護者	令和6年7月18日～令和6年8月16日
中学生生徒	令和6年7月17日～令和6年8月13日

## (4) 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	861人	569件	56.9%
小学生児童の保護者	1,289人	641件	53.4%
中学生生徒	765人	698件	93.1%

## (5) 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- グラフ中の「n」とは、その設問の回答者数（母数）を表しています。
- 選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。
- 就学前児童の生年月による年度年齢表示は、下記のとおり年齢、保育所クラスになります。

生年月	年齢
平成30年度	6歳・年長
令和元年度（平成31年度）	5歳・年中
令和2年度	4歳・年少
令和3年度	3歳
令和4年度	2歳
令和5年度	1歳
令和6年度	0歳

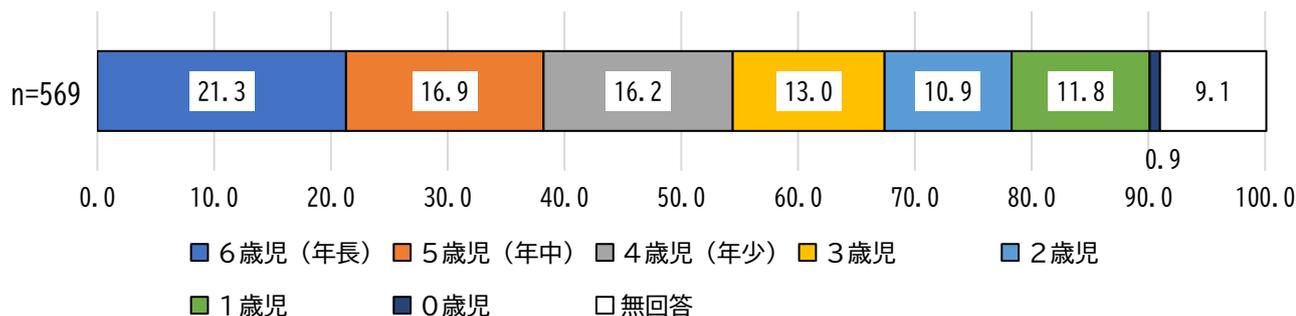
## Ⅱ 調査結果 就学前児童の保護者

### 1. お子さんご家族の状況について

問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(1) お子さんの生年月月をご記入ください。

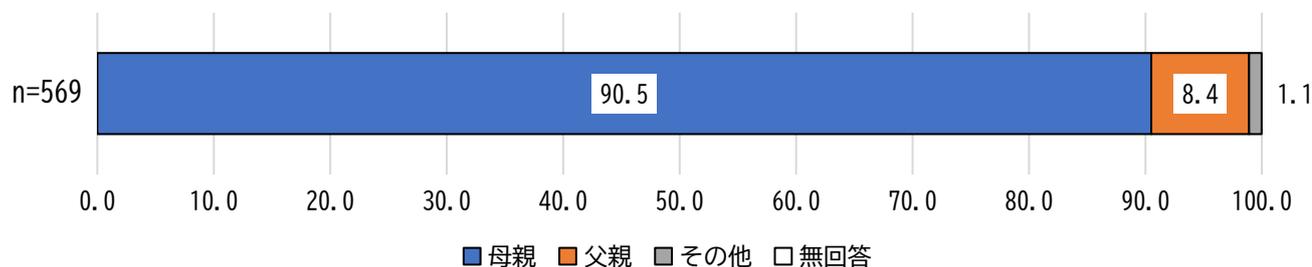
お子さんの生年月月は、「6歳児（年長）」が21.3%で最も高く、次いで「5歳児（年中）」が16.9%、「4歳児（年少）」が16.2%が続いています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(2) ご回答いただく方

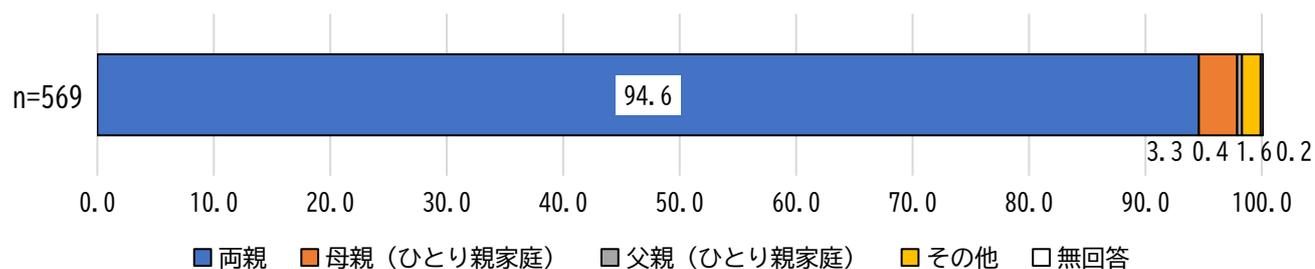
この調査にご回答いただいた方は、「母親」が90.5%、「父親」が8.4%、「その他」が1.1%となっています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(3) 保護者

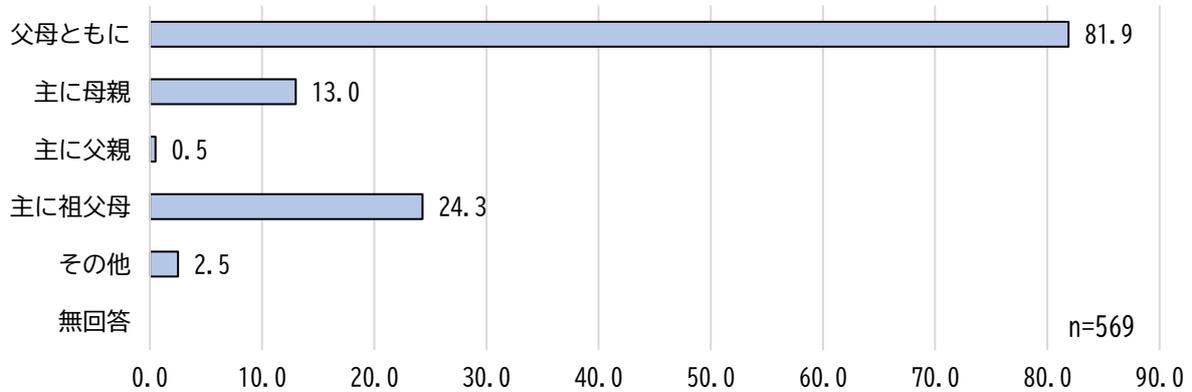
保護者の状況としては、「両親」が94.6%で最も高く、次いで「母親（ひとり親家庭）」が33.3%、「父親（ひとり親家庭）」が0.4%、「その他」が1.6%が続いています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(4) お子さんの子育て(教育を含む)を主にご家庭でしている方

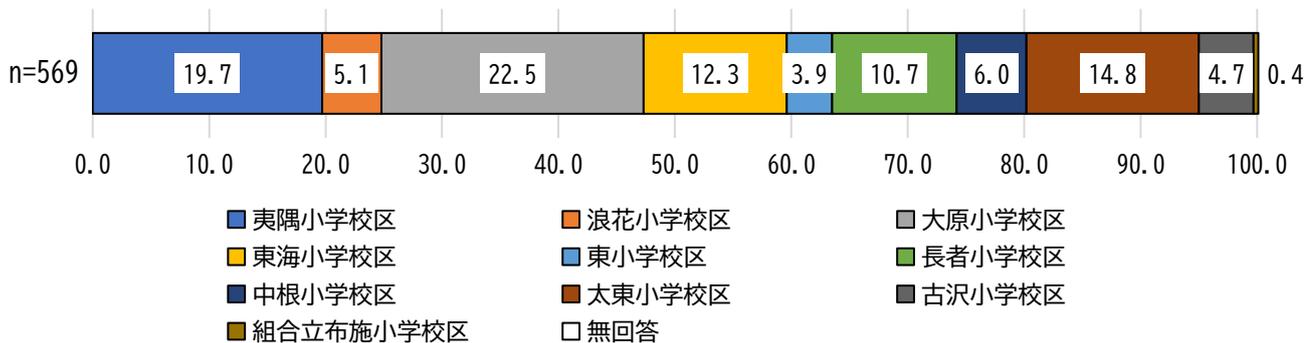
お子さんの子育て(教育を含む)を主に家庭でしている方は、「父母ともに」が81.9%で最も高く、次いで「主に祖父母」が24.3%、「主に母親」が13.0%が続いています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(5) お住まいの小学校区はどちらですか。

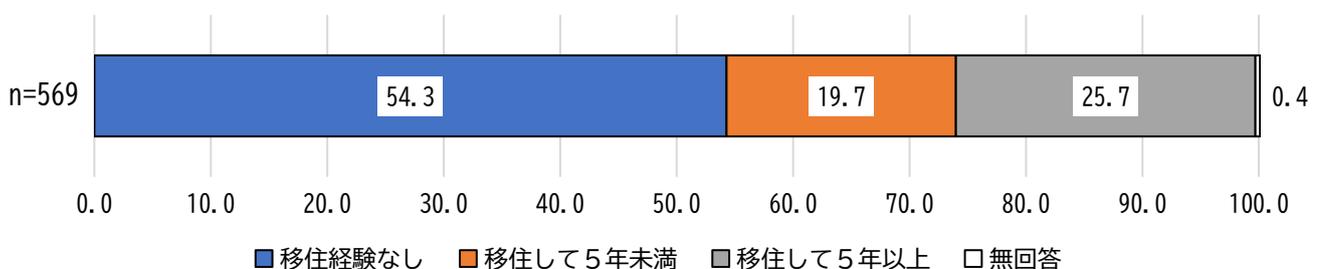
お住まいの小学校区は、「大原小学校区」が22.5%で最も高く、「夷隅小学校区」が19.7%、「太東小学校区」が14.8%が続いています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(6) いすみ市に移住してきましたか。

いすみ市への移住については、「移住経験なし」が54.3%、「移住して5年未満」が19.7%、「移住して5年以上」が25.7%となっています。

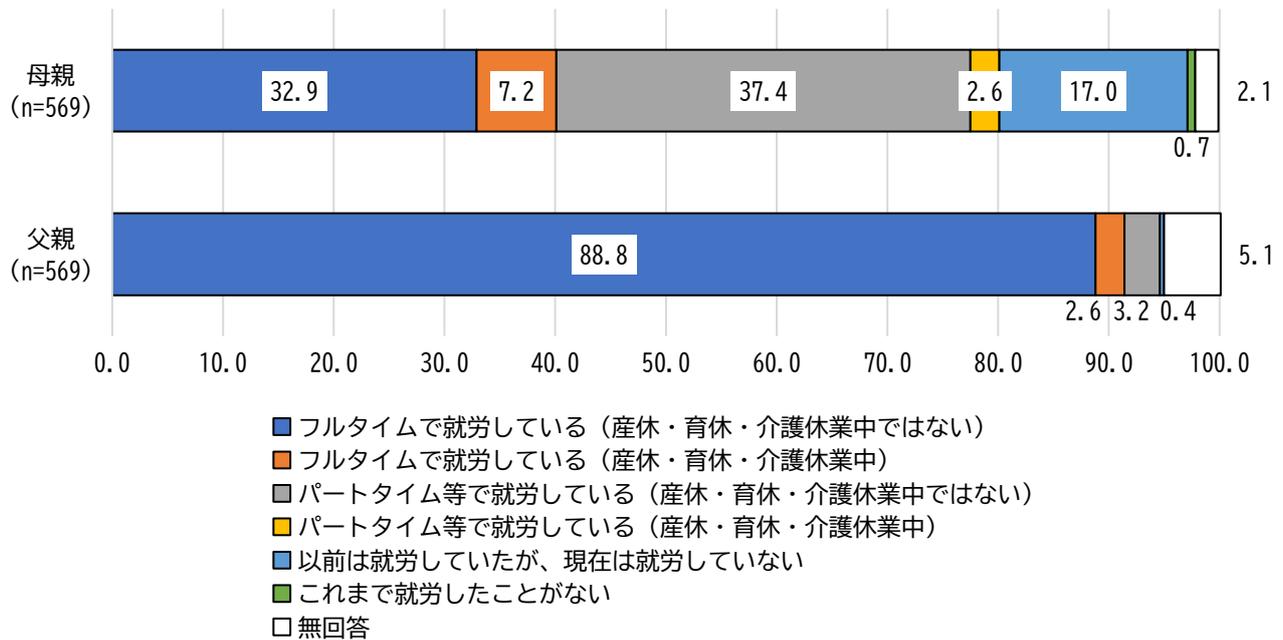


## 2. 保護者の就労状況について

問2 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

母親の現在の就労状況について、「パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」が37.4%で最も高く、次いで「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」が32.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が17.0%となっています。

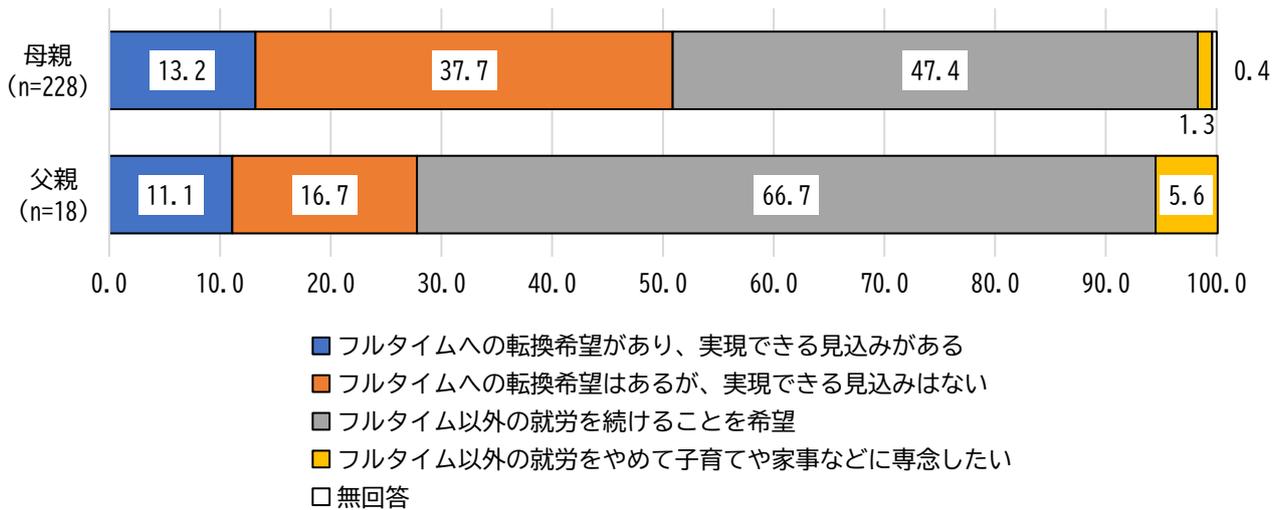
父親の現在の就労状況について、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」が88.8%で最も高く、次いで「パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」が3.2%、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中）」が2.6%で続いています。



問 2-1、問 2-2 で「3」または「4」（フルタイム以外で就労）に○をつけた方におうかがいします。  
問3 フルタイムへの転換希望はありますか。

母親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 47.4%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 37.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 13.2%となっています。

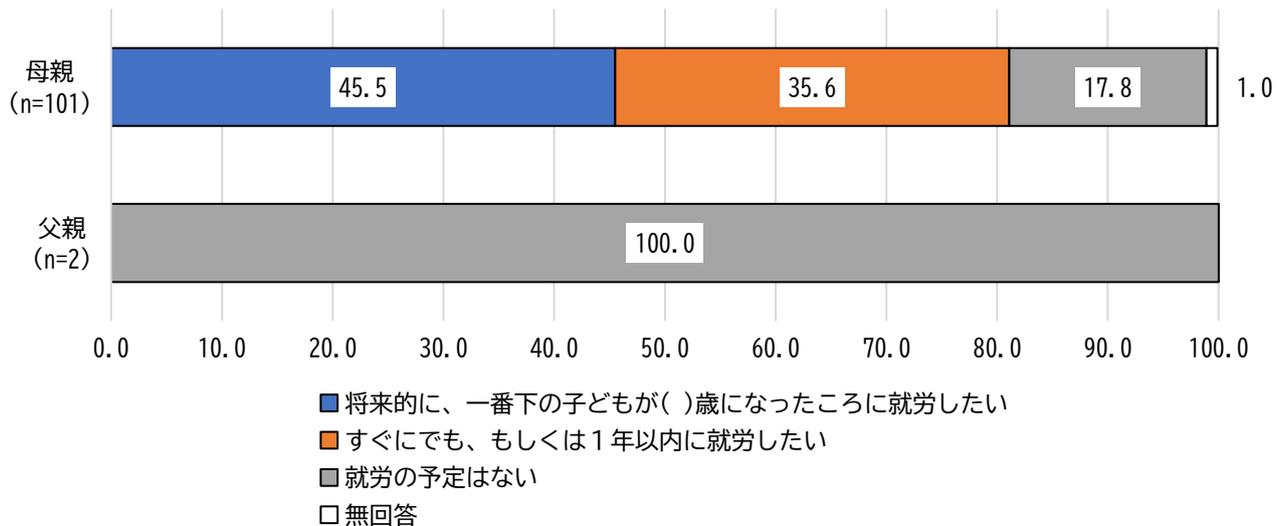
父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 66.7%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 16.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 11.1%となっています。



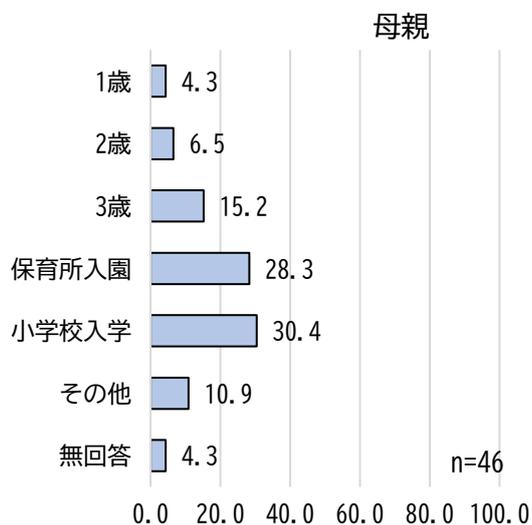
問 2-1 (母親)、問 2-2 (父親) で「5」または「6」に○をつけた方におうかがいします。  
 問 4 就労したいという希望はありますか。当てはまるものそれぞれ1つに○をつけ、該当する( )内には数字をご記入ください。

母親の就労希望については、「将来的に、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」が45.5%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が35.6%、「就労の予定はない」が17.8%となっています。

父親の就労希望については、「就労の予定はない」が100.0%となっています。

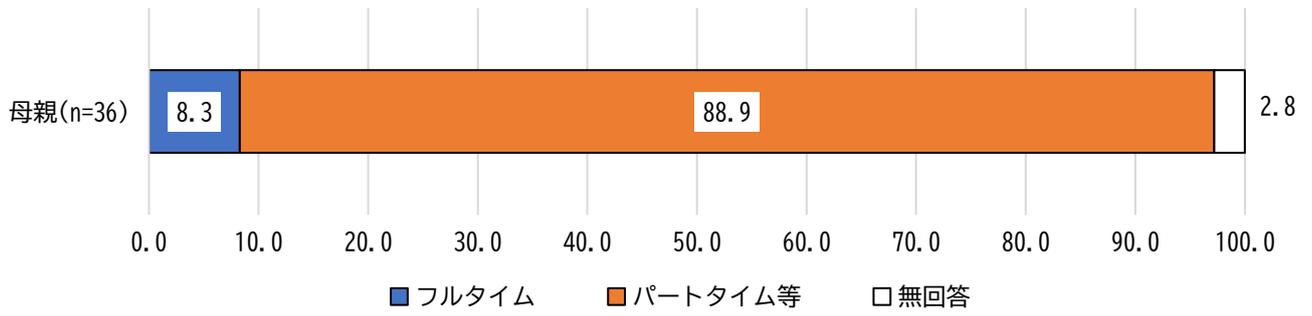


・一番下のお子さんが何歳になったところに就労したいか。



・希望する就労形態

母親の希望する就労形態は、「パートタイム等」が88.9%で最も高くなっています。

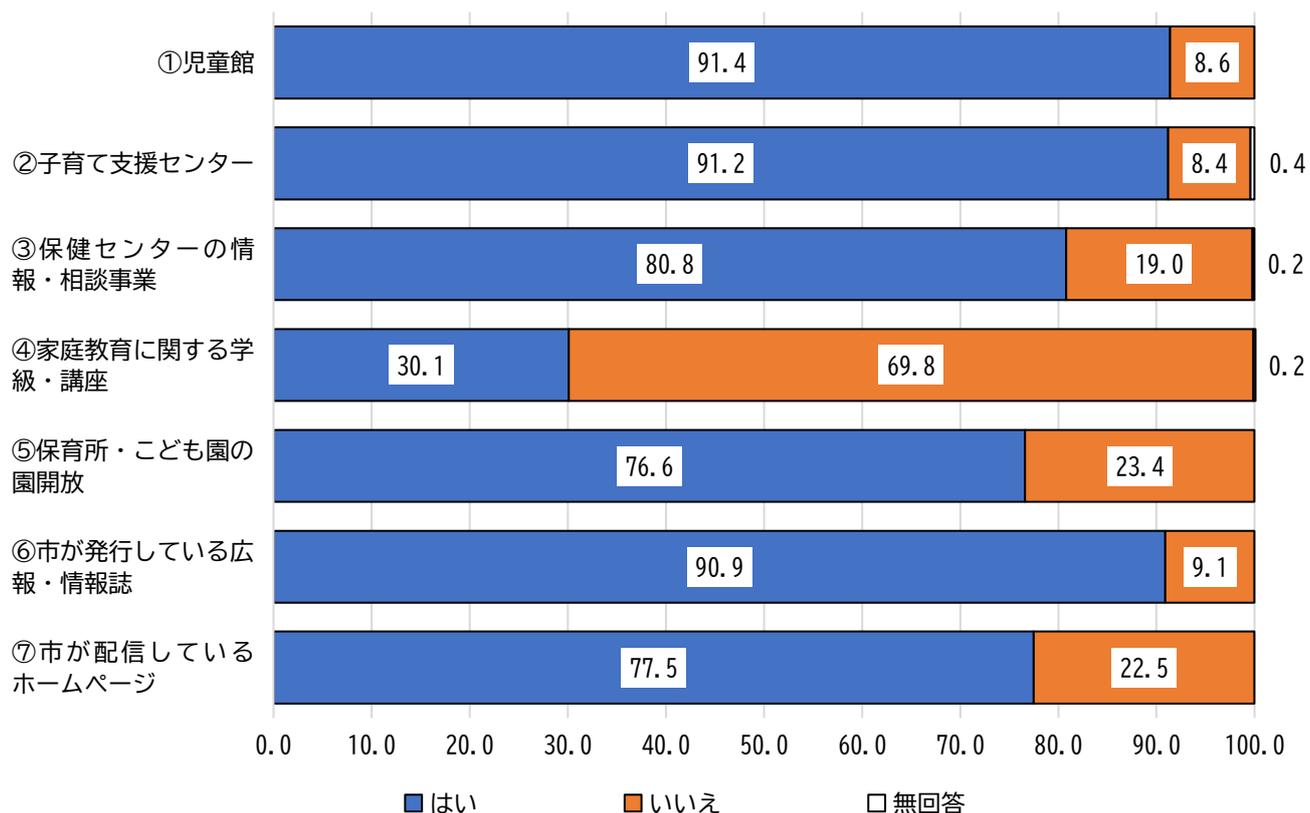


### 3. 子育て環境などについて

問5 下記の①～⑦の取り組みについて、(1) 周知状況 (2) 利用状況 (3) 今後の利用希望についてお答えください。

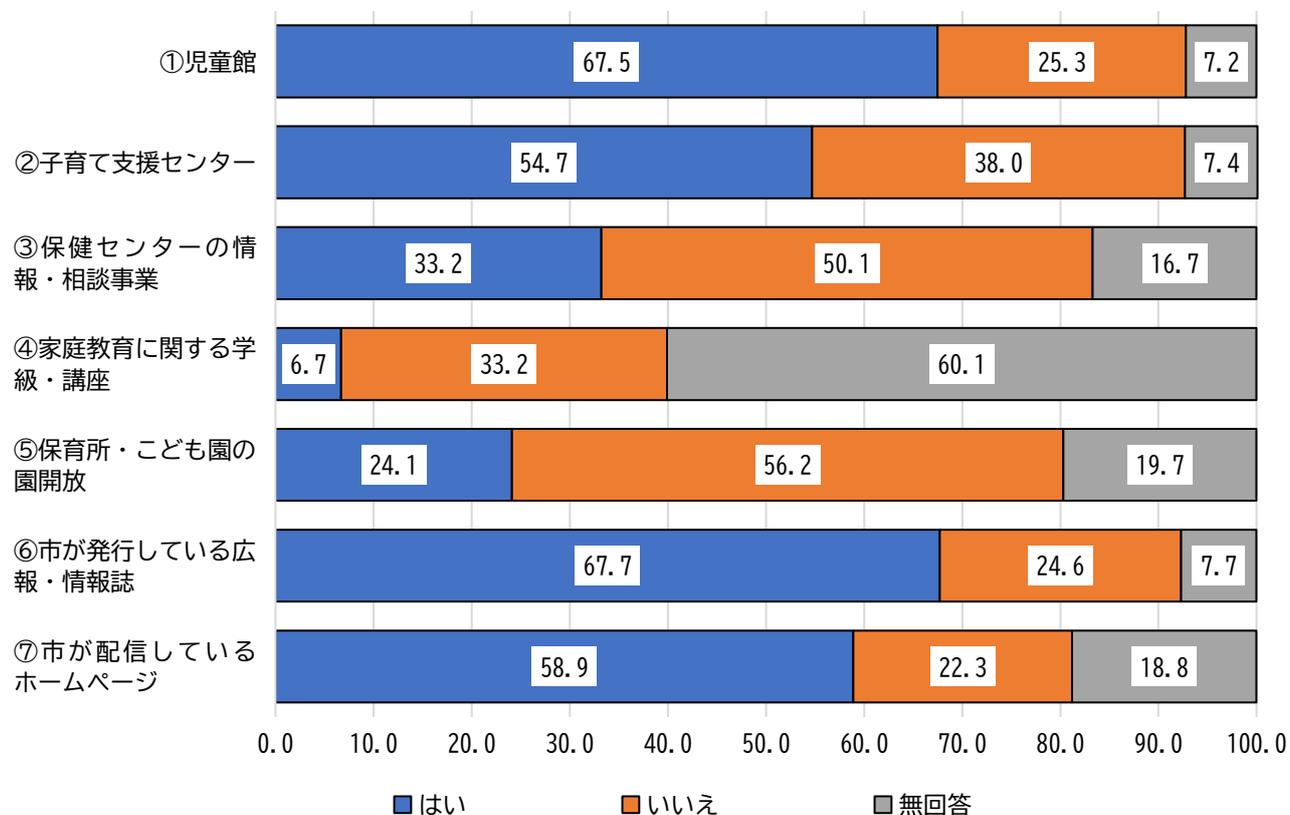
#### (1) 周知状況

取り組みの周知状況としては、「児童館」が91.4%で最も高く、次いで「子育て支援センター」が91.2%、「市が発行している広報・情報誌」が90.9%が続いています。



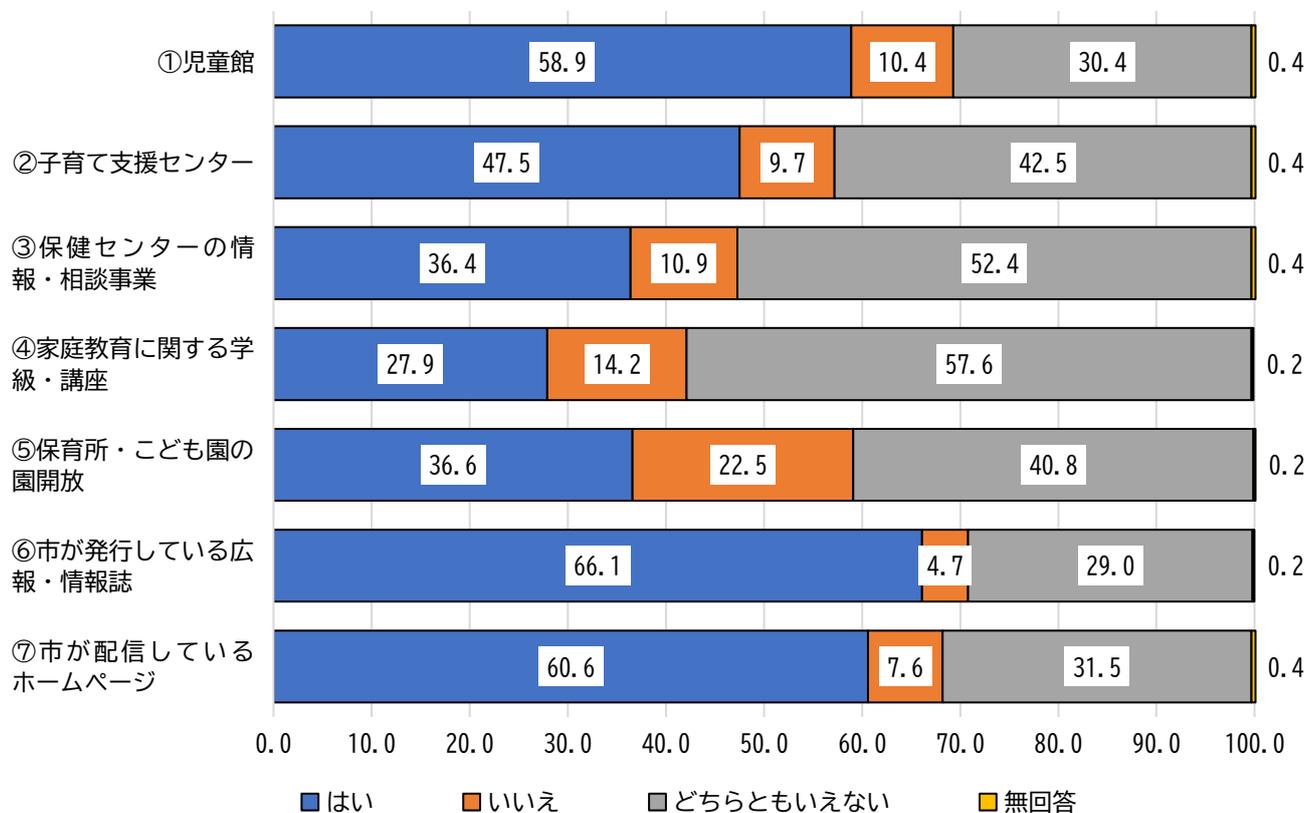
## (2) 利用状況

取り組みの利用状況としては、「市が発行している広報・情報誌」が67.7%で最も高く、次いで「児童館」が67.5%、「市が配信しているホームページ」が58.9%が続いています。



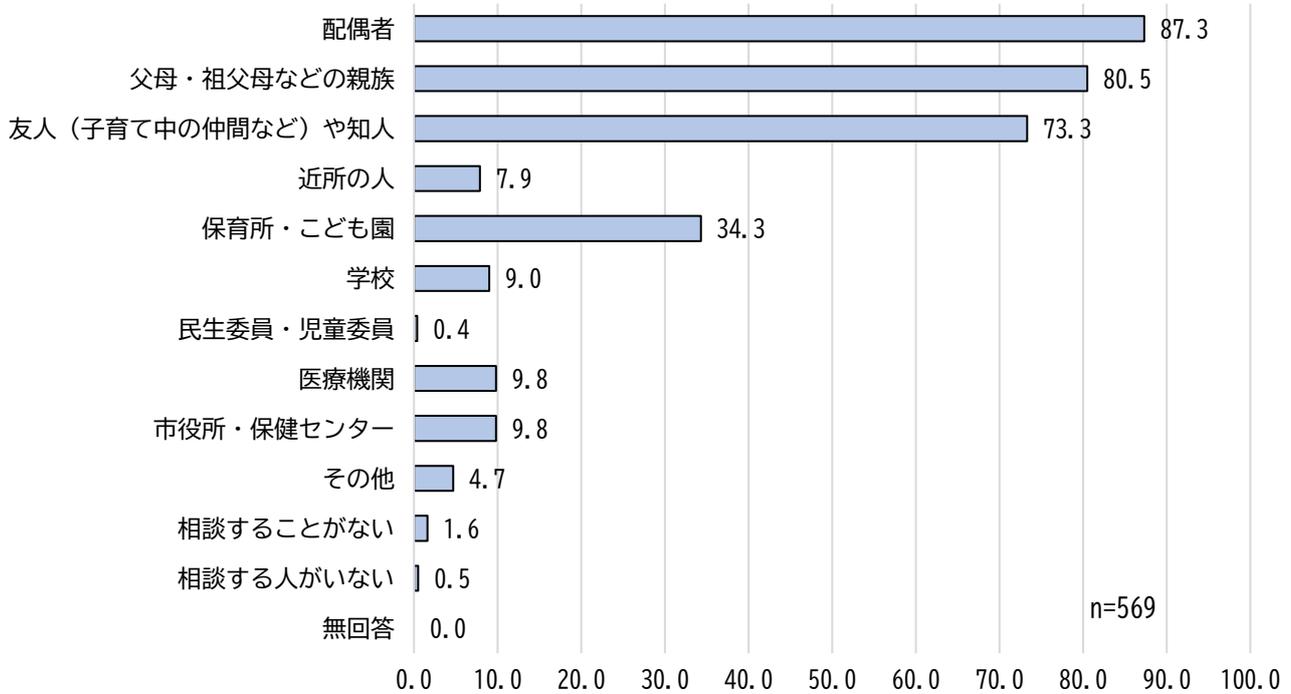
### (3) 今後の利用希望

取り組みの今後の利用状況としては、「市が発行している広報・情報誌」が66.1%で最も高く、次いで「市が配信しているホームページ」が60.6%、「児童館」が58.9%が続いています。



問6 日ごろ、子育てに関する悩みをどのような人、または機関に相談していますか。

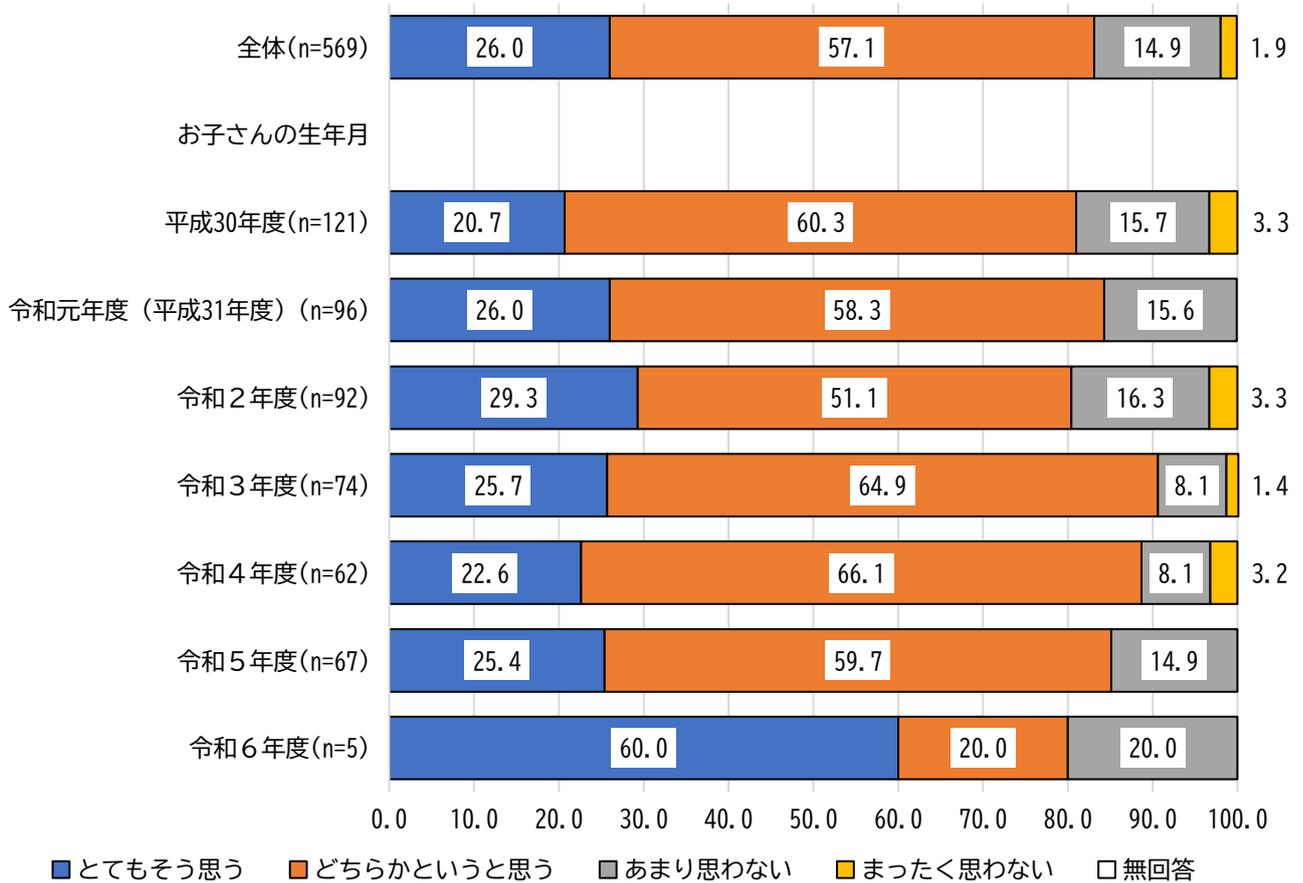
子育てに関する悩みを相談する人、または相談する機関は、「配偶者」が87.3%で最も高く、次いで「父母・祖父母などの親族」が80.5%、「友人（子育て中の仲間など）や知人」が73.3%が続いています。



問7 あなたは、いすみ市は子育てをしやすい環境であると感じていますか。

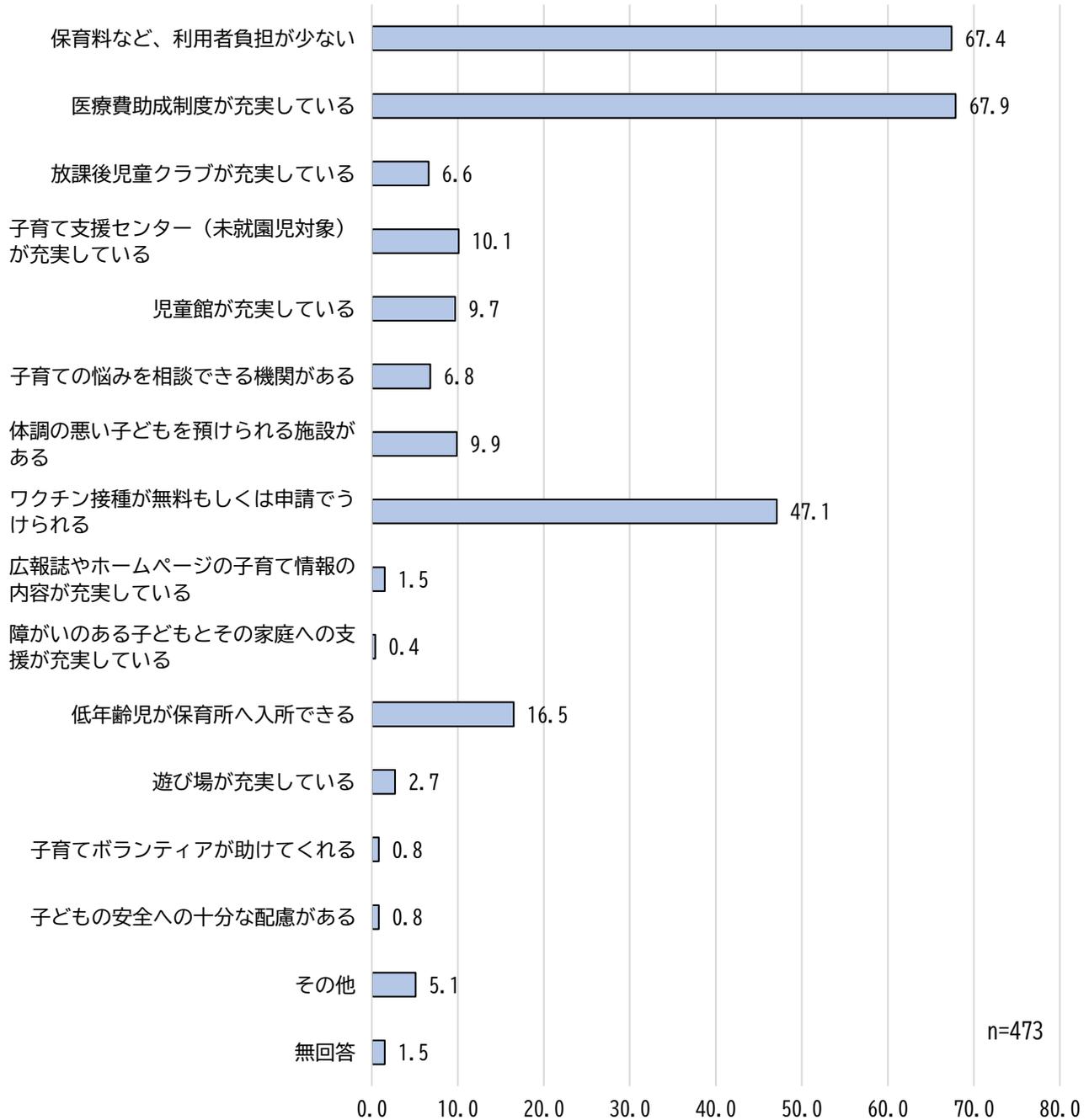
子育てをしやすい環境であると感じるかについて、「とてもそう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』は83.1%となっています。

お子さんの生年月別でみると、すべての制年月で『そう思う』の割合が高くなっており、「令和3年度」に生まれたお子さんの家庭では90.6%となっています。



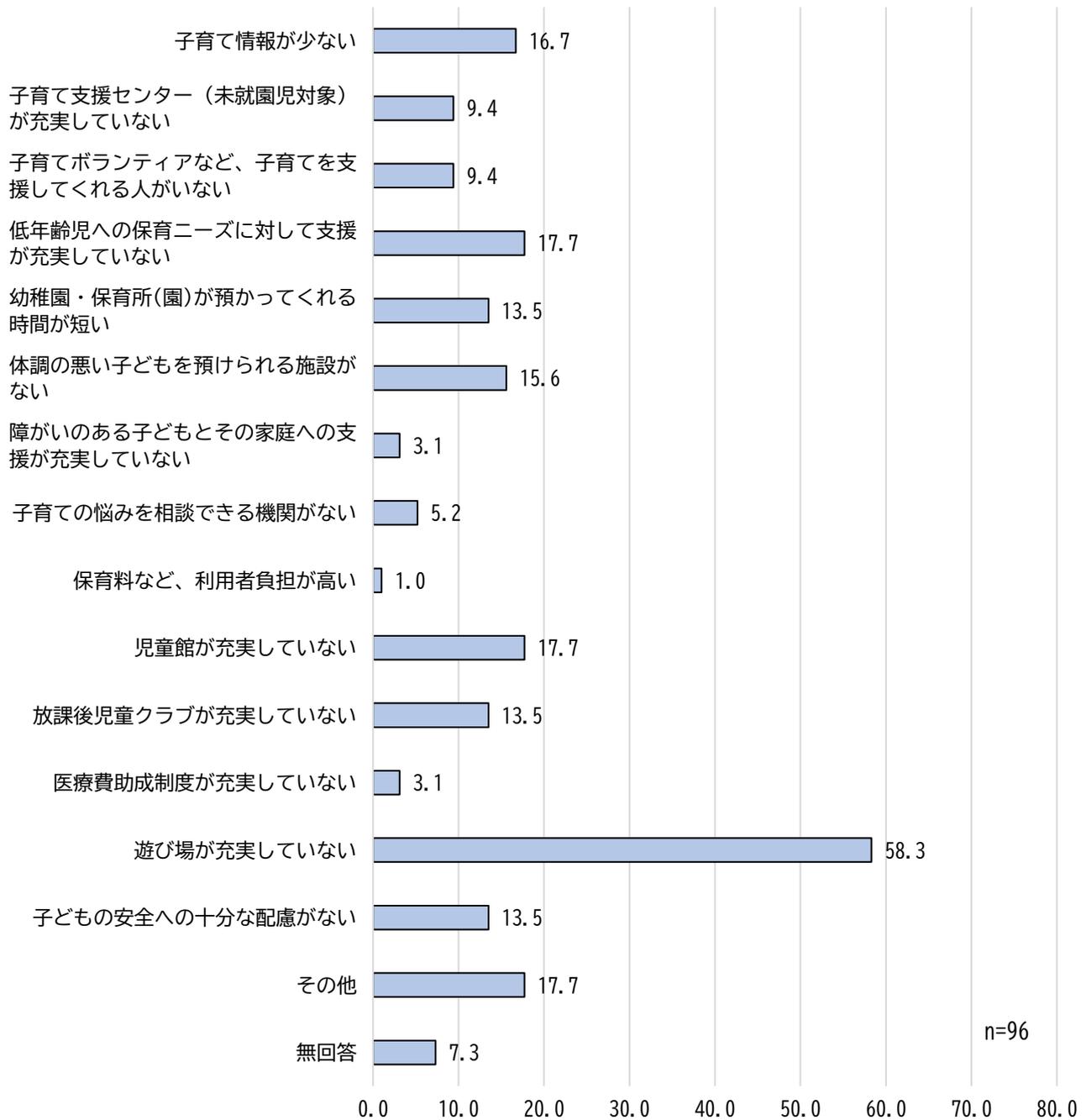
問7で、「1.とてもそう思う」「2.どちらかというと思う」に○をつけた方におうかがいします。  
 問8 いすみ市のどんなところが、子育てをしやすいと感じますか。

いすみ市のどんなところが、子育てをしやすいと感じるかについて、「医療費助成制度が充実している」が67.9%で最も高く、次いで「保育料など、利用者負担が少ない」が67.4%、「ワクチン接種が無料もしくは申請で受けられる」が47.1%が続いています。



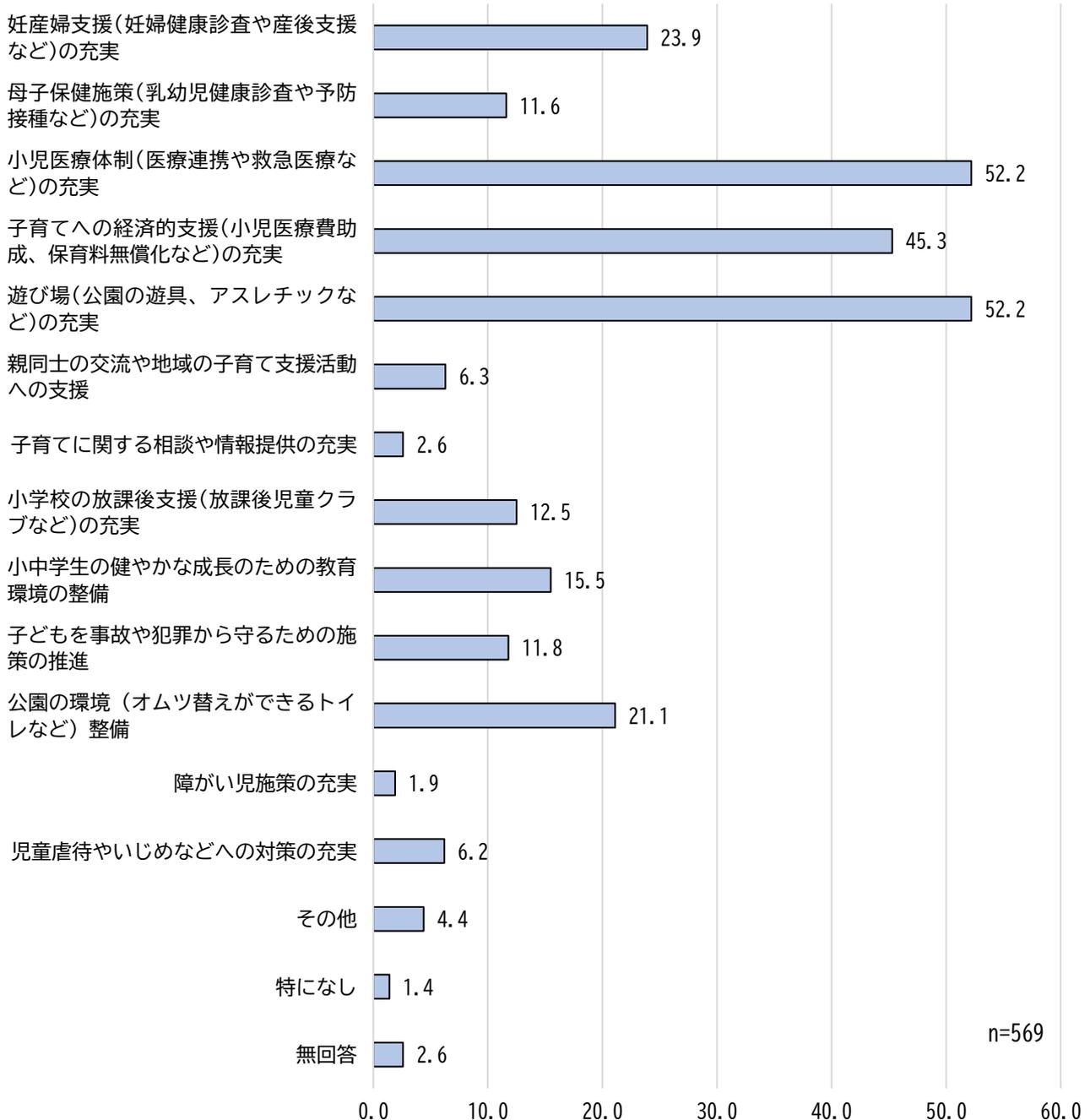
問7で、「3. あまり思わない」「4. まったく思わない」に○をつけた方におうかがいします。  
 問9 いすみ市のどんなところが、子育てをしにくいと感じますか。

いすみ市のどんなところが、子育てをしにくいと感じるかについて、「遊び場が充実していない」が58.3%で最も高く、次いで「低年齢児への保育ニーズに対して支援が充実していない」と「児童館が充実していない」が17.7%、「子育て情報が少ない」が16.7%で続いています。



問 10 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。

子育てをしやすいまちづくりのために、充実させる必要がある取り組みは、「小児医療体制(医療連携や救急医療など)の充実」と「遊び場(公園の遊具、アスレチックなど)の充実」が 52.2%で最も高く、次いで「子育てへの経済的支援(小児医療費助成、保育料無償化など)の充実」が 45.3%、「妊産婦支援(妊婦健康診査や産後支援など)の充実」が 23.9%となっています。



問 11 いすみ市の子育て支援について、ご意見、ご提案があれば、お書きください。

(主なご意見、ご提案)

- ・木曜日に病児保育に預けられないので困ります。
- ・雨の日に外以外で遊べる場所を増やしてほしい。
- ・子供づれで食事などできる所を増やしてほしい。
- ・今後もインフルエンザ、コロナウイルスのワクチン接種を希望者には続けて欲しい。
- ・すぐにでも保育士増員し、年齢別保育にして欲しい。
- ・医療費の負担が 300 円あるので、それを無償化してほしい。
- ・いすみ医療センターで子どもの救急を受け入れる体制を整えてほしい。
- ・保育士や介護職の方の給与 up して頂きたい。
- ・経済的支援（医療費無料、オムツ代支給など）。
- ・給食をはじめとした食育はぜひ継続して力を入れて欲しい。児童館や室内の遊び場をもっと使い勝手よくして欲しいです。子育て支援の地域商品券は、所得制限なく配布いただけるとことは感謝しています。（区別なく配布いただけると嬉しい）
- ・病児保育の充実や小さな子どもがかかれる病院が増えると助かります。
- ・小児科を増やしてほしい。
- ・スクールバスの導入を希望します。登校班制度に限界を感じている為。
- ・小児科が限られていて混むので困っている。
- ・小児科が少なくて困ってる。1カ所がなく、完全予約制となってしまうと体調をくずした時に行かない、いすみ医療センターの小児科は先生が毎日、変わってしまう。
- ・土地などがたくさん余っているように見えるので大きな公園や雨の日でも遊べる室内遊び場などを作ってほしい。
- ・いすみ医療センターで子どもの救急を受け入れる体制を整えてほしい。
- ・医療費助成、ひとり親助成無償化
- ・買い物時の子育て割
- ・ワクチン接種無償化
- ・子供が参加できる市のイベントやお祭り
- ・遊び場の充実性
- ・他市ではない『給食費無償化』『医療費 0 円へ』『2 人目以降の保育料独自軽減』など支援の幅が広くて助かります。こども園や保育所などお世話になる場も多くて職場復帰しやすい一部でもあります。だからこそ現場の先生方の環境を整えてほしいです。人員確保、休憩時間の確保など現場の方々が安心して仕事をして、子どもたちも安心して園生活を送り、笑顔で「いってきます」をする子を見て親は安心して仕事へ向かえる。良い子育て環境へ繋がるために現場の方々の支援をお願い致します。

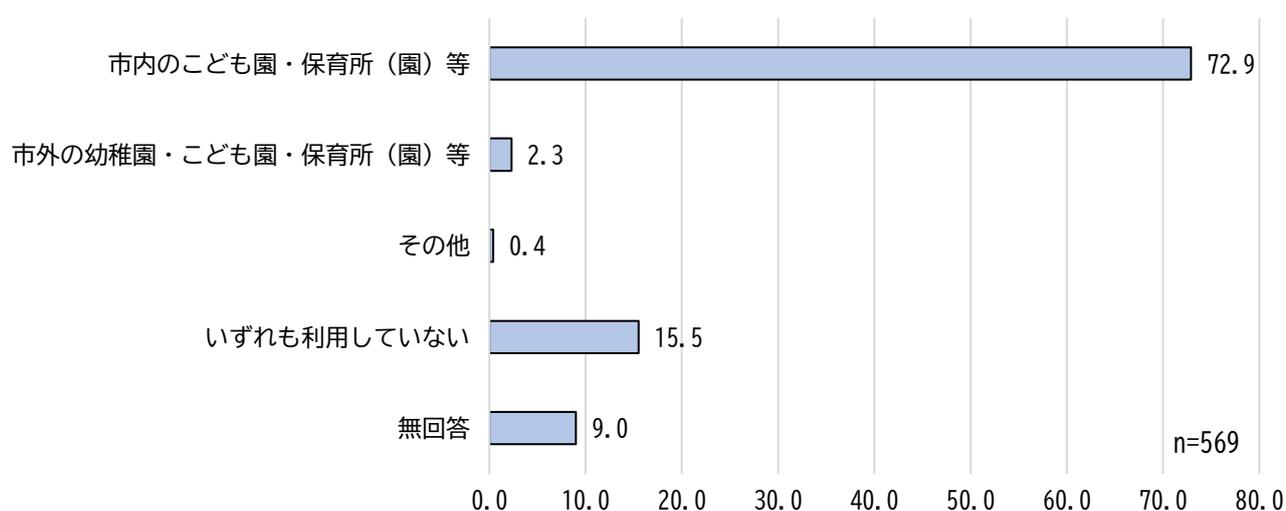
(など全 169 件)

#### 4. 平日の定期的な教育・保育施設の利用について<現在の状況について>

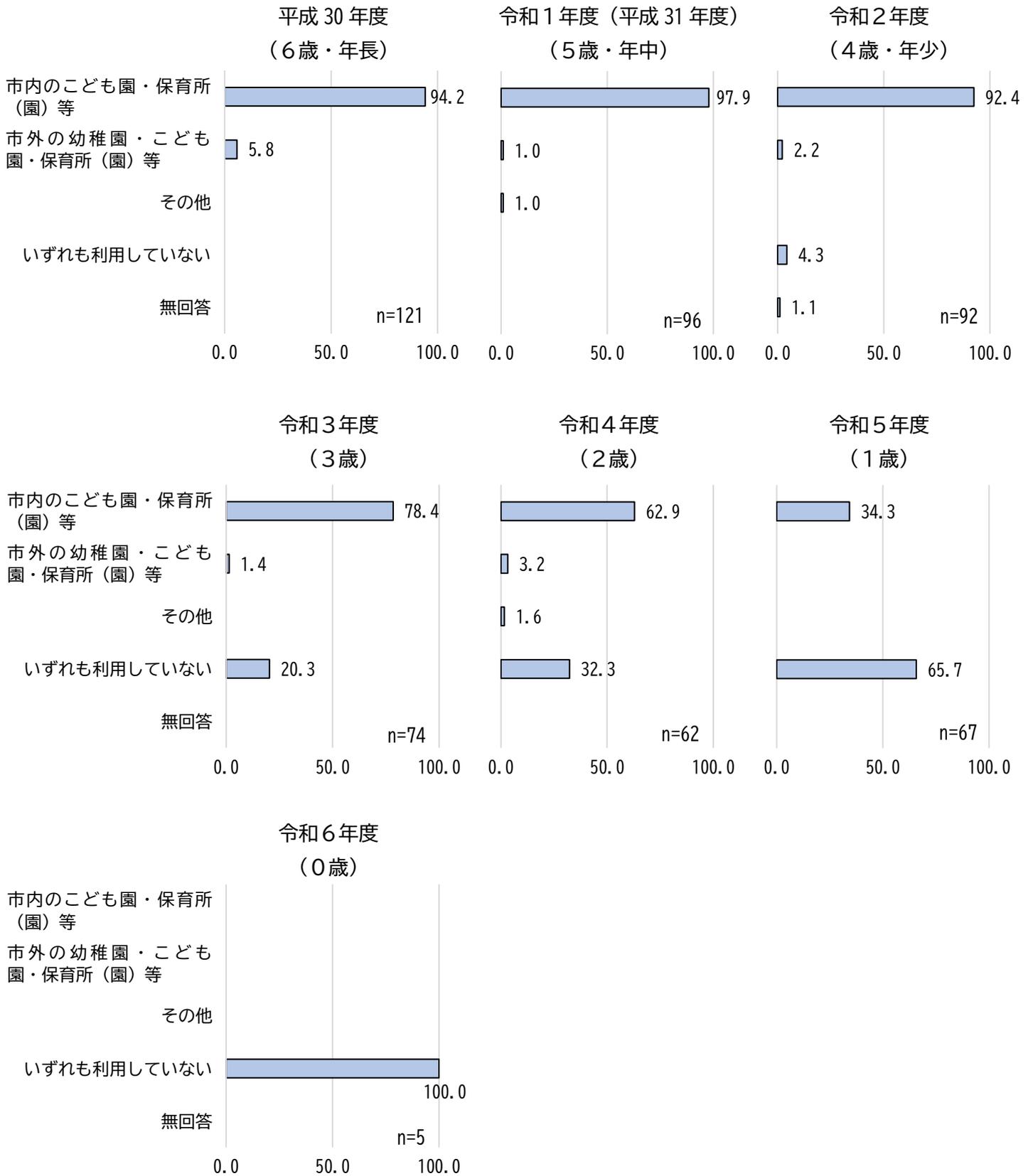
問 12 お子さんは、平日に教育・保育施設を利用していますか。また、利用している場合どのくらい利用していますか。

平日に利用している教育・保育施設は、「市内のこども園・保育所（園）等」が72.9%で最も高く、次いで「市外の幼稚園・こども園・保育所（園）等」が2.3%となっています。一方で、「いずれも利用していない」は15.5%となっています。

お子さんの生年月別でみると、「平成30年度」から「令和4年度」までに生まれたお子さんの家庭では「市内のこども園・保育所（園）等」が最も高くなっています。一方で、「令和5年度」から「令和6年度」までに生まれたお子さんの家庭では「いずれも利用していない」が最も高くなっています。

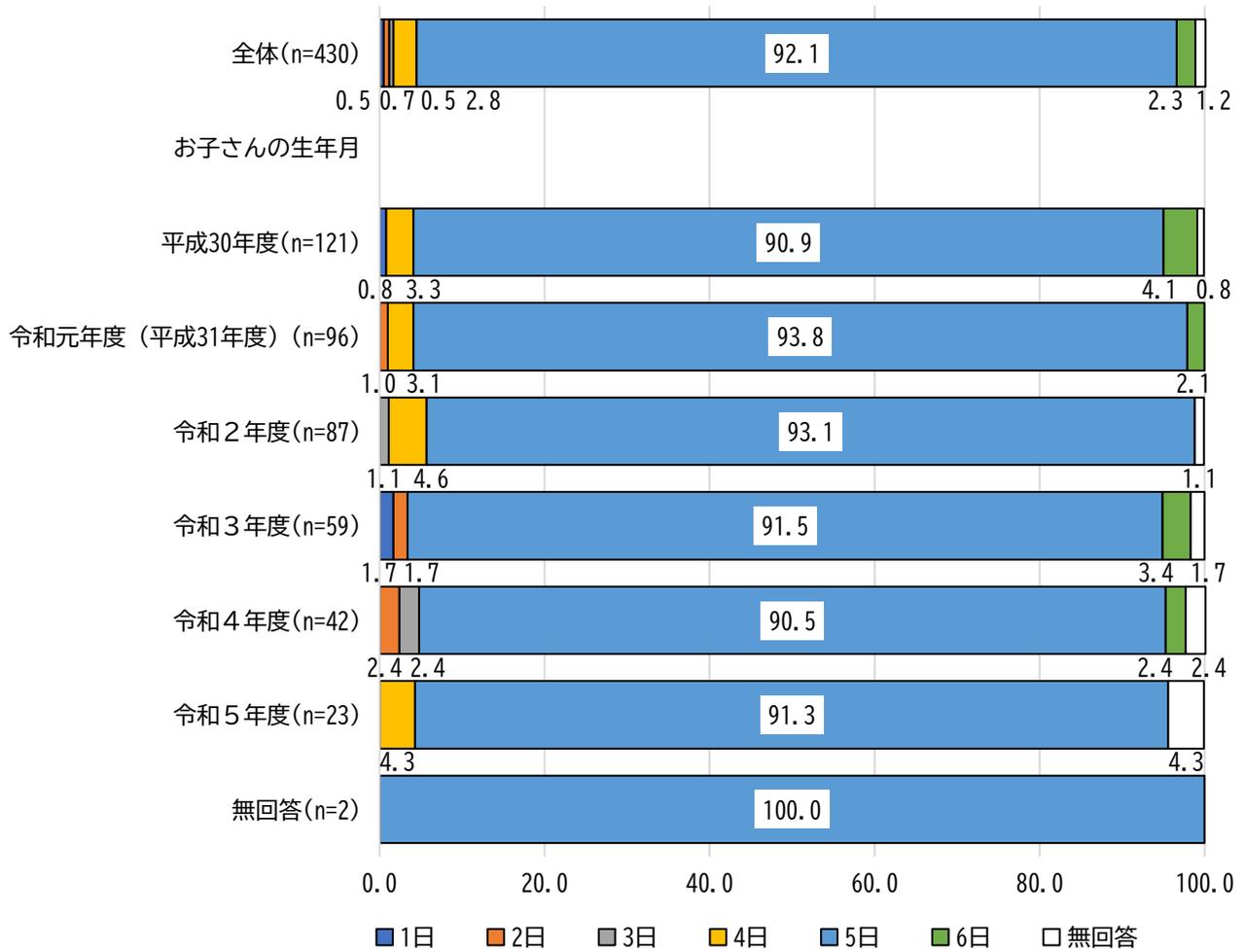


・お子さんの生年月別



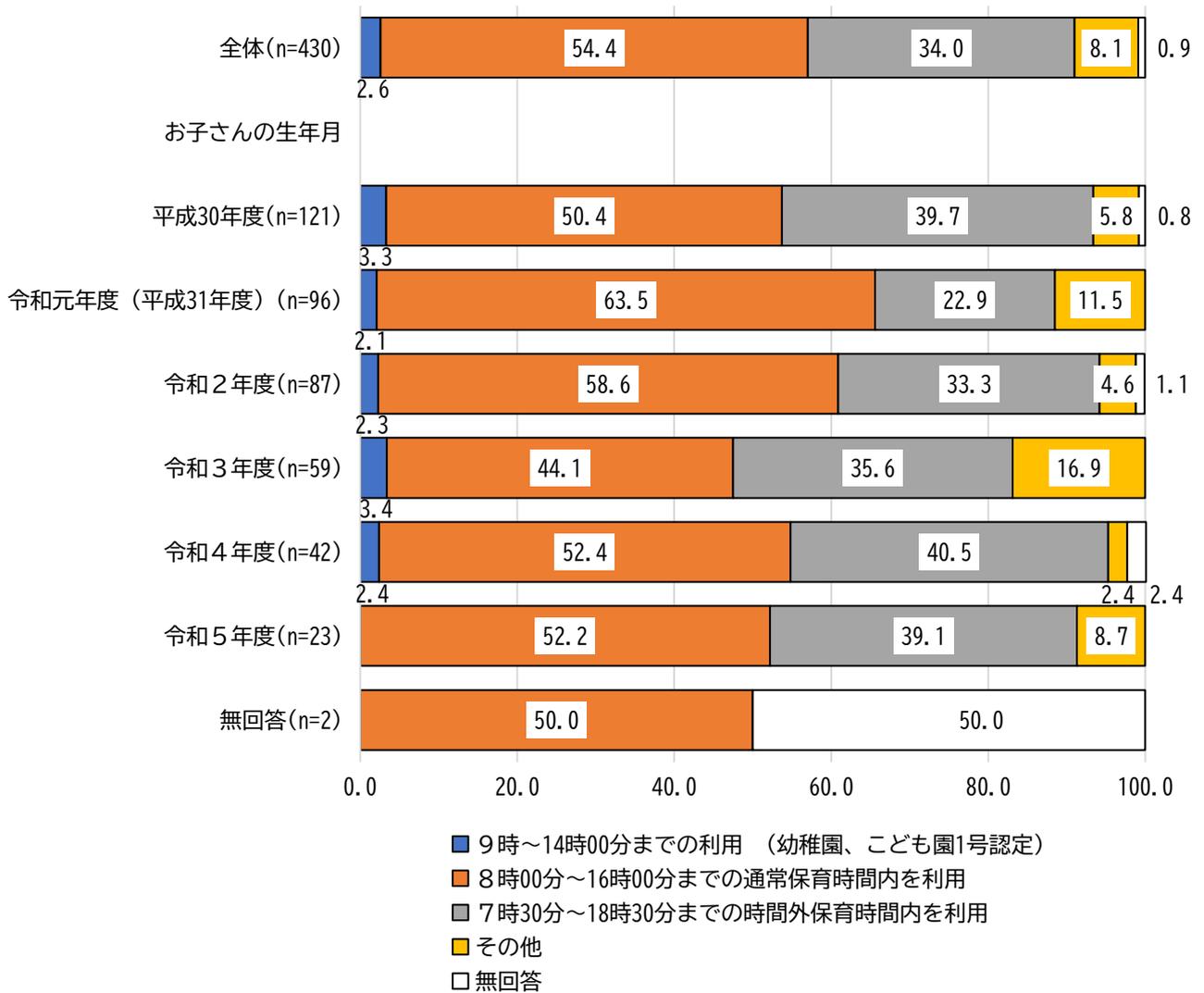
・ 1週間当たりの利用日数

1週間当たりの利用日数は「5日」が最も高くなっています。



・ 1日当たりの利用時間

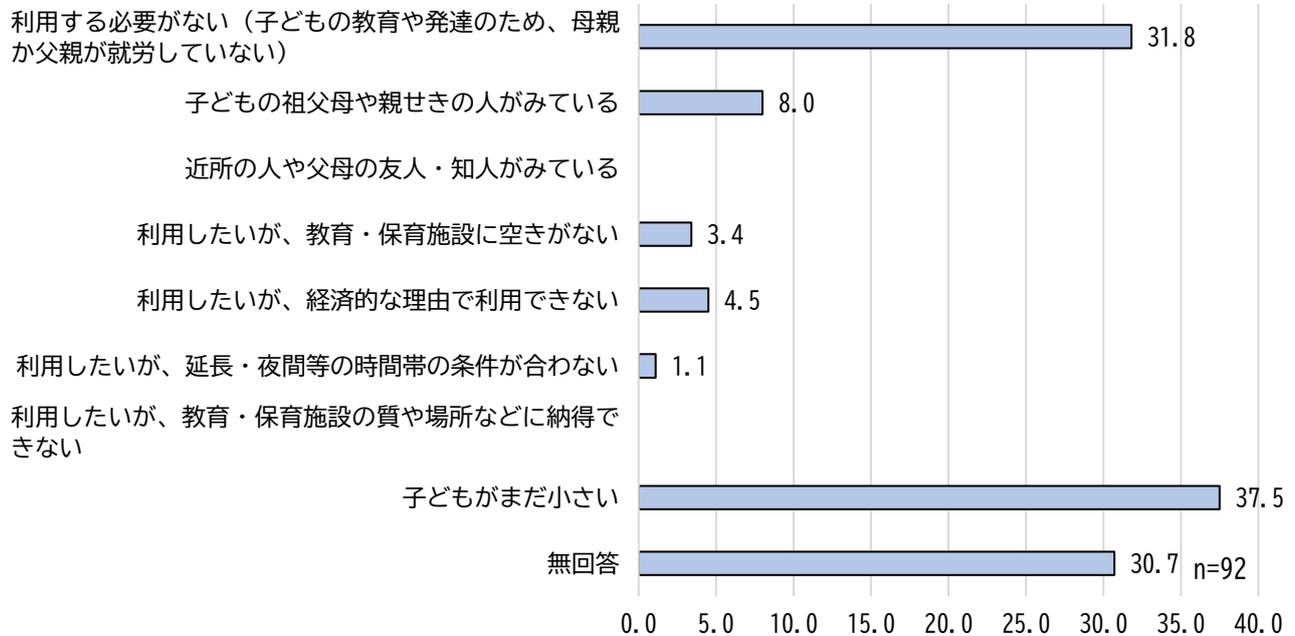
1日当たりの利用時間は「8時00分～16時00分までの通常保育時間内を利用」が最も高くなっています。



問 12 の (ア) 利用している施設で「4. いずれも利用していない」に○をつけた方におうかがいします。

問 12-1 平日に定期的に教育・保育施設を利用していない理由はなんですか。

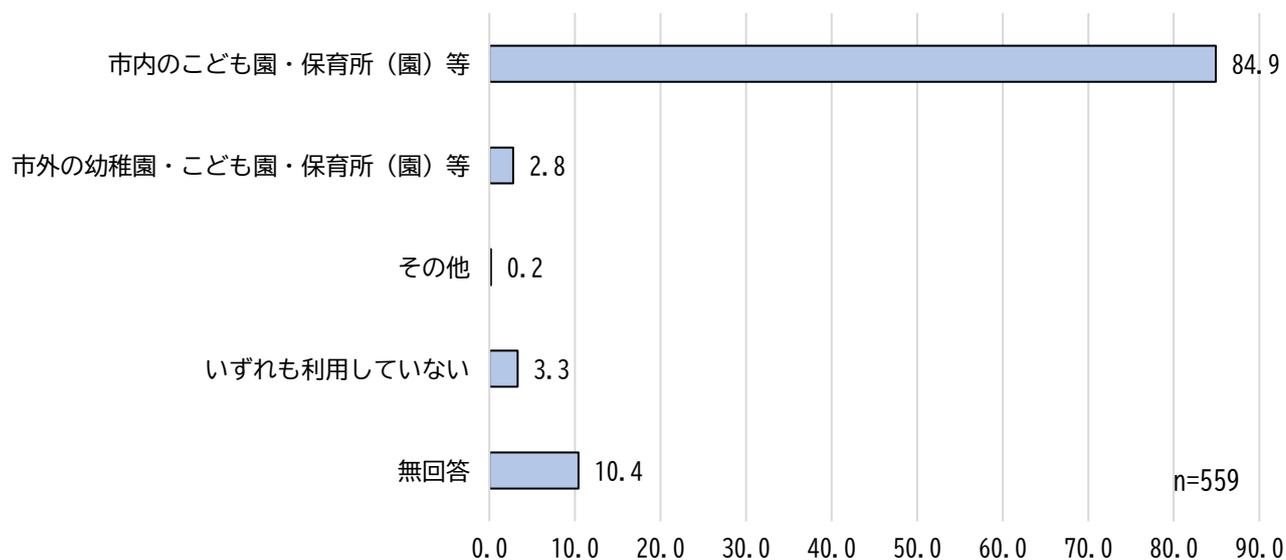
平日に定期的に教育・保育施設を利用していない理由は、「子どもがまだ小さい」が 37.5%で最も高く、次いで「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、母親か父親が就労していない）」が 31.8%、「子どもの祖父母や親せきの人みている」が 8.0%となっています。



## 5. 平日の定期的な教育・保育施設の利用について<利用希望について>

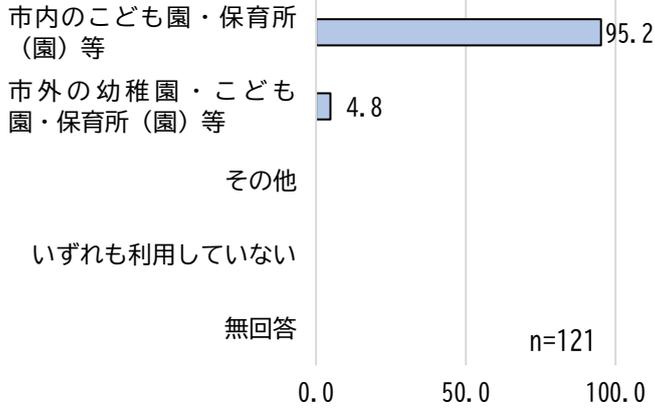
問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育施設の利用希望についてお答えください。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、平日に利用したい教育・保育施設は、「市内のこども園・保育所（園）等」が 84.9%で最も高く、次いで「市外の幼稚園・こども園・保育所（園）等」が 2.8%となっています。一方で、「いずれも利用していない」は 3.3%となっています。お子さんの生年月別で見ると、「平成 30 年度」から「令和 5 年度」までに生まれたお子さんの家庭では「市内のこども園・保育所（園）等」が最も高くなっています。

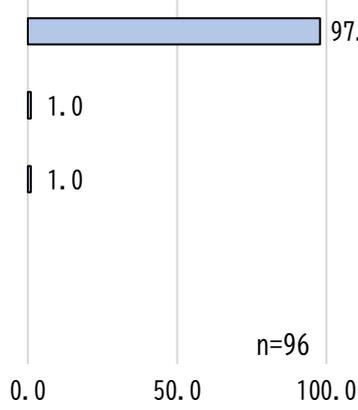


・お子さんの生年月別

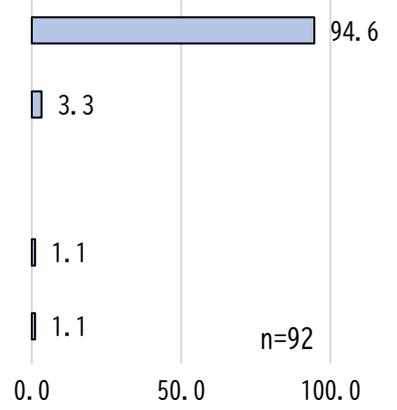
平成30年度  
(6歳・年長)



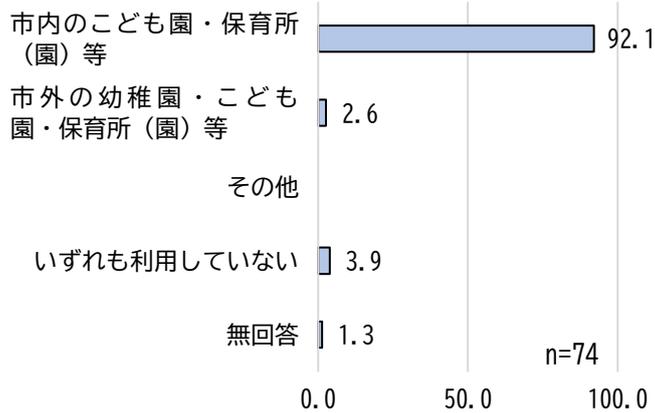
令和1年度(平成31年度)  
(5歳・年中)



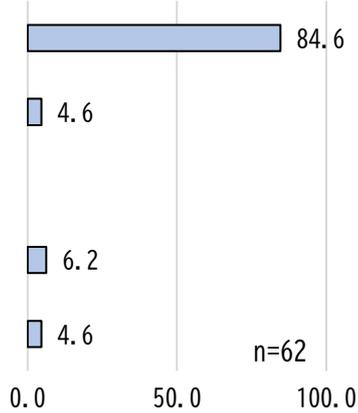
令和2年度  
(4歳・年少)



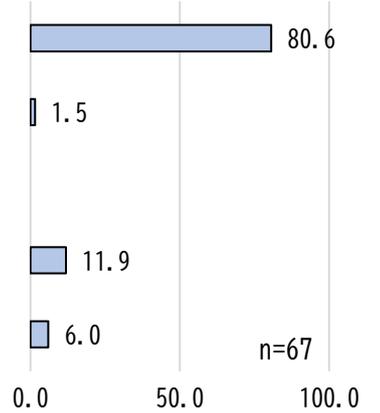
令和3年度  
(3歳)



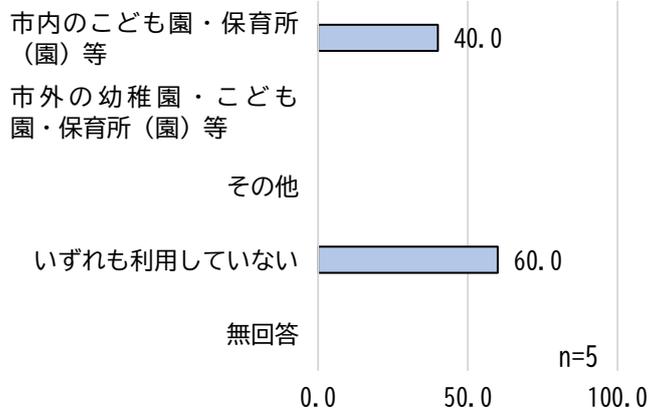
令和4年度  
(2歳)



令和5年度  
(1歳)

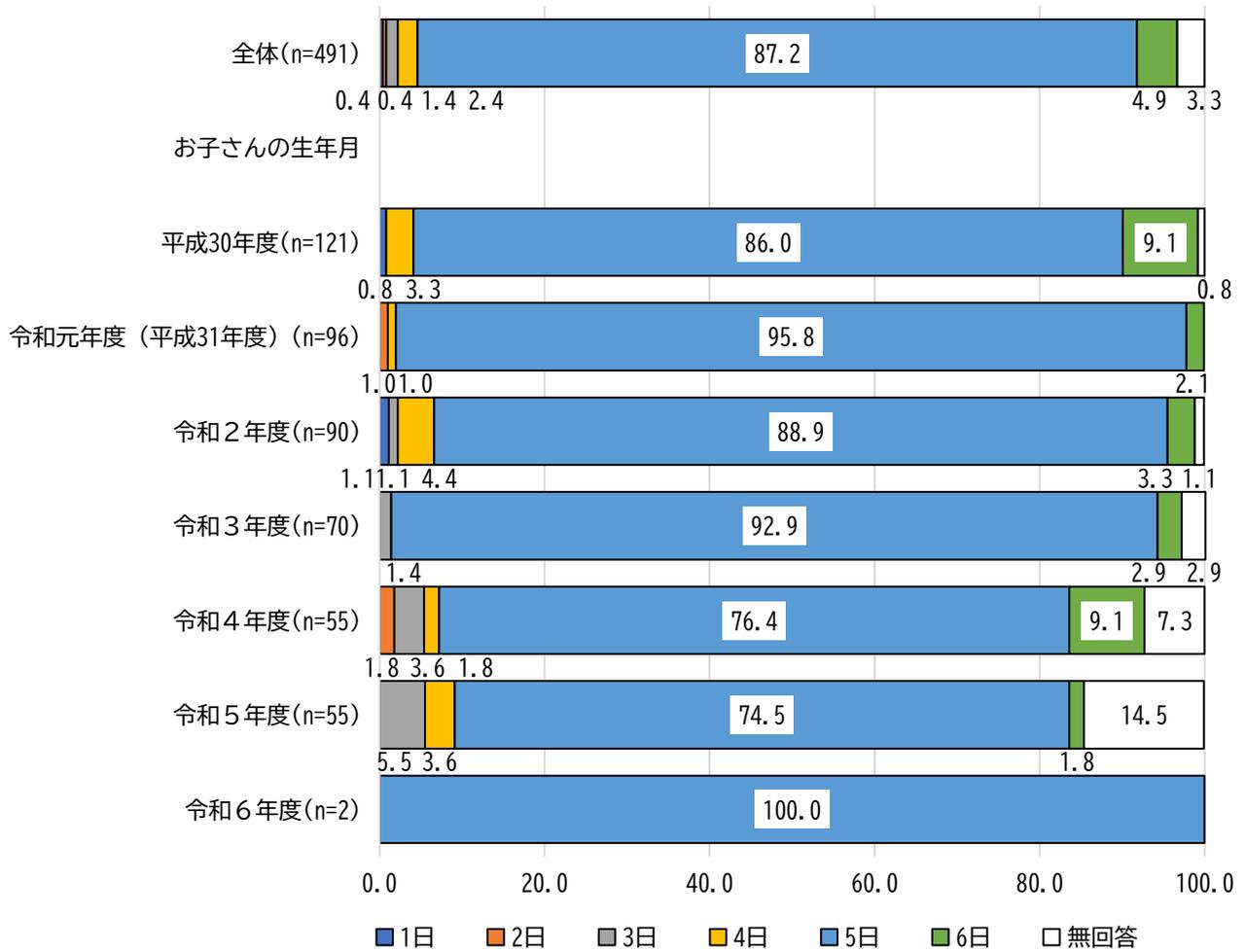


令和6年度  
(0歳)



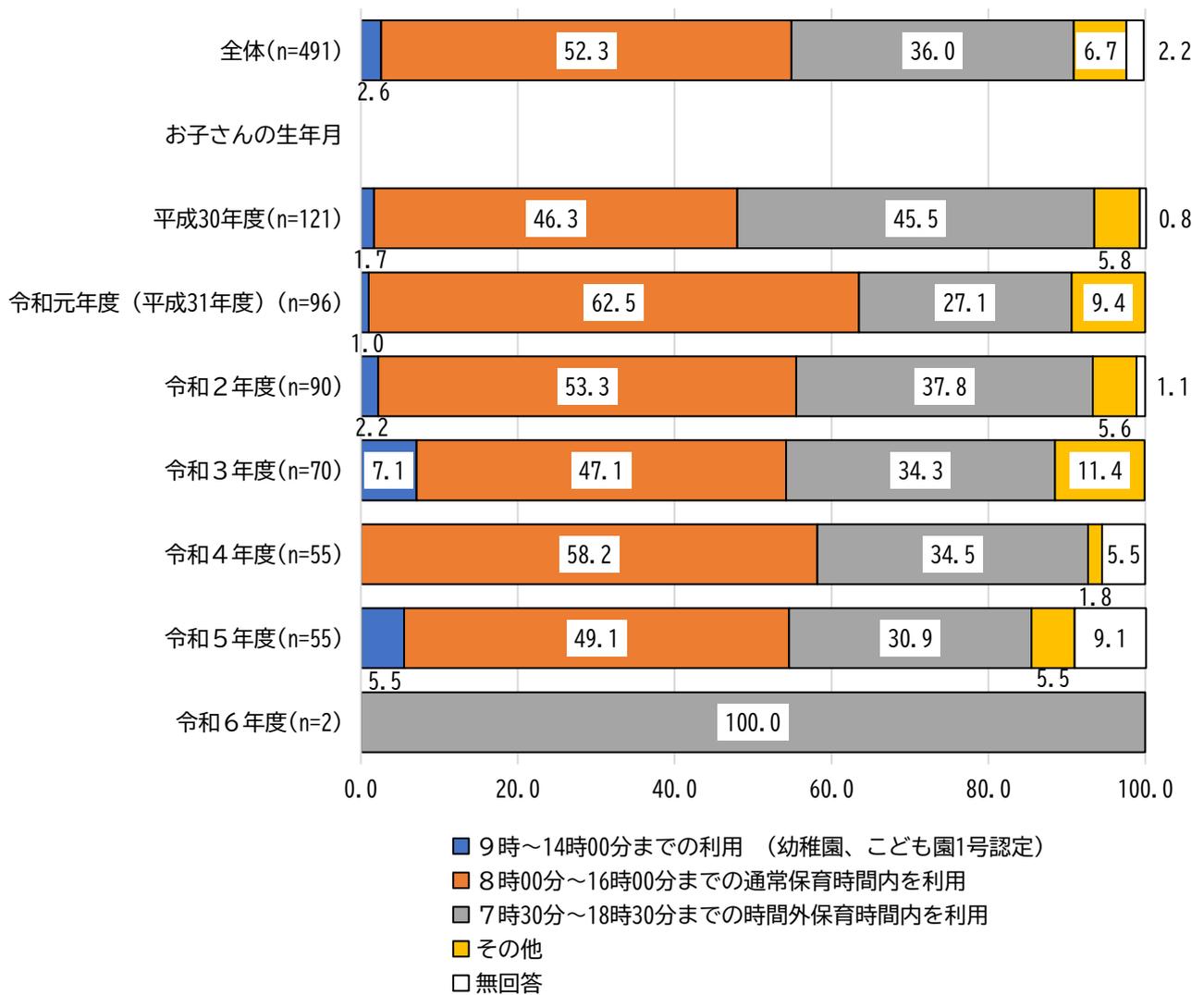
・ 1週間当たりの利用日数

1週間当たりの利用日数は「5日」が最も高くなっています。



・ 1日当たりの利用時間

1日当たりの利用時間は「8時00分～16時00分までの通常保育時間内を利用」が最も高くなっています。



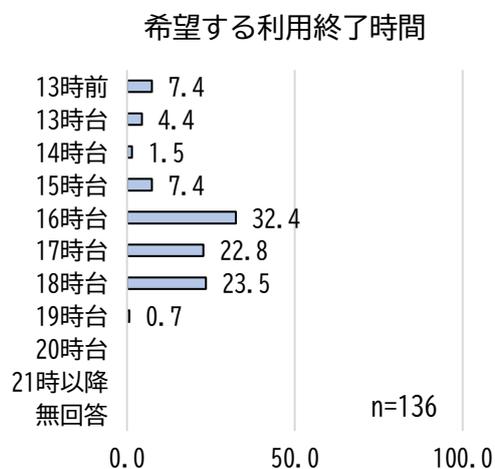
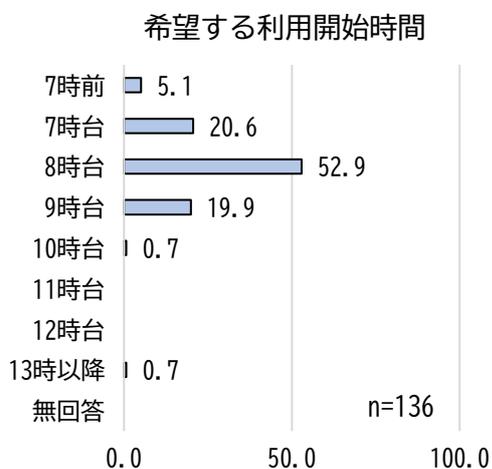
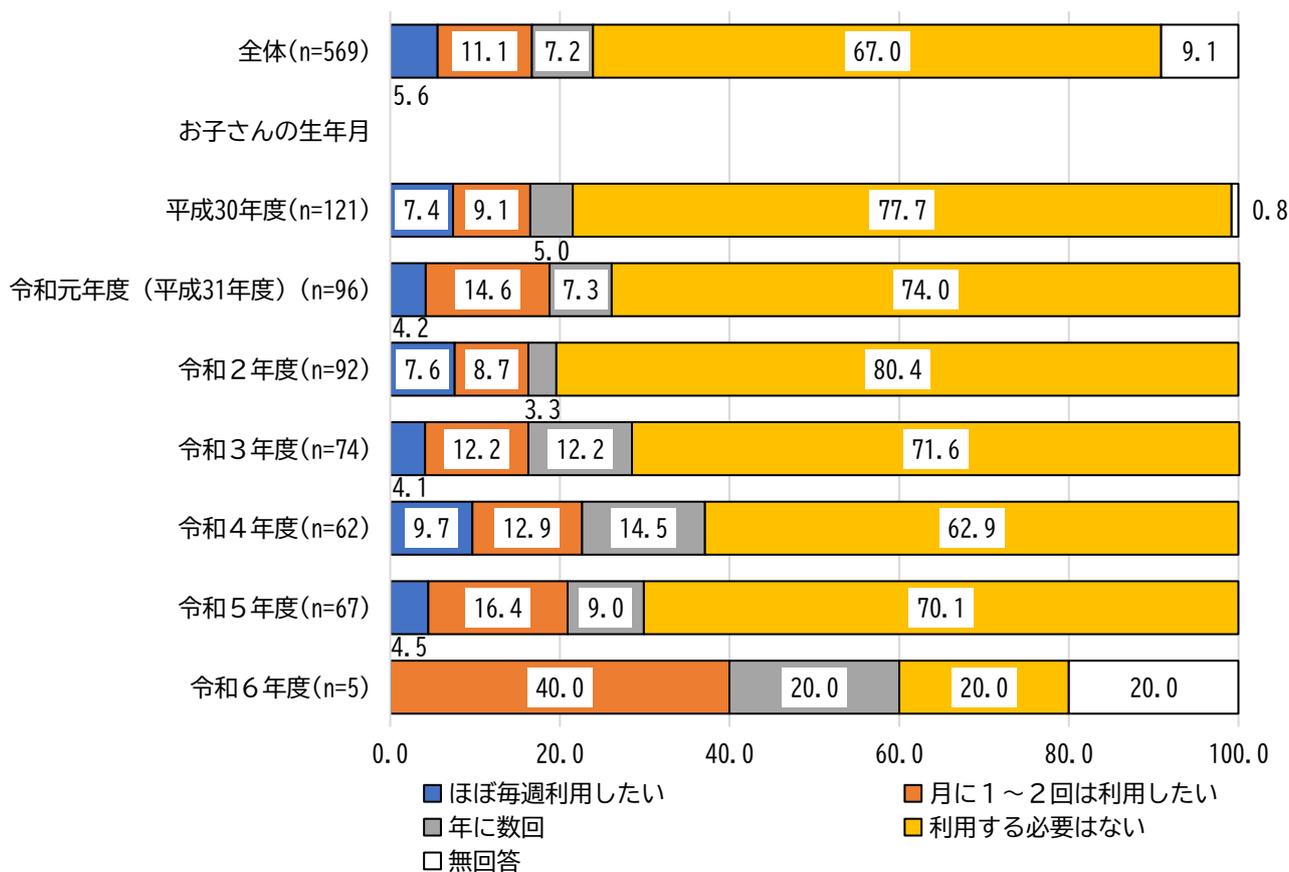
## 6. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育施設の利用希望について

問 14 教育・保育施設の、毎週土日、祝日の利用希望はありますか。

### (1) 土曜日

教育・保育施設の土曜日の利用希望について、「利用する必要はない」が67.0%最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が11.1%、「年に数回」が7.2%が続いています。

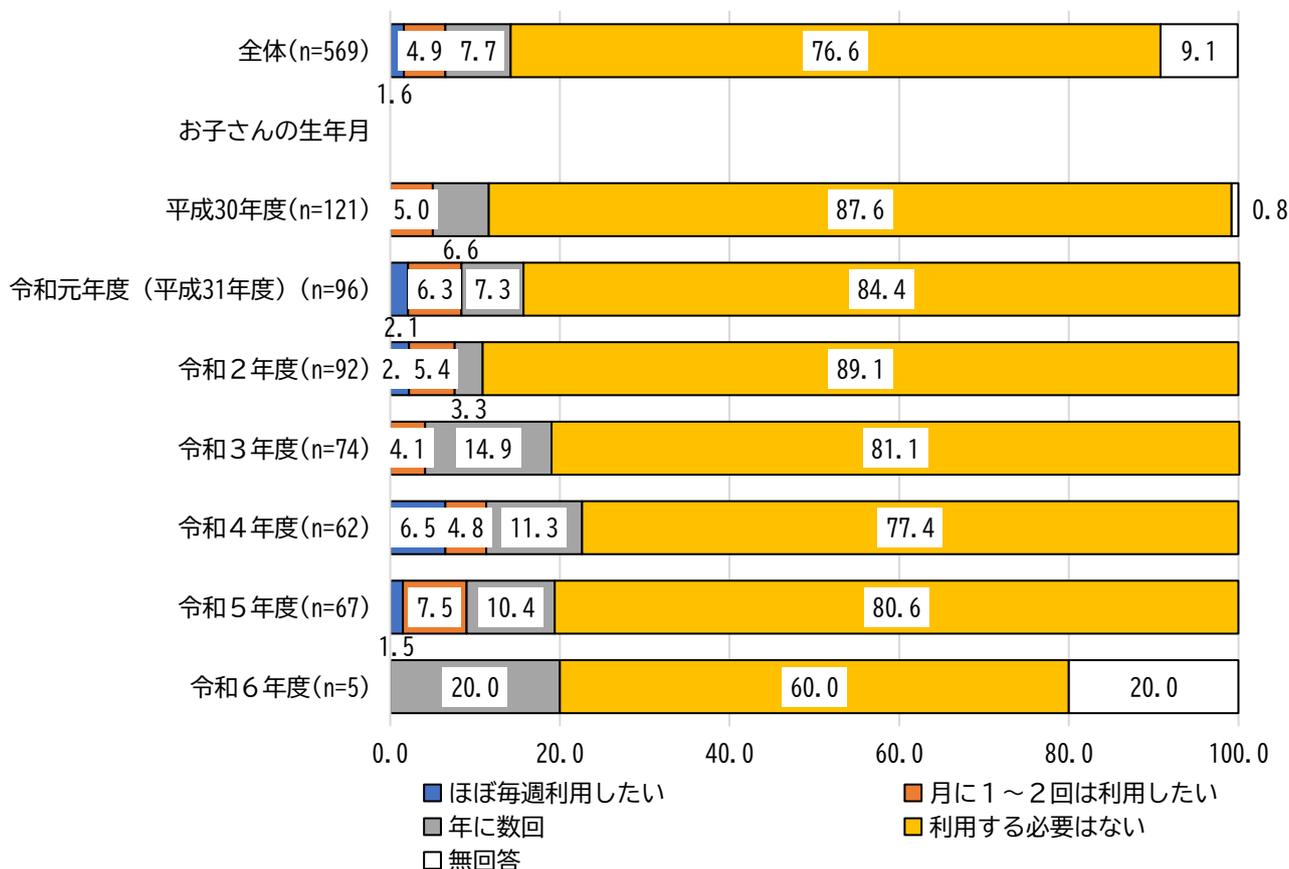
お子さんの生年月別でみると、「平成30年度」から「令和5年度」までに生まれたお子さんの家庭では「利用する必要はない」が最も高くなっています。一方で、「令和6年度」に生まれたお子さんの家庭では、「月に1～2回は利用したい」が40.0%で最も高くなっています。



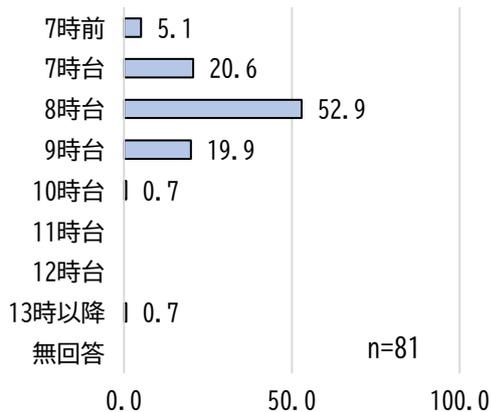
## (2) 日曜日・祝日

教育・保育施設の日曜日・祝日の利用希望について、「利用する必要はない」が76.6%最も高く、次いで「年に数回」が7.7%、「月に1～2回は利用したい」が4.9%が続いています。

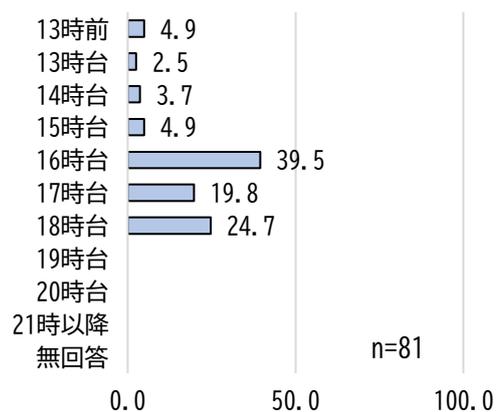
お子さんの生年月別でみると、すべての生年月で「利用する必要はない」が最も高くなっています。



希望する利用開始時間



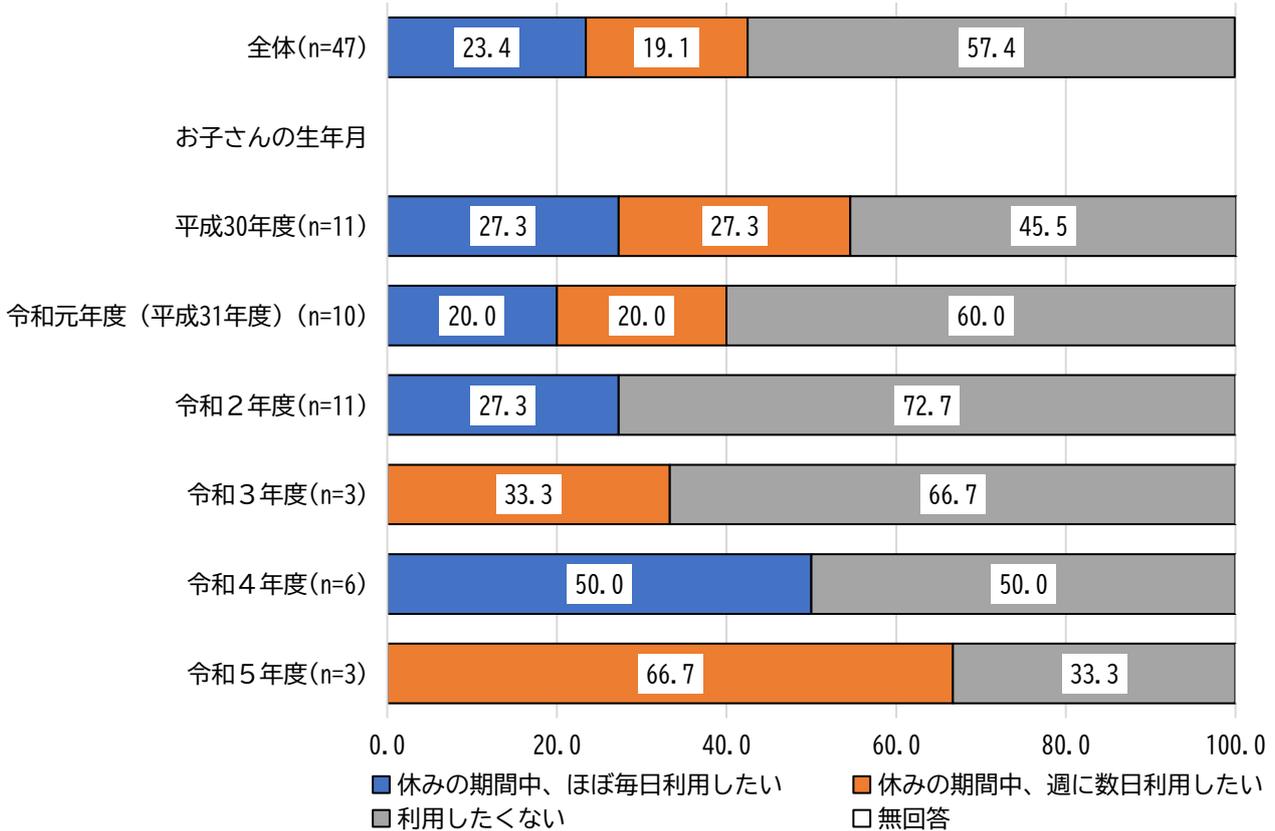
希望する利用終了時間



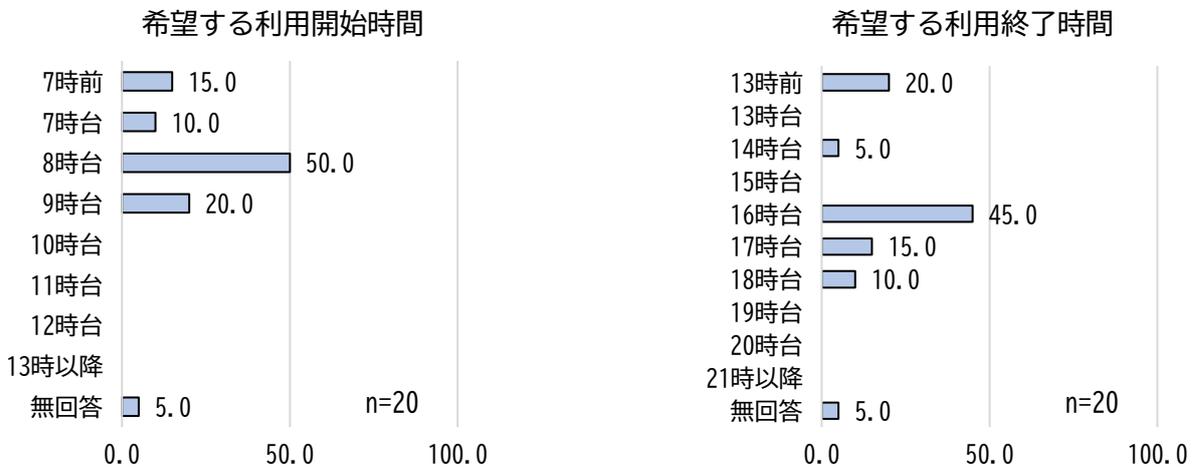
問 15 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用希望はありますか。

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用希望について、「利用したくない」が57.4%最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が23.4%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が19.1%で続いています。

お子さんの生年月別でみると、「平成30年度」から「令和3年度」までに生まれたお子さんの家庭では「利用したくない」が最も高くなっています。一方で、「令和5年度」に生まれたお子さんの家庭では、「休みの期間中、週に数日利用したい」が66.7%で最も高くなっています。



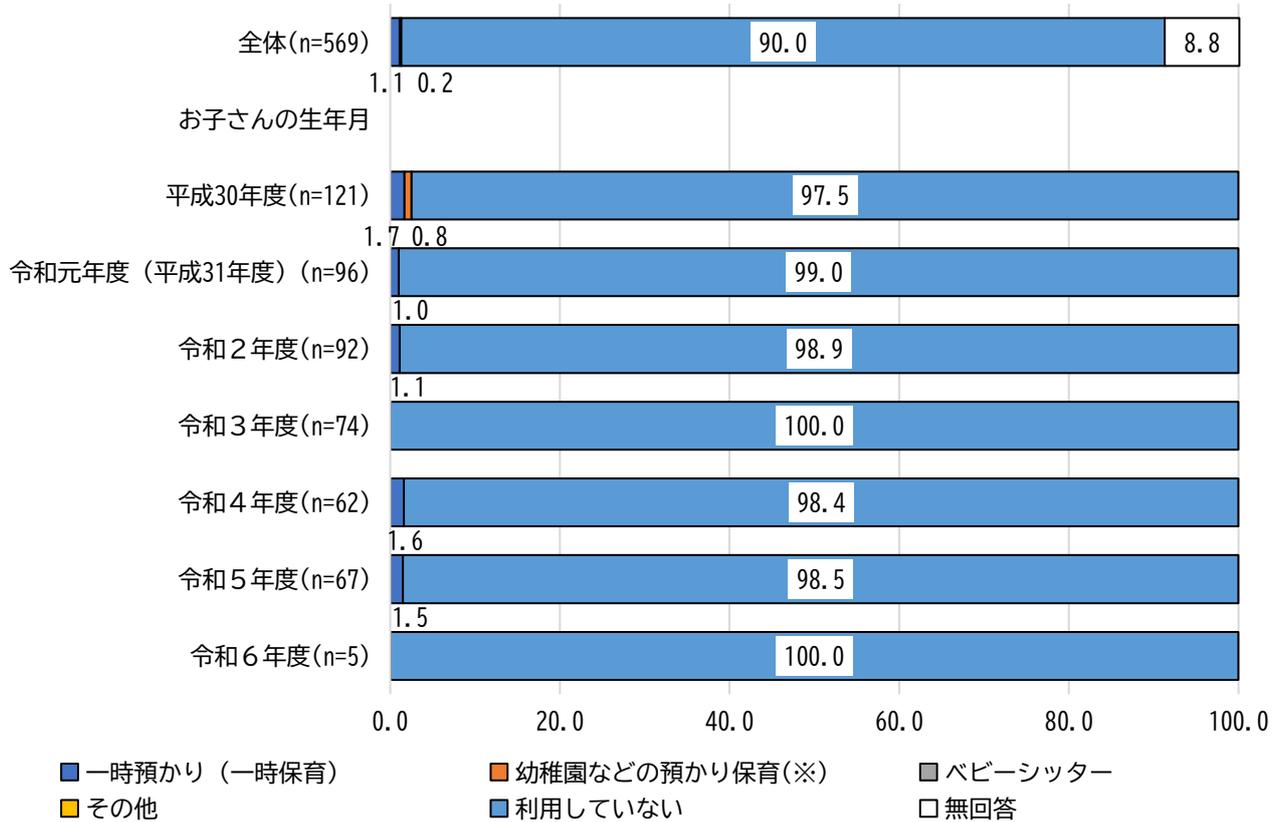
※「令和6年度」に生まれたお子さんのいる家庭からの回答はありませんでした。



## 7. 不特定の保育事業（一時預かり等）の利用について

問 16 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している保育事業等がありますか。

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している保育事業については、「利用していない」家庭が 90.0%となっています。



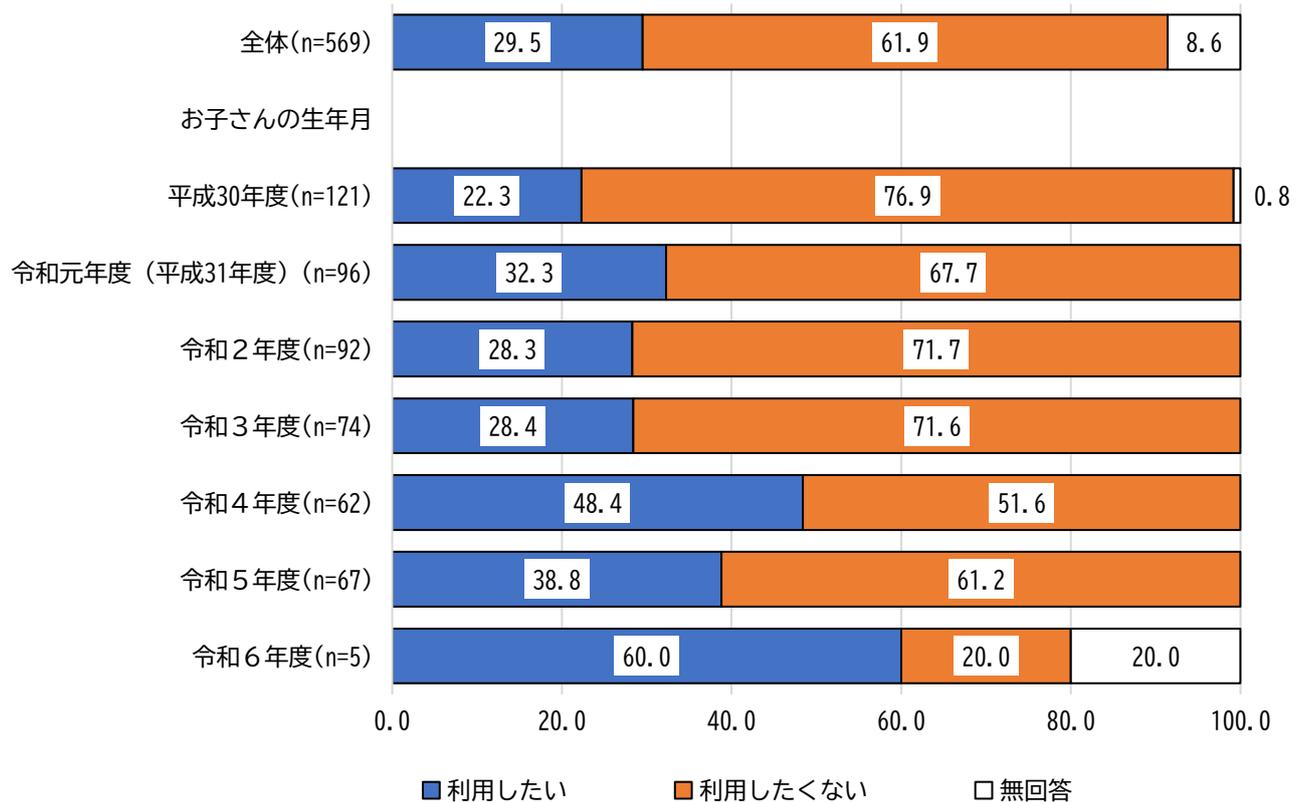
(※)「幼稚園などの預かり保育」は通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期的に利用する場合にのみ選択いただいた項目になります。

問 17 私用、親の通院、一時的な仕事などの目的により、今後、事業を利用したいですか。当てはまるものすべてに○をつけ、必要な日数（利用したい日数の合計と目的別の内訳の日数）を記入してください。

(1) 利用の状況

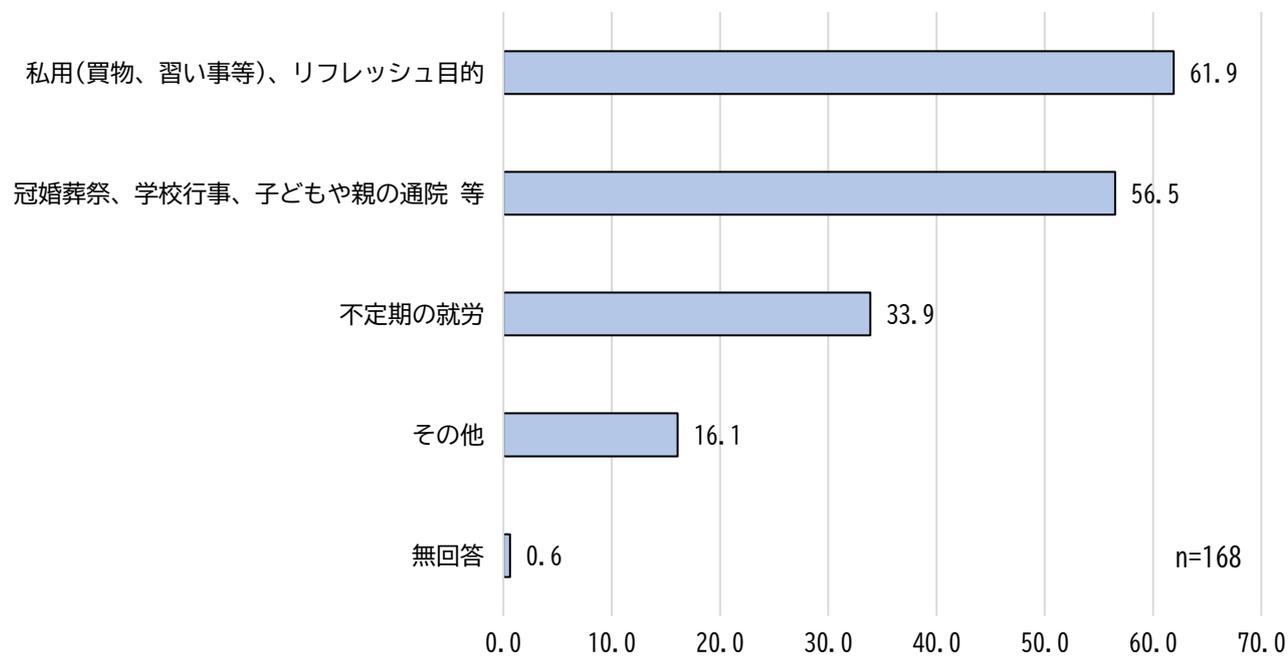
私用、親の通院、一時的な仕事などの目的により、今後、事業を利用したいかについては、「利用したい」が29.5%、「利用したくない」が61.9%となっています。

お子さんの生年月別でみると、「平成30年度」から「令和5年度」までに生まれたお子さんの家庭では「利用したくない」が最も高くなっています。一方で、「令和6年度」に生まれたお子さんの家庭では、「利用したい」が60.0%で最も高くなっています。

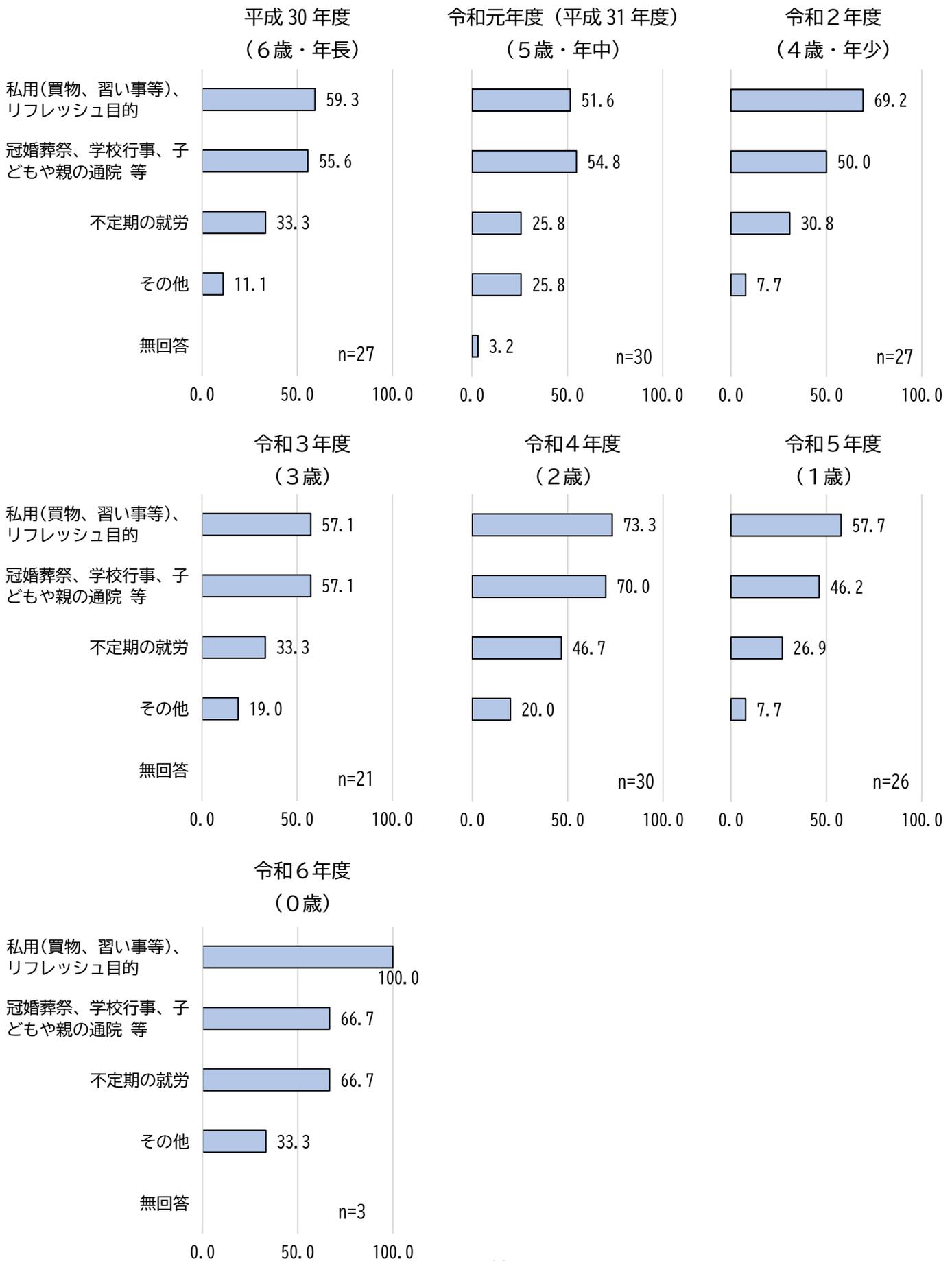


## (2) 利用目的

利用の目的としては、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が61.9%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等」が56.5%、「不定期の就労」が33.9%となっています。

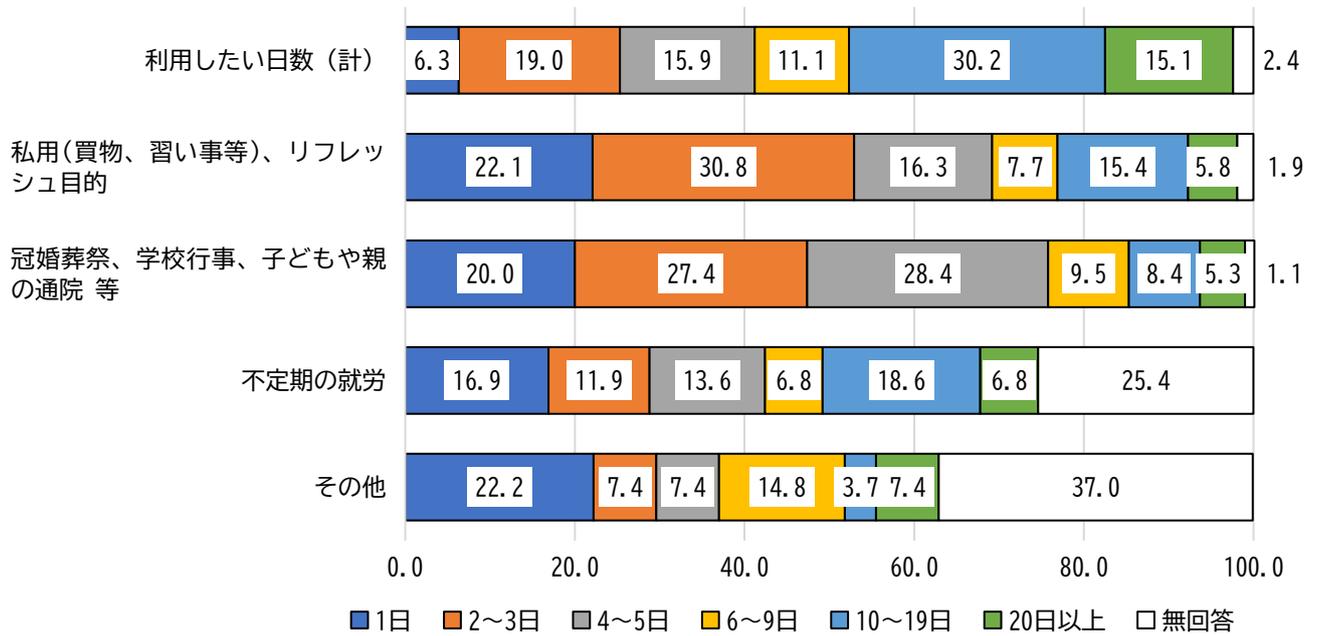


・お子さんの生年月別



### (3) 利用日数

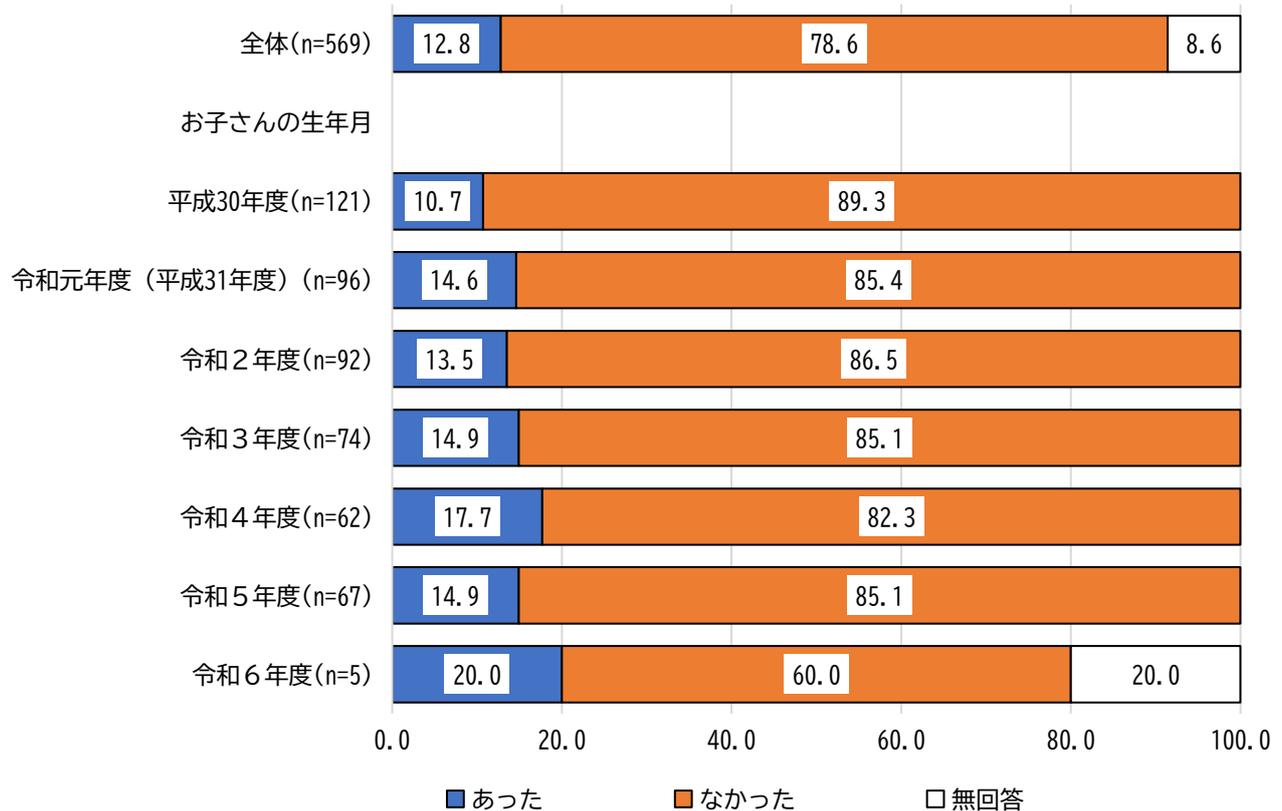
利用したい日数の合計は、「10～19日」が最も高くなっています。



問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊まりがけで預けようと思ったことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に記入してください。

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊まりがけで預けようと思ったことがあったかについて、「あった」が12.8%、「なかった」が78.6%となっています。

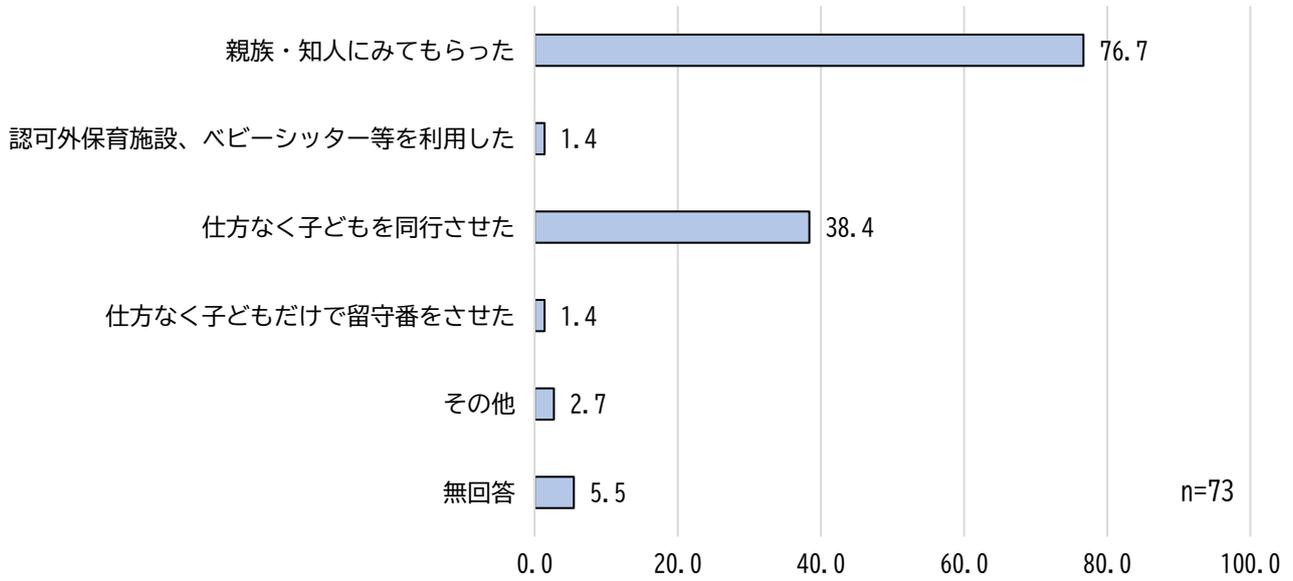
お子さんの生年月別でみると、すべての生年月で「なかった」が最も高くなっています。



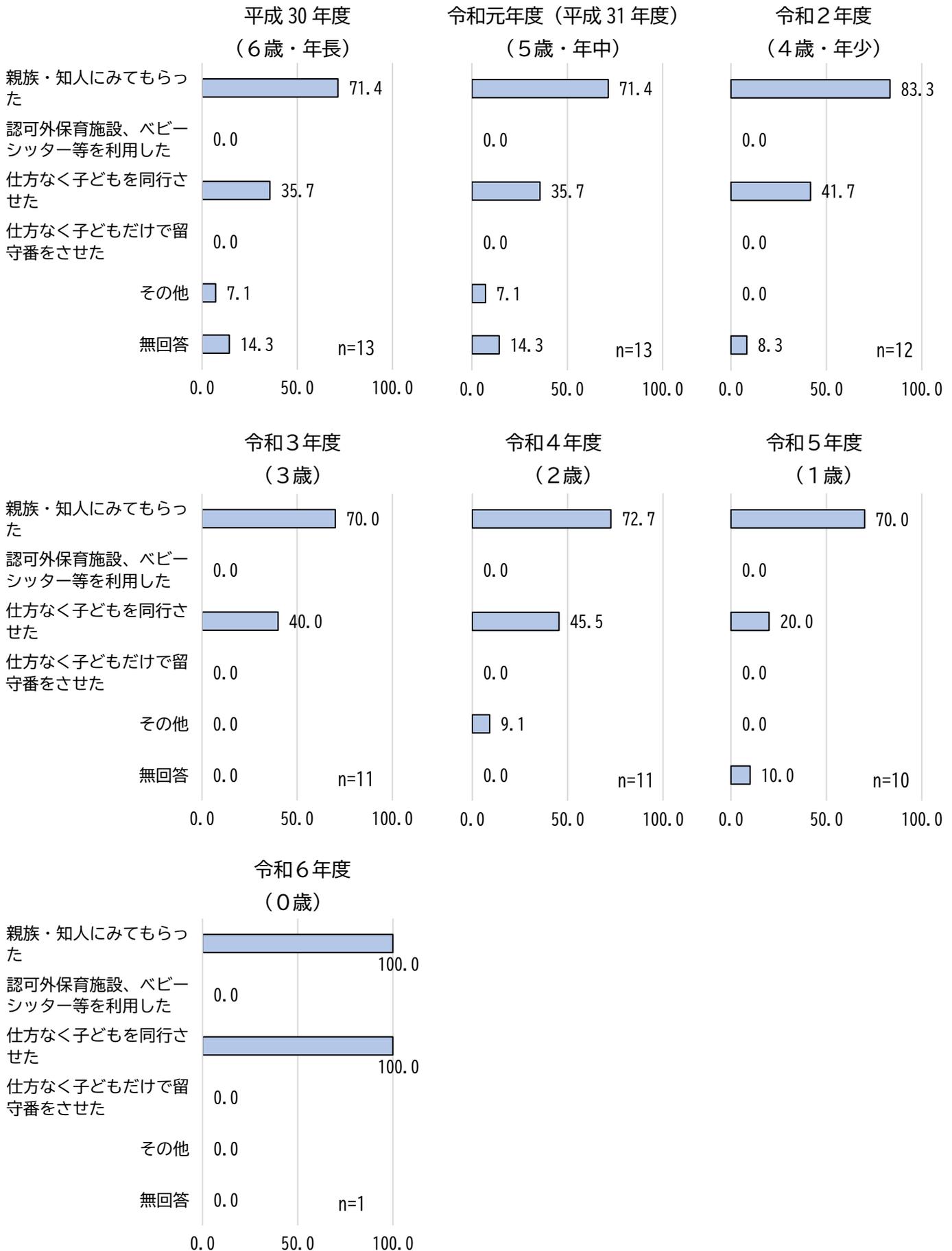
・対処方法

対処方法については、「親族・知人にみてもらった」が76.7%で最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が38.4%、「認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した」と「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が1.4%で続いています。

お子さんの生年月別で見ると、すべての生年月で「親族・知人にみてもらった」が最も高くなっています。

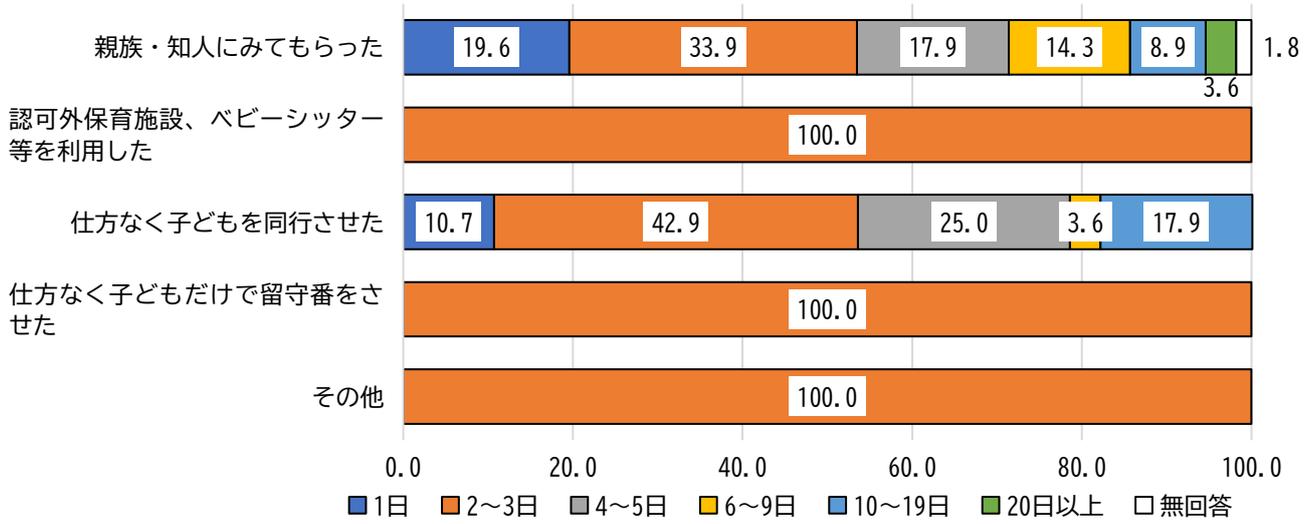


・お子さんの生年月別



・対処した日数

対処した日数としては、すべての対処方法で「10～19日」が最も高くなっています。

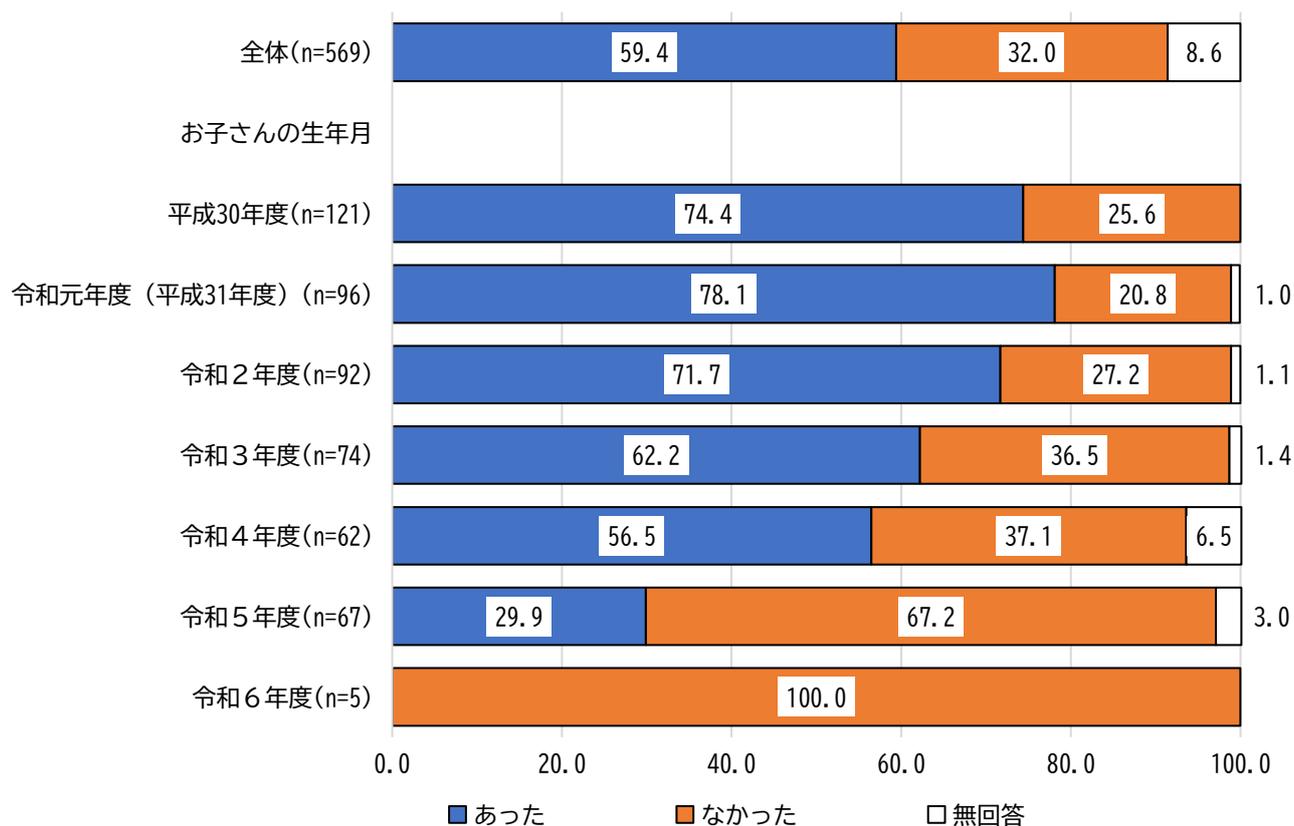


## 8. 病気の際の対応について

問 19 この1年間に、お子さんが病気やケガで普段利用している保育施設が利用できなかったことはありますか。

お子さんが病気やケガで普段利用している保育施設が利用できなかったことがあったかについて、「あった」が59.4%、「なかった」が32.0%となっています。

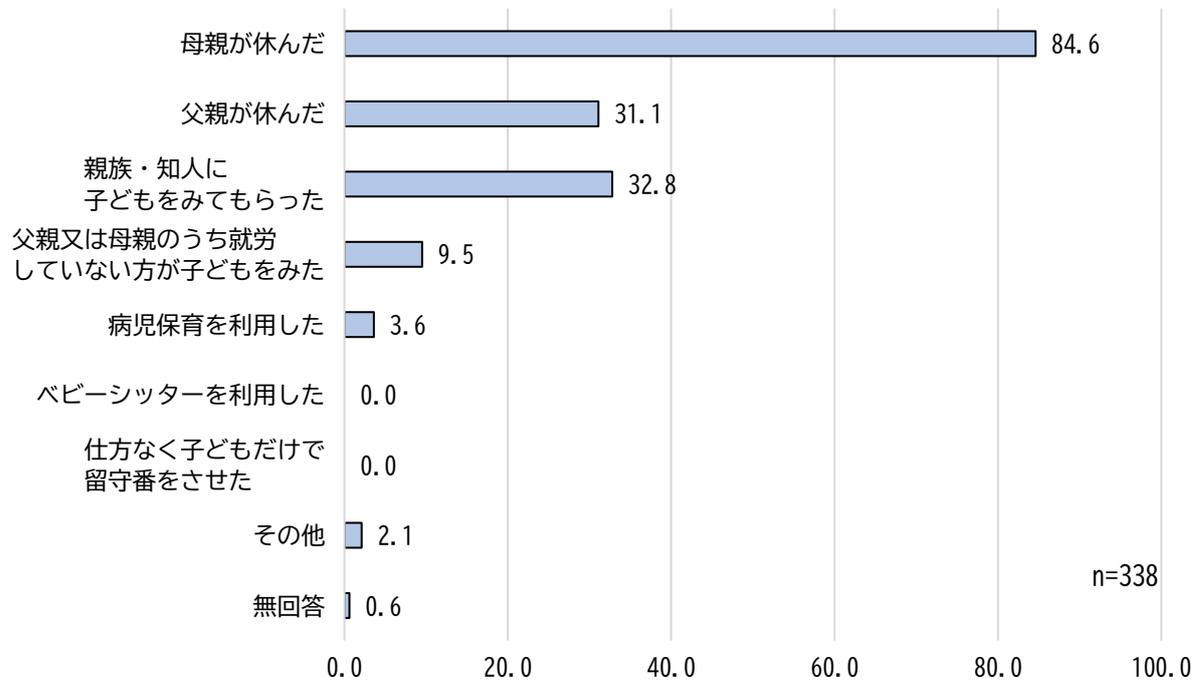
お子さんの生年月別で見ると、「平成30年度」から「令和4年度」までに生まれたお子さんでは「あった」が最も高くなっています。一方で、「令和5年度」から「令和6年度」に生まれたお子さんでは、「なかった」が最も高くなっています。



問 19-1 お子さんが病気やけがで普段利用している保育施設が利用できなかった場合に、対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も記入してください。

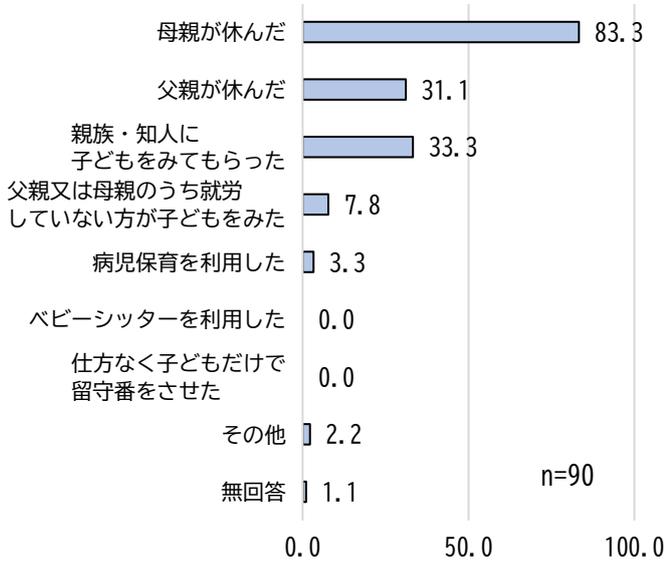
普段利用している保育施設が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が84.6%で最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が32.8%、「父親が休んだ」が31.1%となっています。

お子さんの生年月別で見ると、すべての生年月で「母親が休んだ」が最も高くなっています。

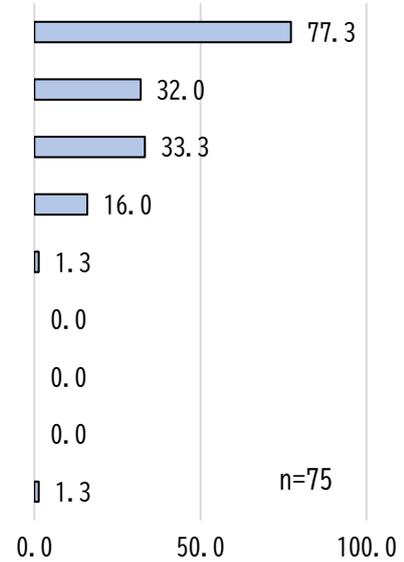


・お子さんの生年月別

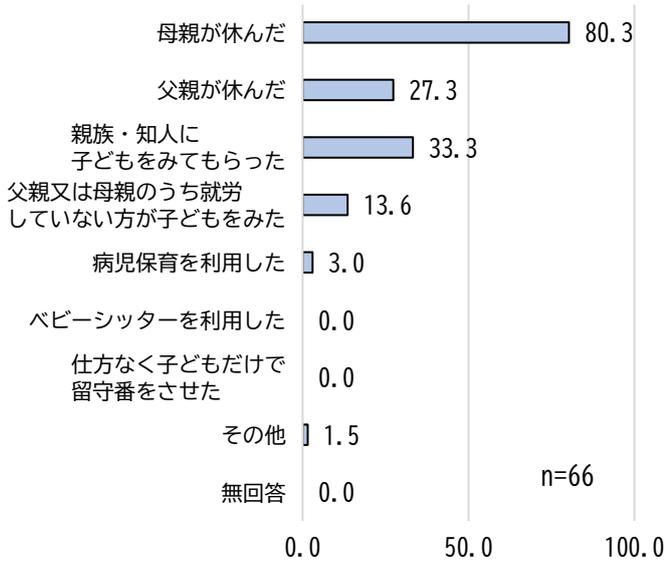
平成 30 年度  
(6 歳・年長)



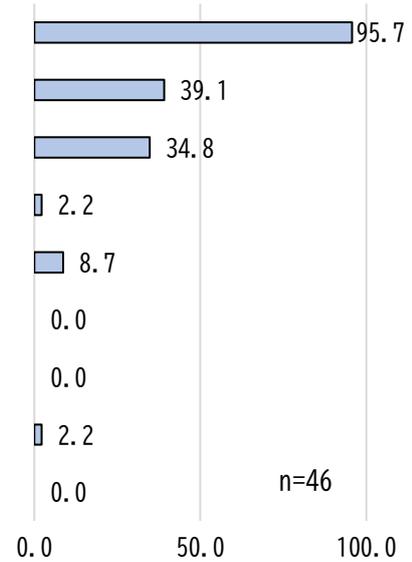
令和元年度 (平成 31 年度)  
(5 歳・年中)

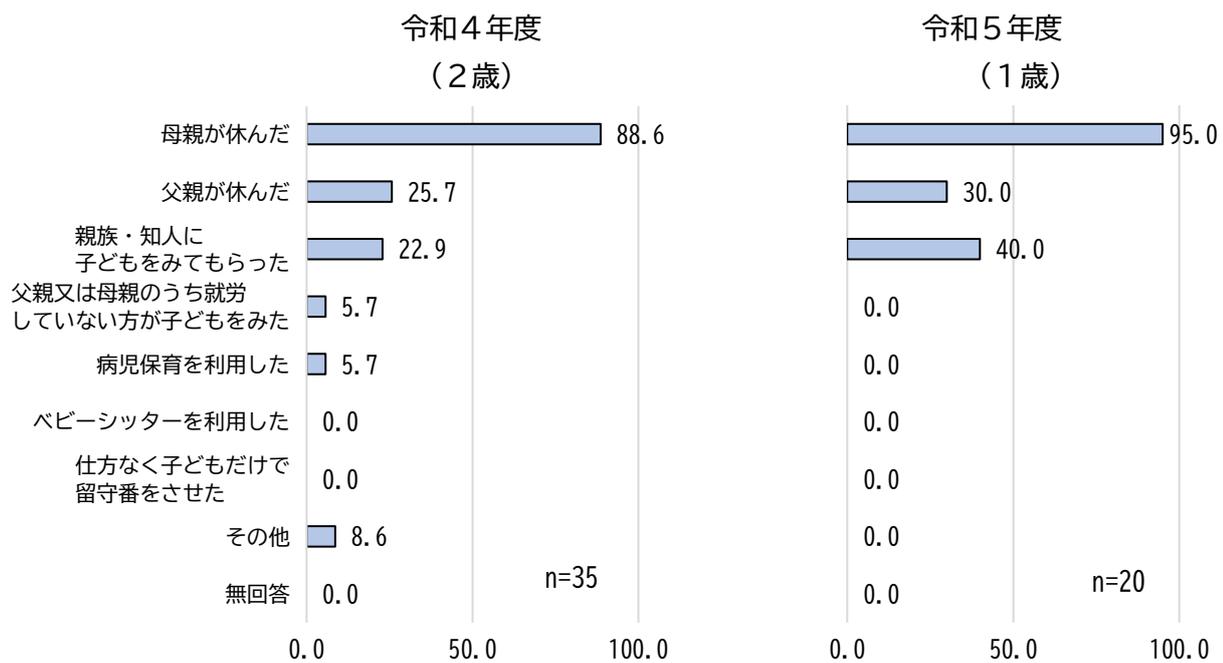


令和 2 年度  
(4 歳・年少)



令和 3 年度  
(3 歳)



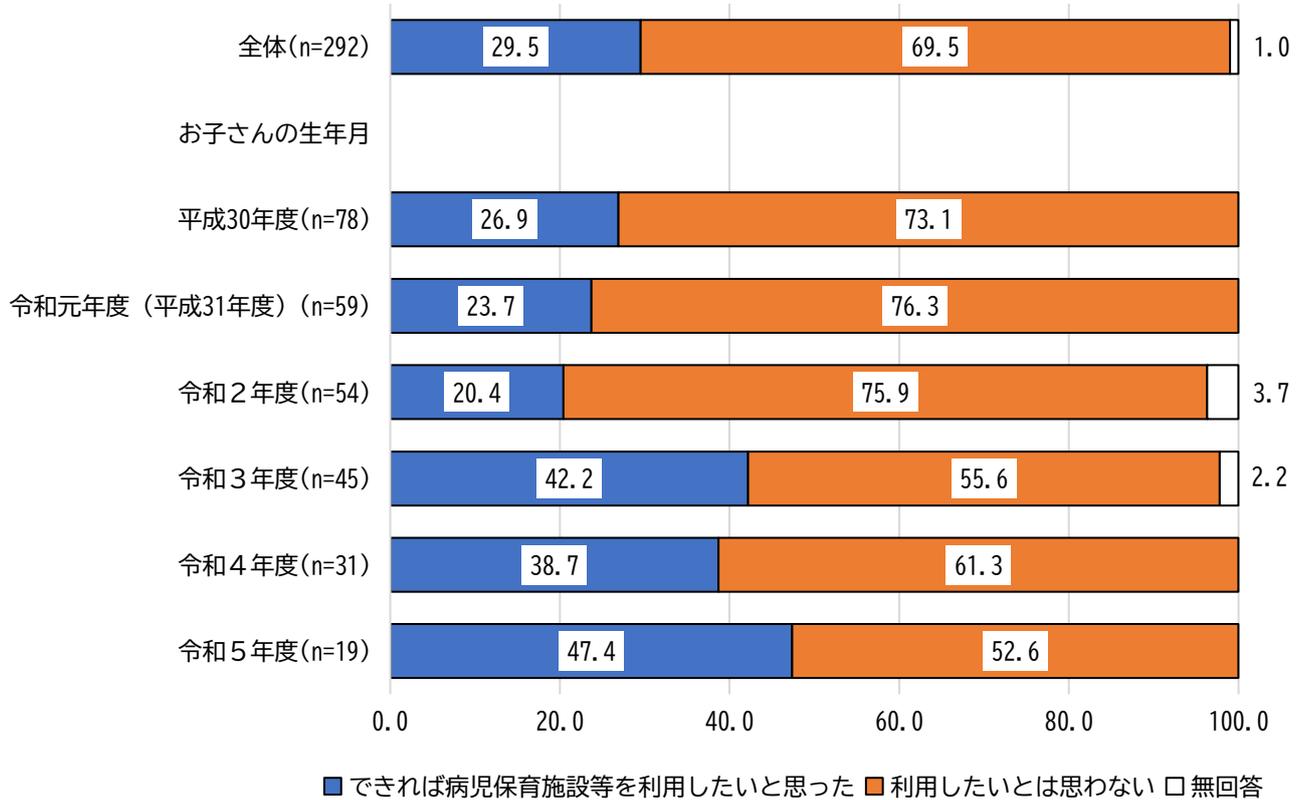


※ 令和6年度に生まれたお子さんの家庭からの回答はありませんでした。

問 19-2 その際、「できれば病児のための保育施設等に預けたい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についてもご記入ください。

「できれば病児のための保育施設等に預けたい」と思ったかについて、「できれば病児保育施設等を利用したいと思った」が29.5%、「利用したいとは思わない」が69.5%となっています。

お子さんの生年月別でみると、すべての生年月で「利用したいとは思わない」が最も高くなっています。

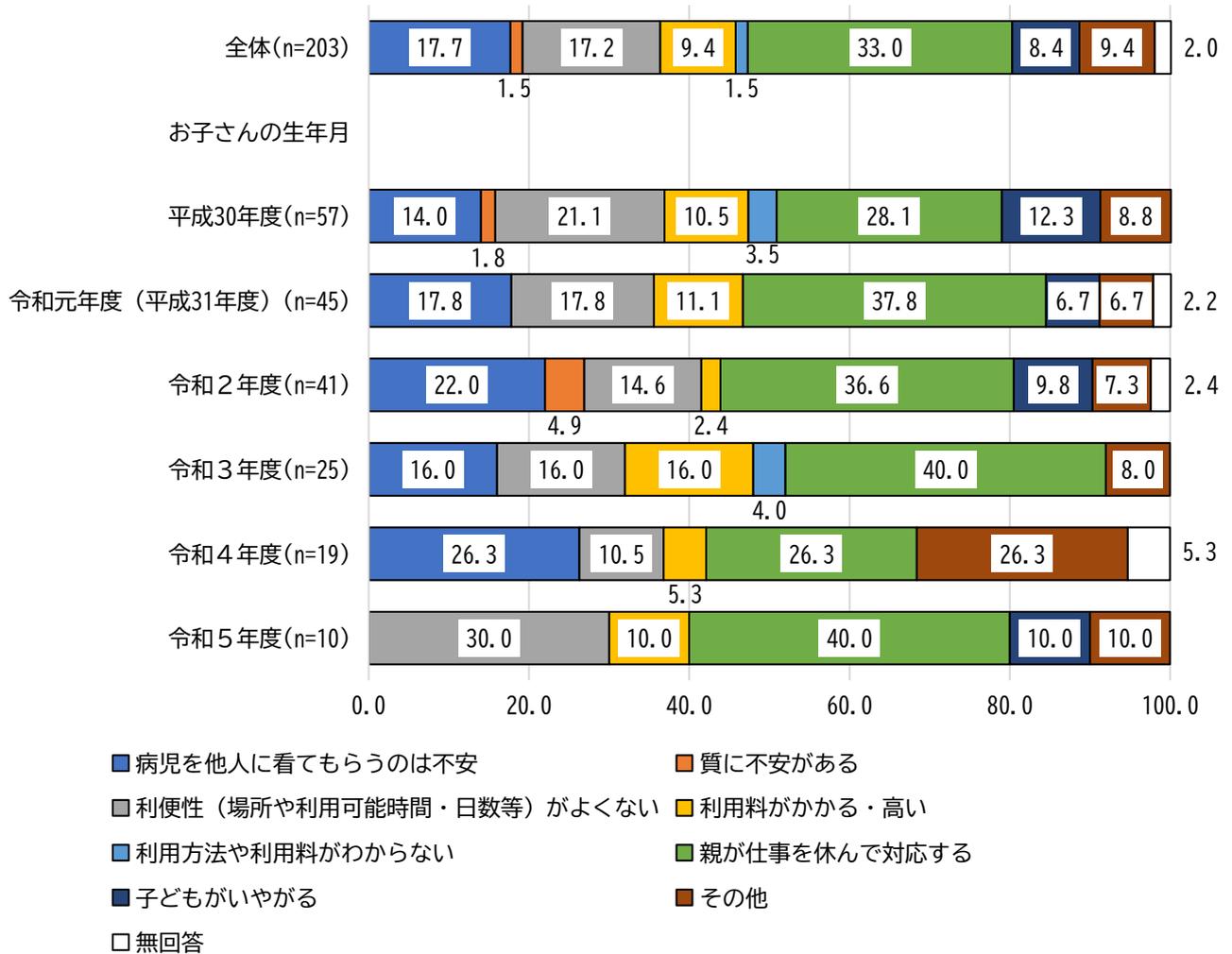


※ 令和6年度に生まれたお子さんの家庭からの回答はありませんでした。

問 19-3 そう思われる理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用したいとは思わない」と思った理由については、「親が仕事を休んで対応する」が33.0%で最も高く、「病児を他人に看てもらうのは不安」が17.7%、「利便性（場所や利用可能時間・日数等）がよくない」が17.2%が続いています。

お子さんの生年月別で見ると、「平成30年度」から「令和3年度」及び「令和6年度」に産まれたお子さんのいる家庭では、「親が仕事を休んで対応する」が最も高くなっています。一方で、「令和5年度」に産まれたお子さんのいる家庭では、「病児を他人に看てもらうのは不安」、「親が仕事を休んで対応する」、「その他」がそれぞれ26.3%となっています。

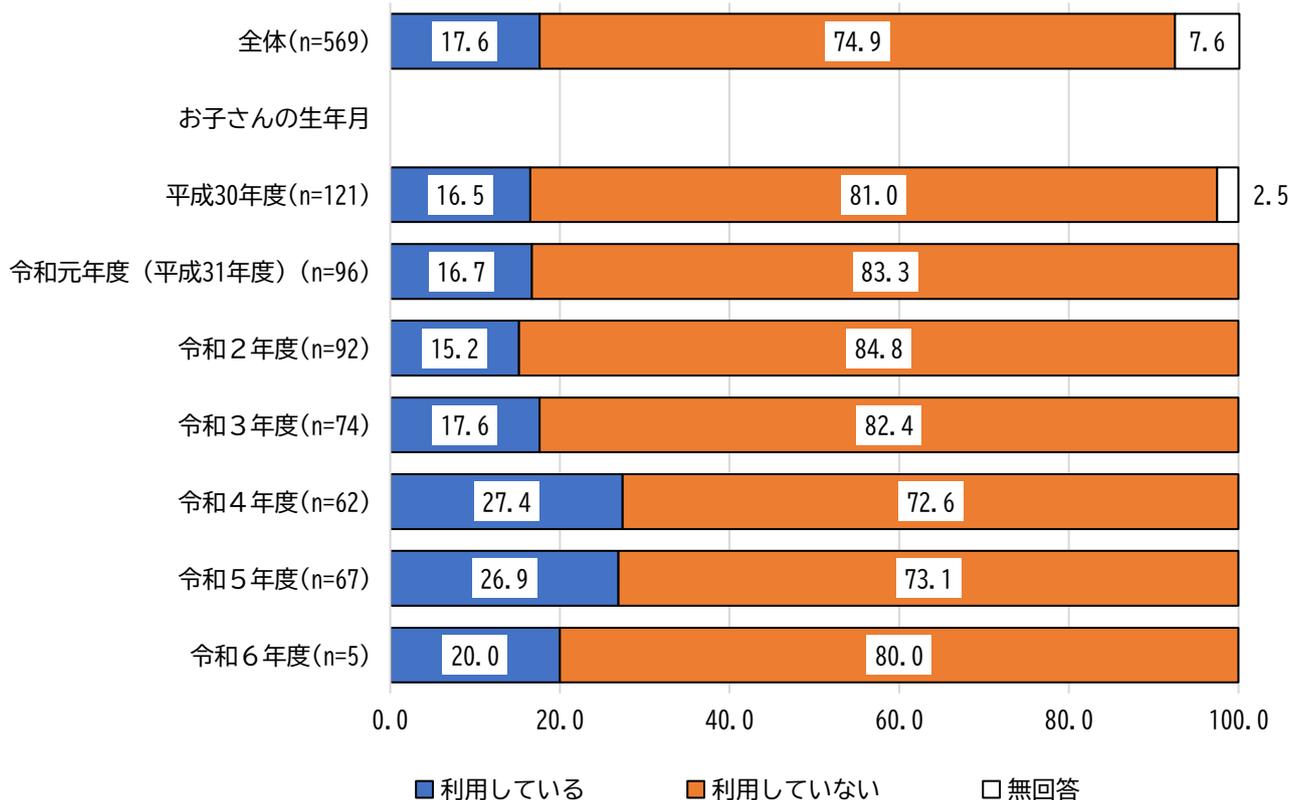


## 9. 地域の子育て支援事業の利用状況について

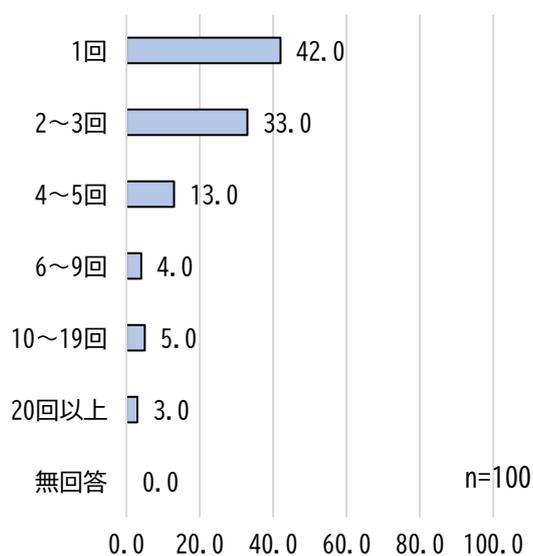
問 20 お子さんは、現在、いすみ市の地域子育て支援拠点事業を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用していると回答された方は、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に記入してください。

現在、いすみ市の地域子育て支援拠点事業を利用してるかについて、「利用している」が17.6%、「利用していない」が74.9%で続いています。

お子さんの生年月別でみると、すべての生年月で「利用していない」が最も高くなっています。



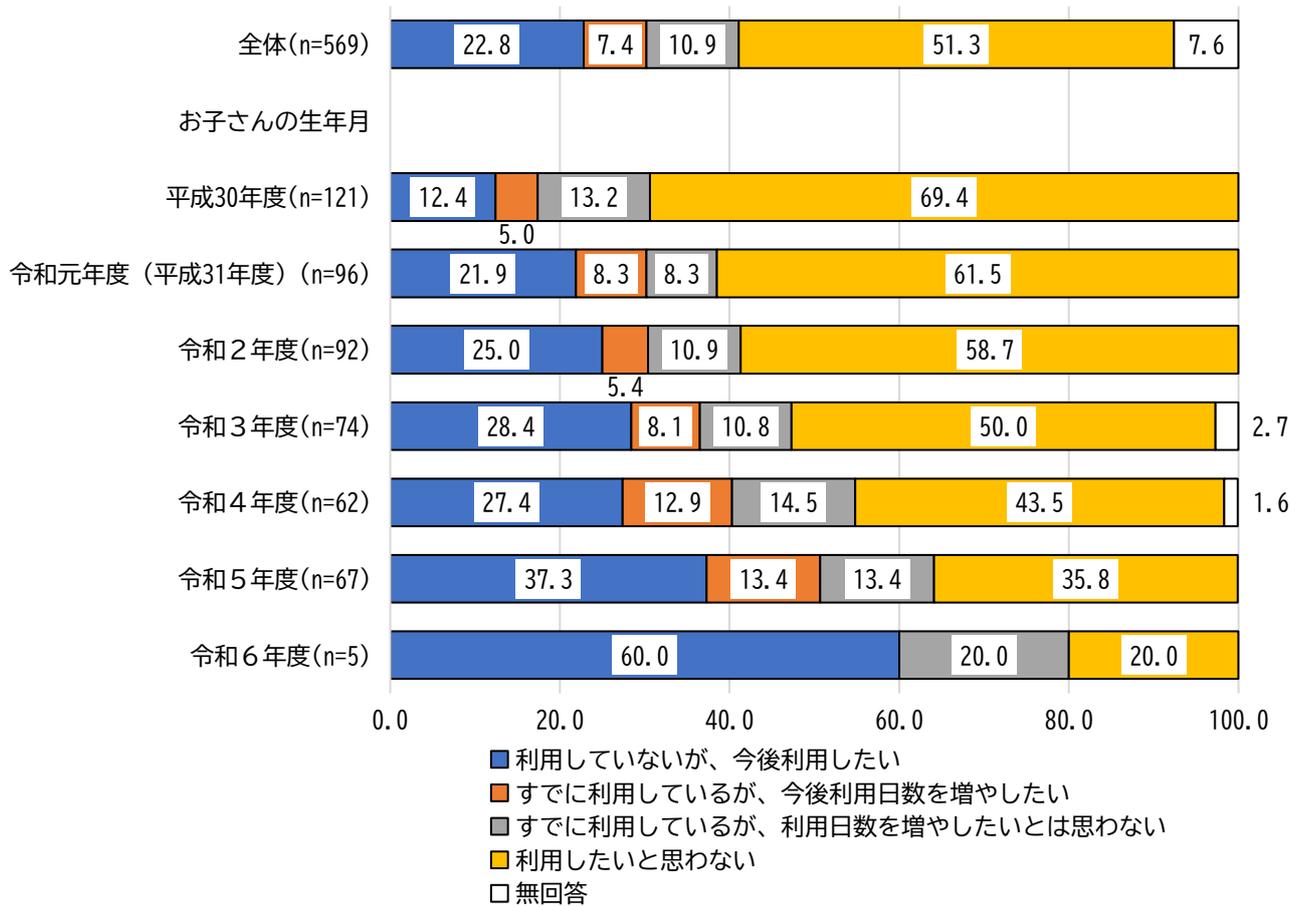
・おおよその利用回数



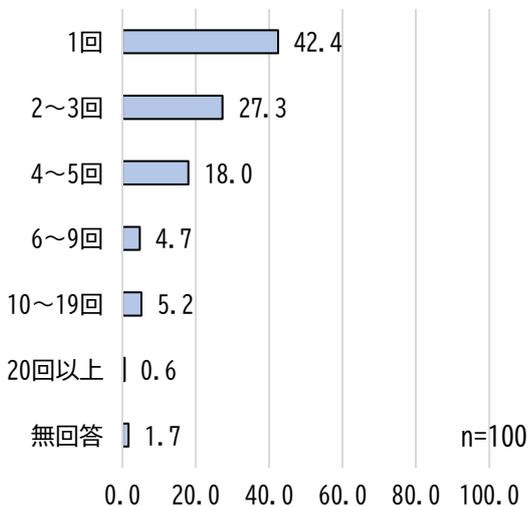
問 21 いすみ市の地域子育て支援拠点事業の利用について、当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字で記入してください。

地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「利用していないが、今後利用したい」が22.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が7.4%、「すでに利用しているが、利用日数を増やしたいとは思わない」が10.9%、「利用したいと思わない」が51.3%となっています。

お子さんの生年月別でみると、お子さんの年齢が上がっていくにつれ、利用希望が下っていく傾向があります。



・おおよその利用回数



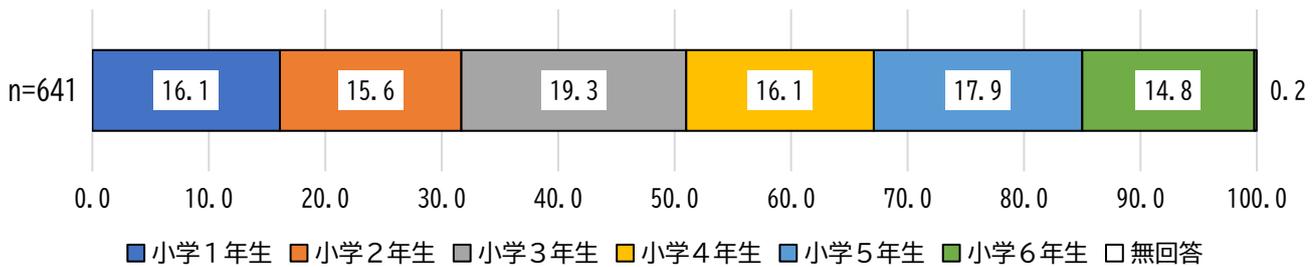
### Ⅲ 調査結果 小学生児童の保護者

#### 1. お子さんご家族の状況について

問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(1) お子さんの学年をご記入ください。

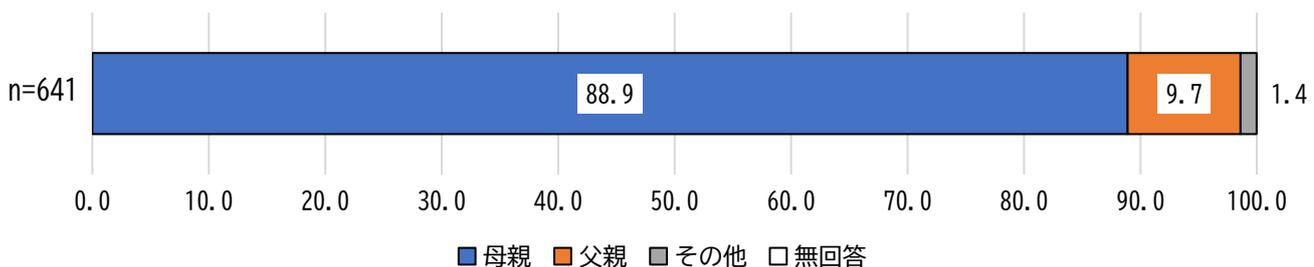
お子さんの学年は、「小学3年生」が19.3%で最も高く、次いで「小学5年生」が17.9%、「小学1年生」と「小学4年生」が16.1%が続いています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(2) ご回答いただく方

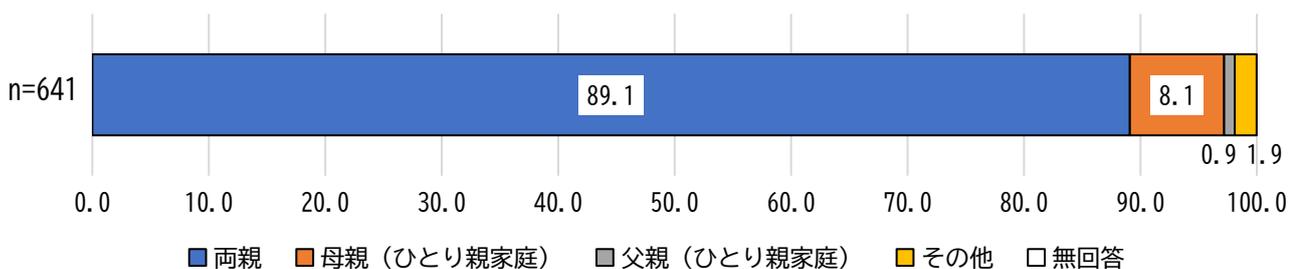
この調査にご回答いただいた方は、「母親」が88.9%、「父親」が9.7%、「その他」が1.4%となっています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(3) 保護者

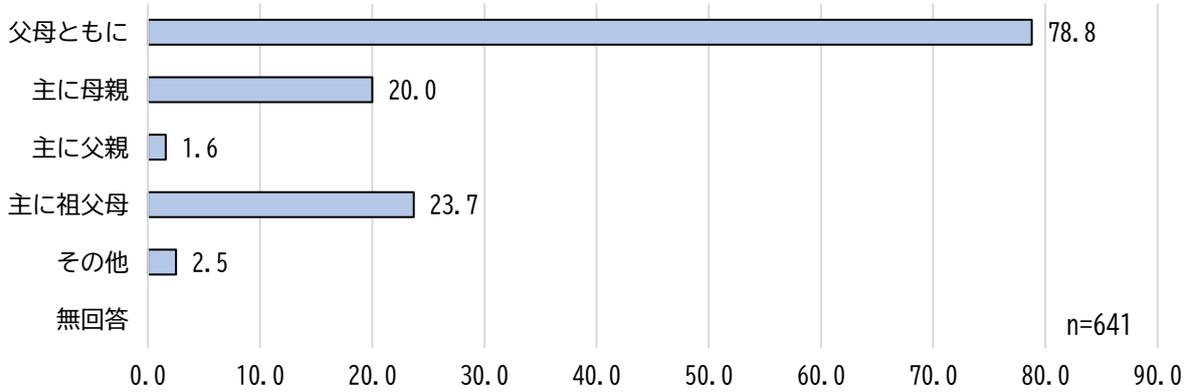
保護者の状況としては、「両親」が89.1%で最も高く、次いで「母親（ひとり親家庭）」が8.1%、「父親（ひとり親家庭）」が0.9%、「その他」が1.9%が続いています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(4) お子さんの子育て(教育を含む)を主にご家庭でしている方

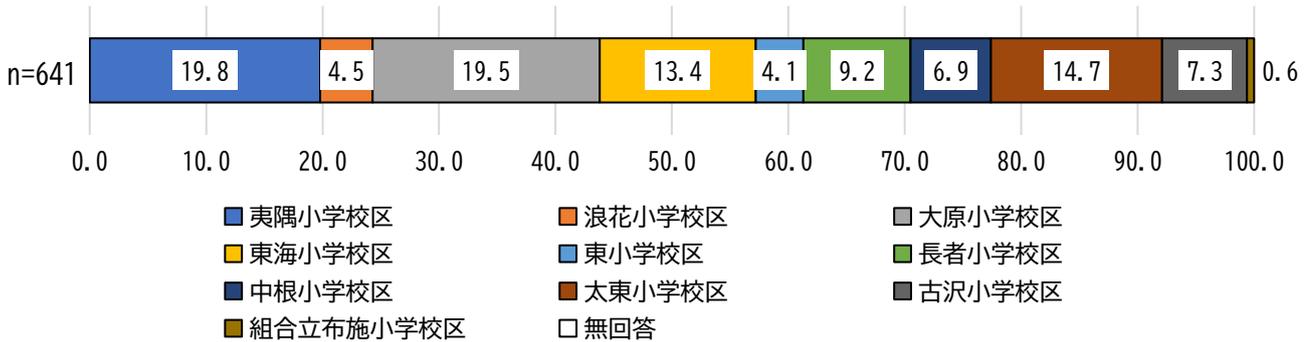
お子さんの子育て(教育を含む)を主に家庭でしている方は、「父母ともに」が78.8%で最も高く、次いで「主に祖父母」が23.7%、「主に母親」が20.0%が続いています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(5) お住まいの小学校区はどちらですか。

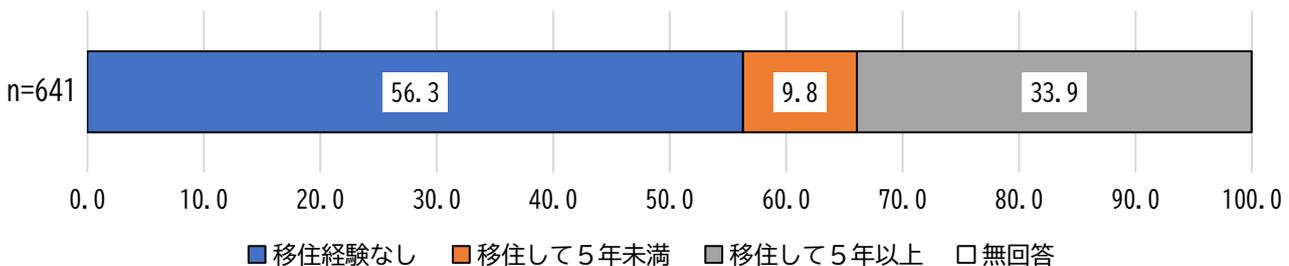
お住まいの小学校区は、「夷隅小学校区」が19.8%で最も高く、「大原小学校区」が19.5%、「太東小学校区」が14.7%が続いています。



問1 お子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(6) いすみ市に移住してきましたか。

いすみ市への移住については、「移住経験なし」が56.3%、「移住して5年未満」が9.8%、「移住して5年以上」が33.9%となっています。

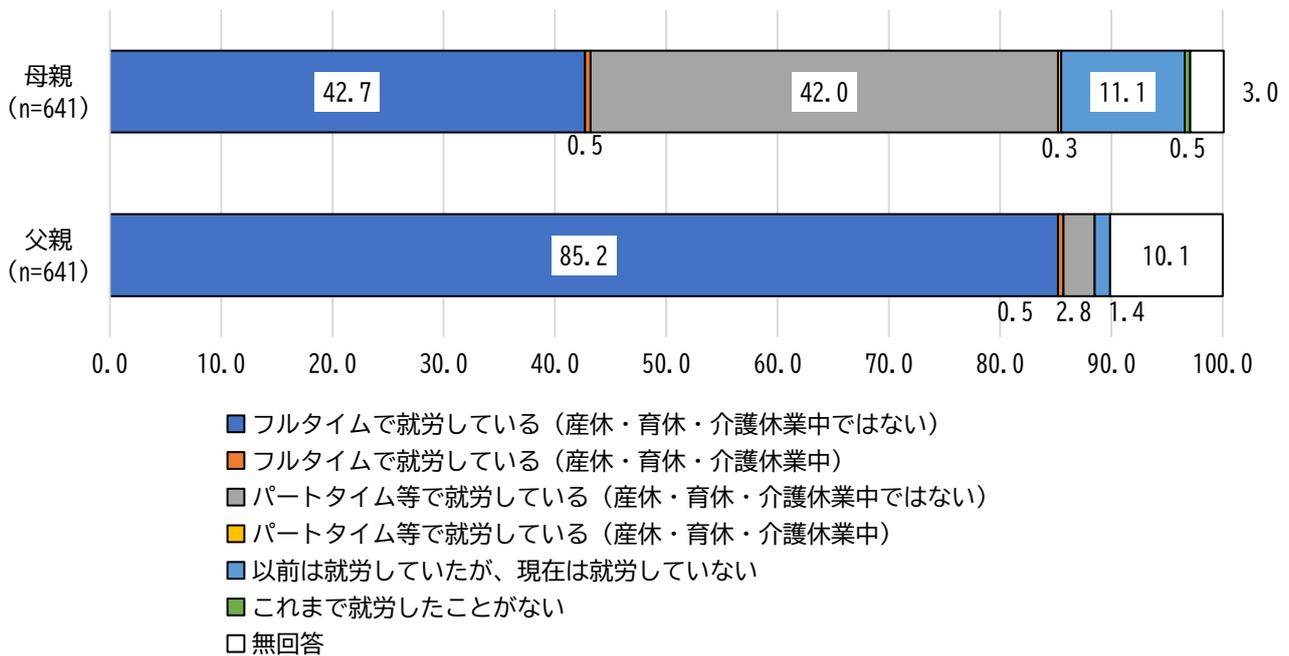


## 2. 保護者の就労状況について

問2 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

母親の現在の就労状況について、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」が42.7%で最も高く、次いで「パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」が42.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が11.1%となっています。

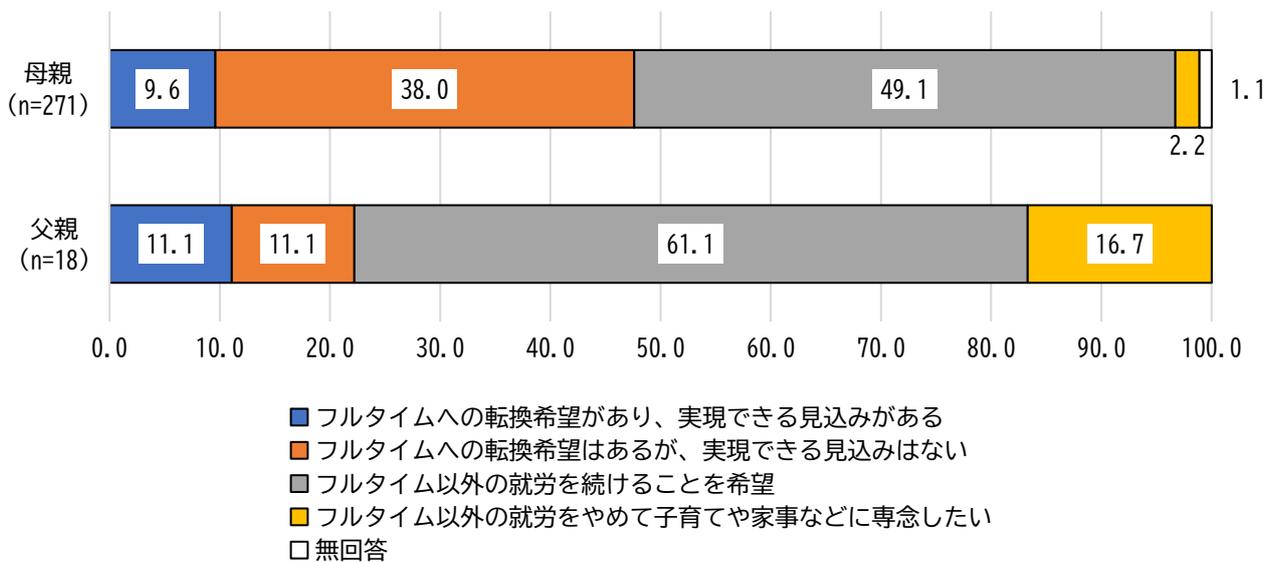
父親の現在の就労状況について、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」が85.2%で最も高く、次いで「パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」が2.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.4%で続いています。



問2-1、問2-2で「3」または「4」（フルタイム以外で就労）に○をつけた方におうかがいします。  
 問3 フルタイムへの転換希望はありますか。

母親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が49.1%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が38.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.6%となっています。

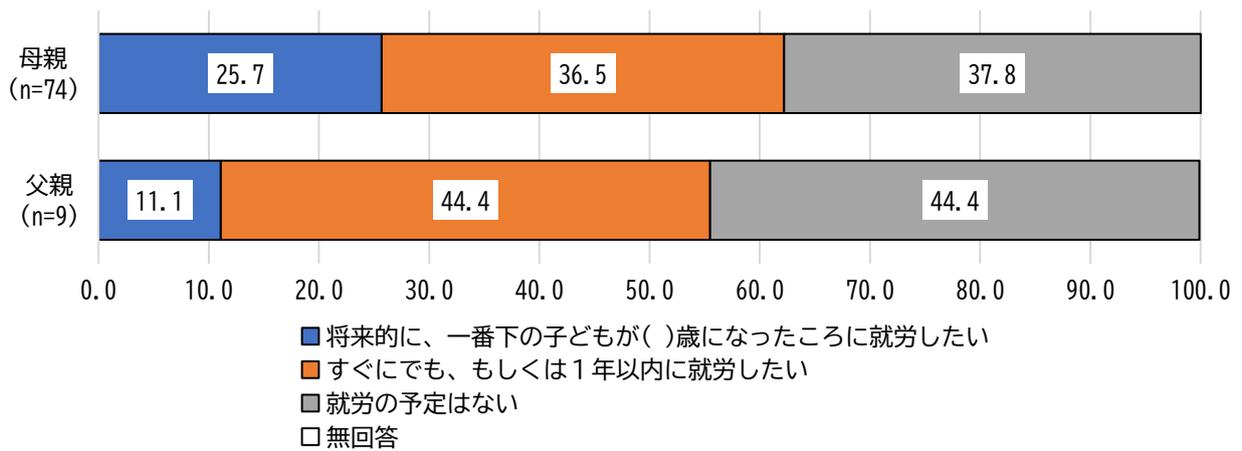
父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が61.1%で最も高く、次いで「フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事などに専念したい」が16.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が11.1%となっています。



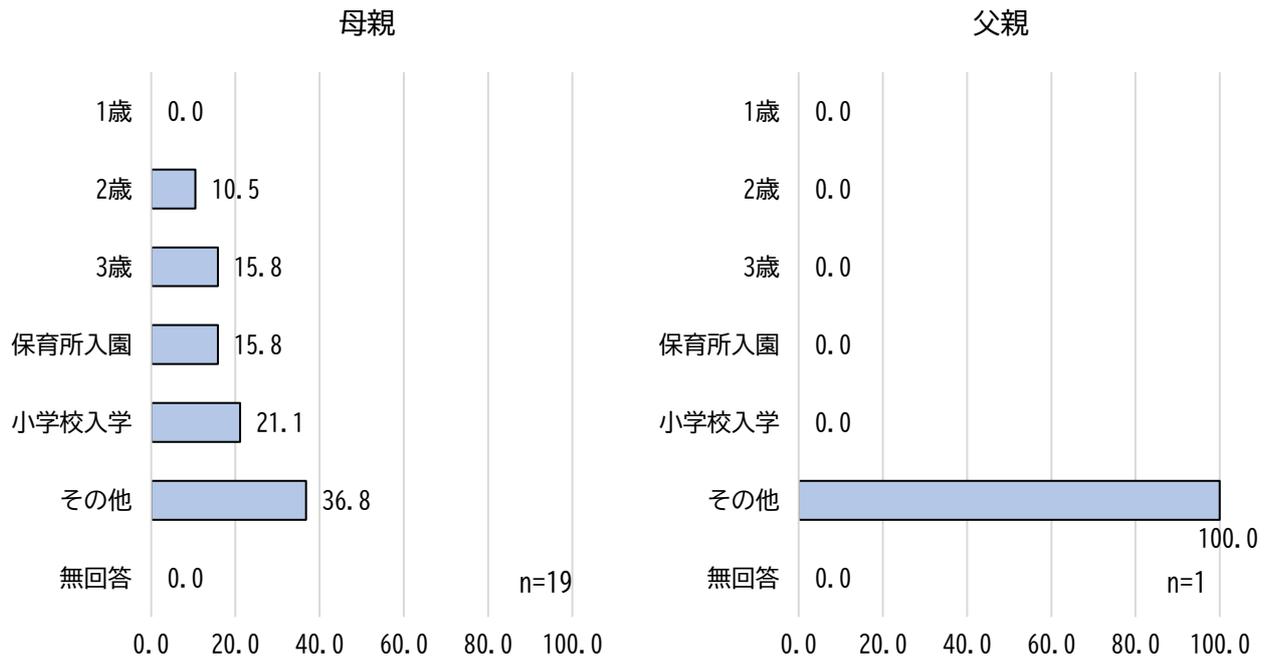
問 2-1 (母親)、問 2-2 (父親) で「5」または「6」に○をつけた方におうかがいします。  
問 4 就労したいという希望はありますか。あてはまるものそれぞれ1つに○をつけ、該当する( )内には数字を記入してください。

母親の就労希望については、「就労の予定はない」が 37.8%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 36.5%、「将来的に、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」が 25.7%となっています。

父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と「就労の予定はない」が 44.4%で最も高く、次いで「将来的に、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」が 11.1%となっています。



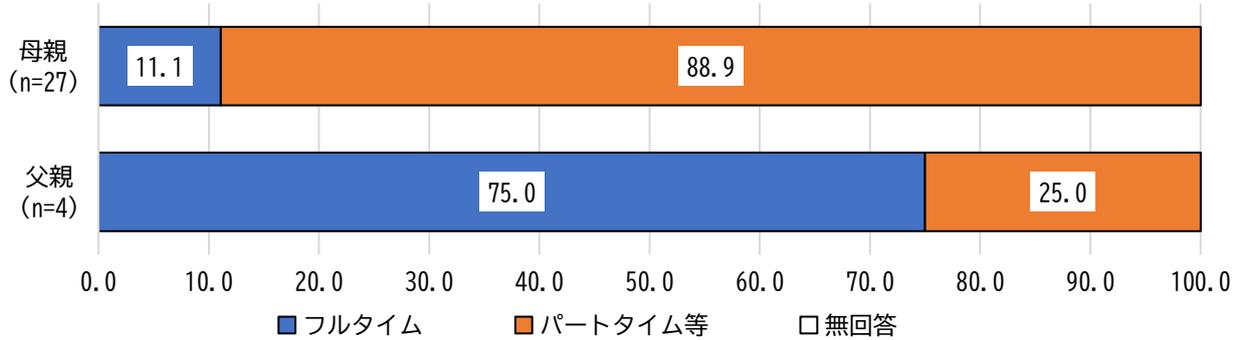
・一番下のお子さんが何歳になったところに就労したいか。



・希望する就労形態

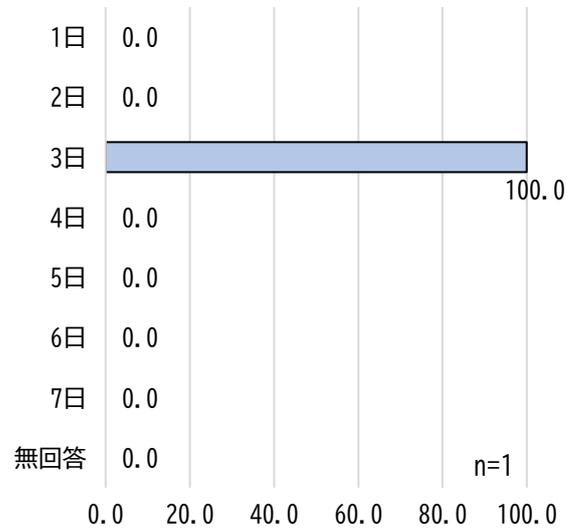
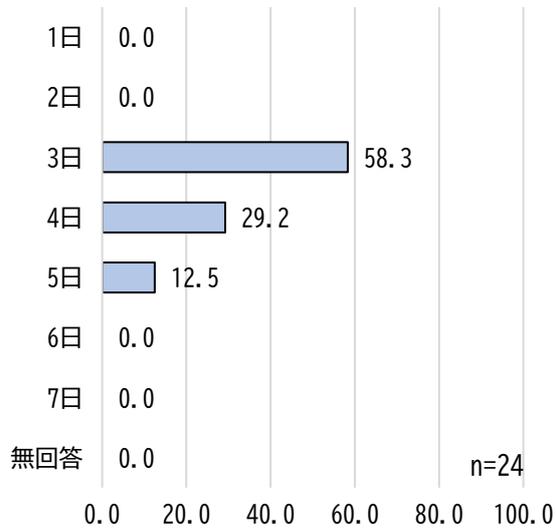
母親の希望する就労形態は、「パートタイム等」が88.9%で最も高くなっています。

父親の希望する就労形態は、「フルタイム」が75.0%で最も高くなっています。



・希望する就労日数（1週間あたり）

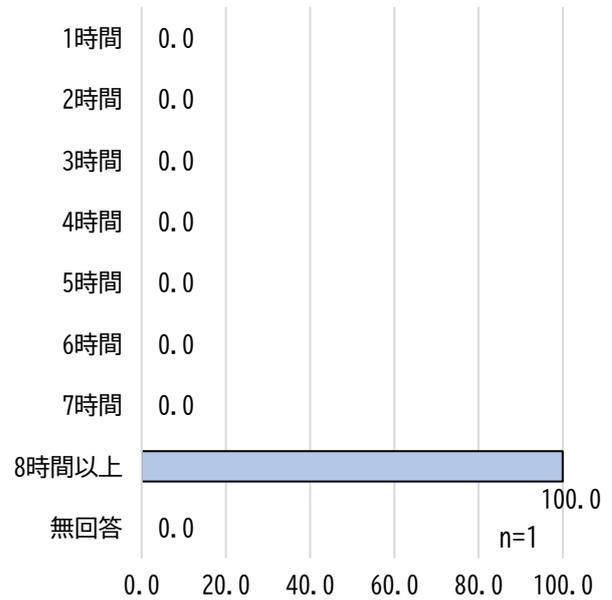
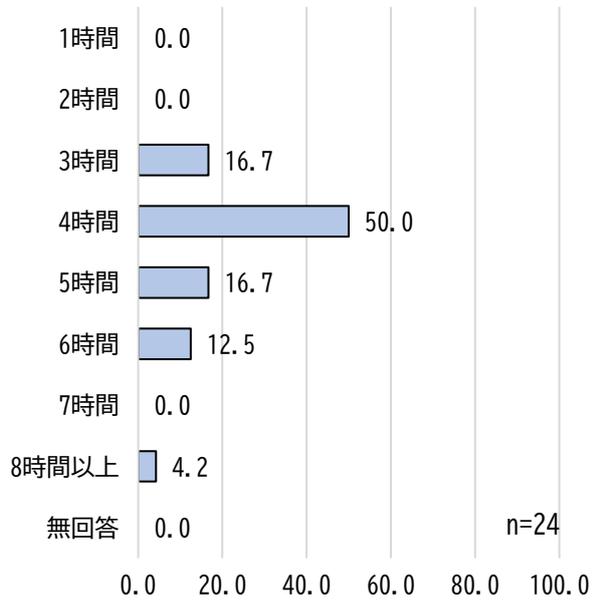
母親、父親ともに、希望する就労日数は「週3日」が最も高くなっています。



・希望する就労時間（1日あたり）

母親の希望する就労時間は、「4時間」が50.0%で最も高くなっています。

父親の希望する就労時間は、「8時間以上」が100.0%となっています。

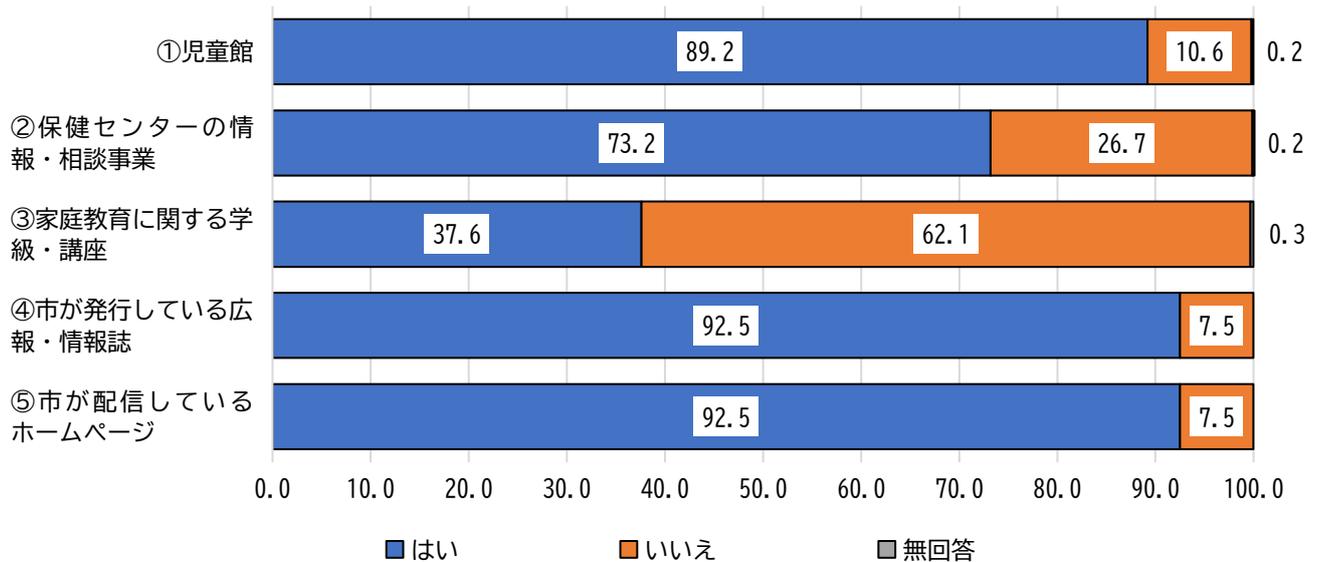


### 3. 子育て環境などについて

問5 下記の①～⑤の取り組みについて、(1) 周知状況、(2) 利用状況、(3) 今後の利用希望についてお答えください。

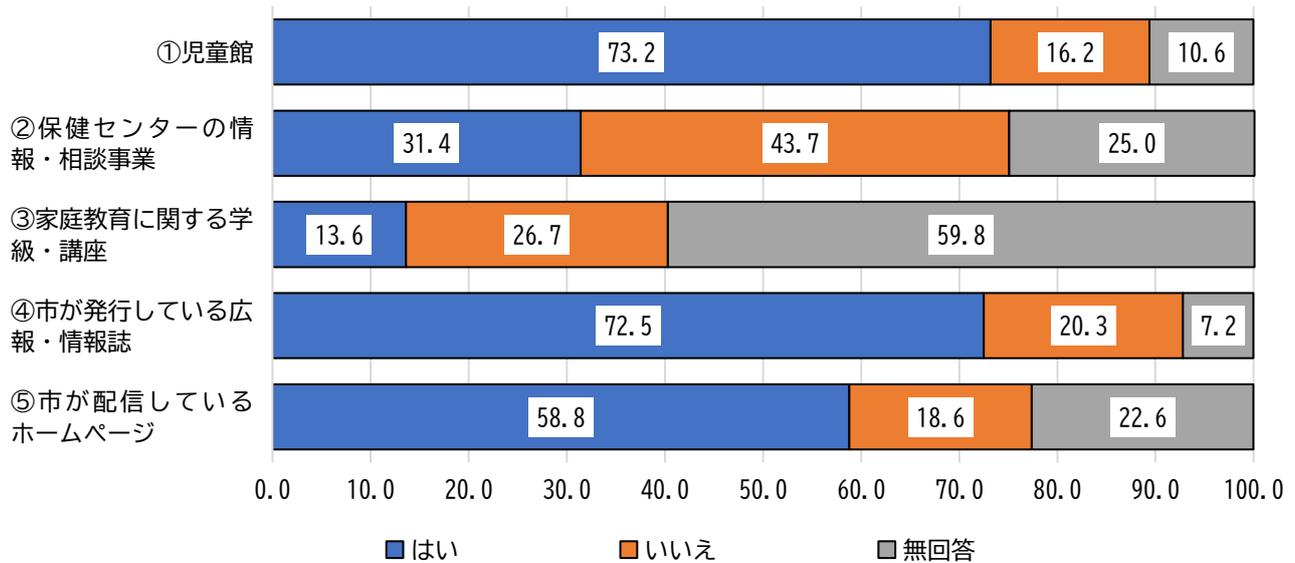
#### (1) 周知状況

取り組みの周知状況としては、「市が発行している広報・情報誌」と「市が配信しているホームページ」が92.5%で最も高く、次いで「児童館」が89.2%、「保健センターの情報・相談事業」が73.2%で続いています。



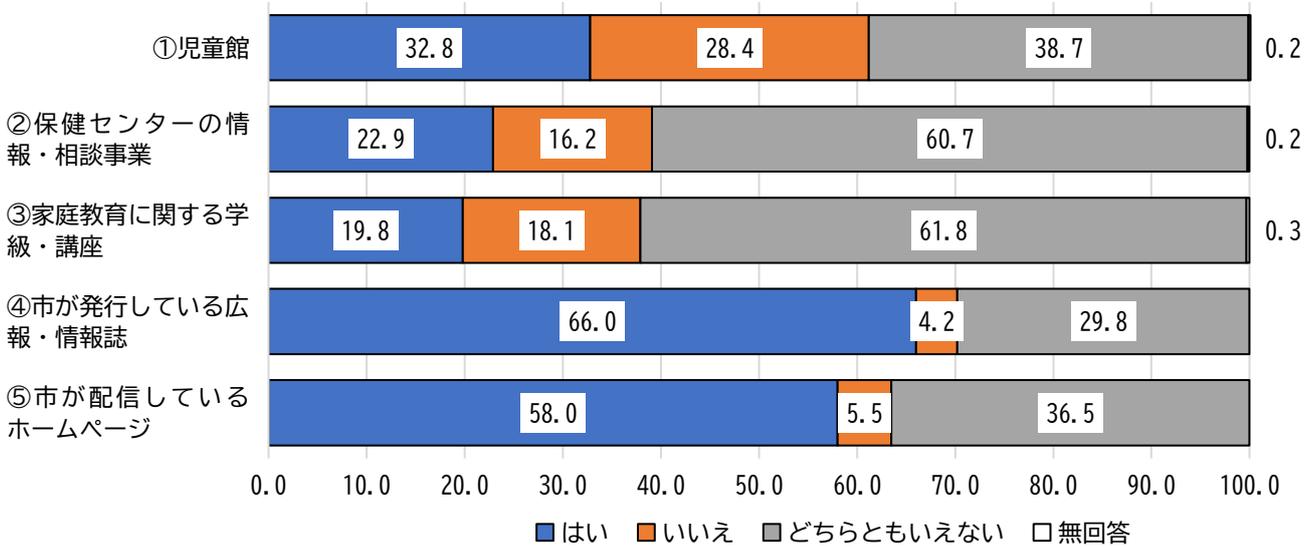
#### (2) 利用状況

取り組みの利用状況としては、「児童館」が73.2%で最も高く、次いで「市が発行している広報・情報誌」が72.5%、「市が配信しているホームページ」が58.8%で続いています。



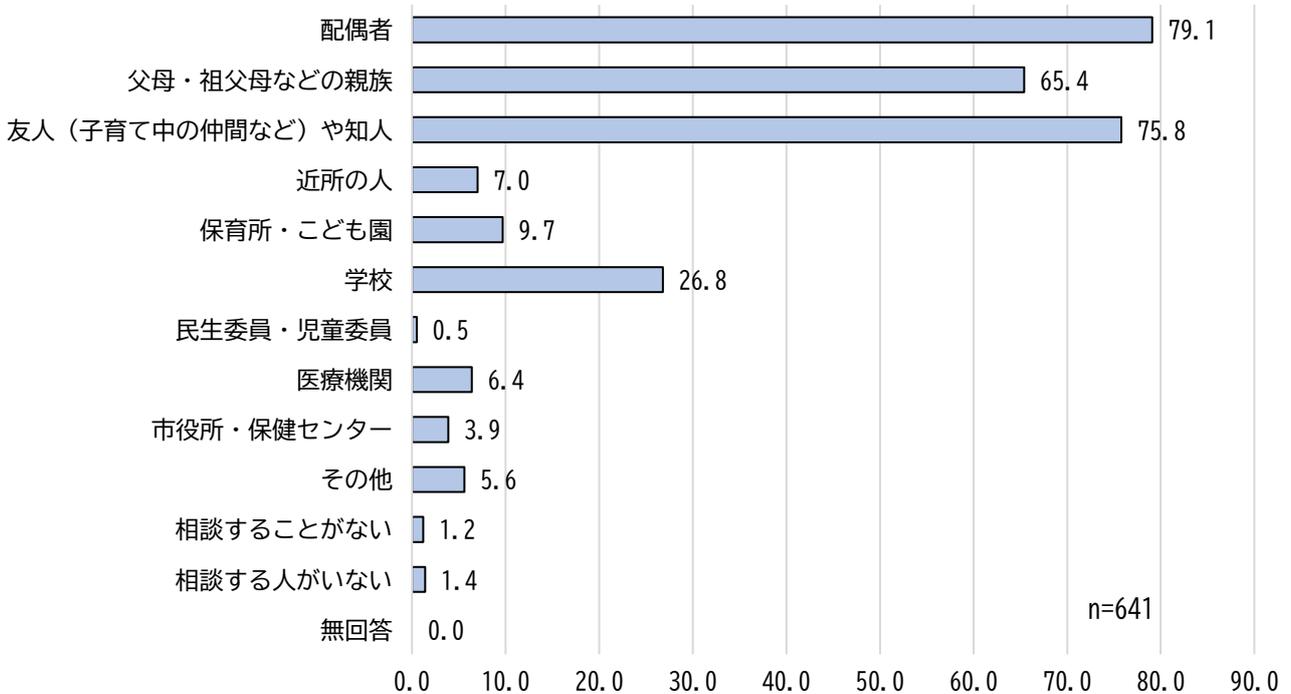
(3) 今後の利用希望

取り組みの今後の利用状況としては、「市が発行している広報・情報誌」が66.0%で最も高く、次いで「市が配信しているホームページ」が58.0%、「児童館」が32.8%が続いています。



問6 日ごろ、子育てに関する悩みをどのような人、または機関に相談していますか。

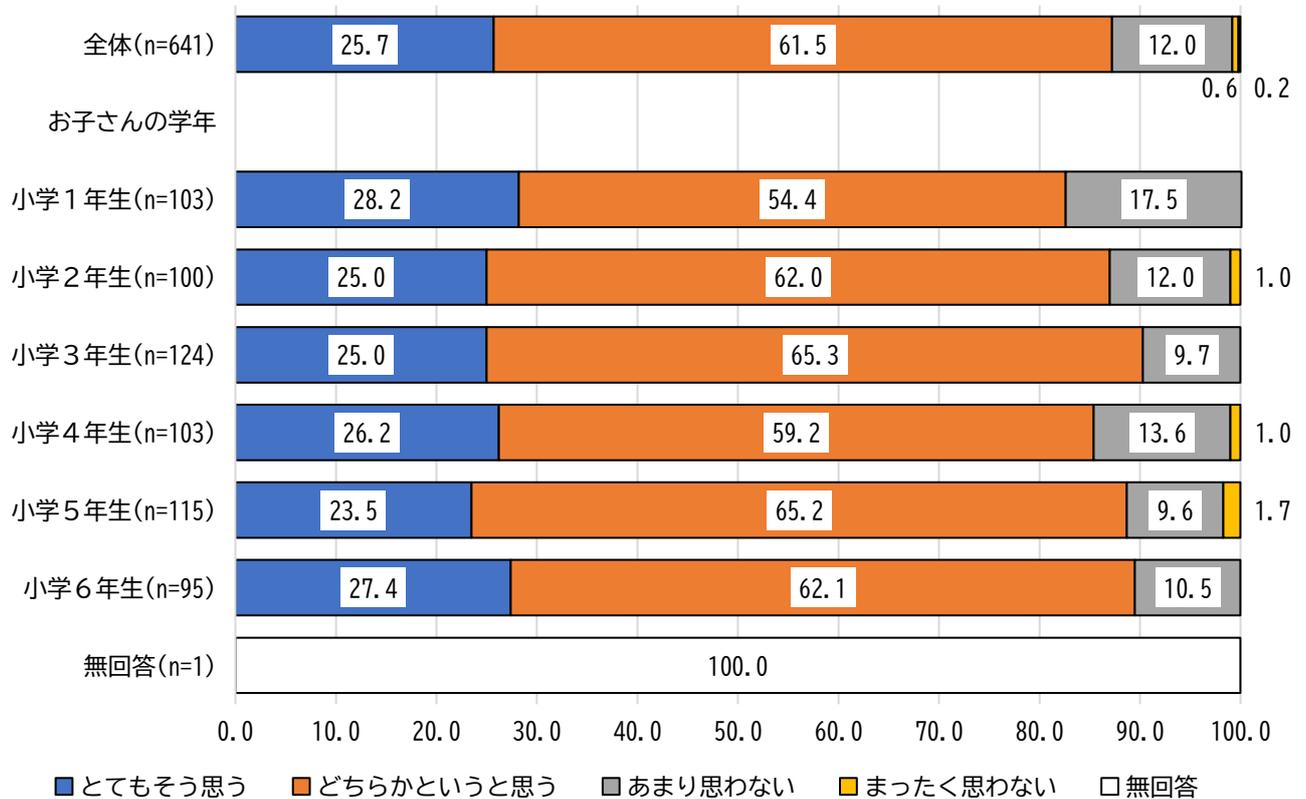
子育てに関する悩みを相談する人、または相談する機関は、「配偶者」が79.1%で最も高く、次いで「友人（子育て中の仲間など）や知人」が75.8%、「父母・祖父母などの親族」が65.4%が続いています。



問7 あなたは、いすみ市は子育てをしやすい環境であると感じていますか。

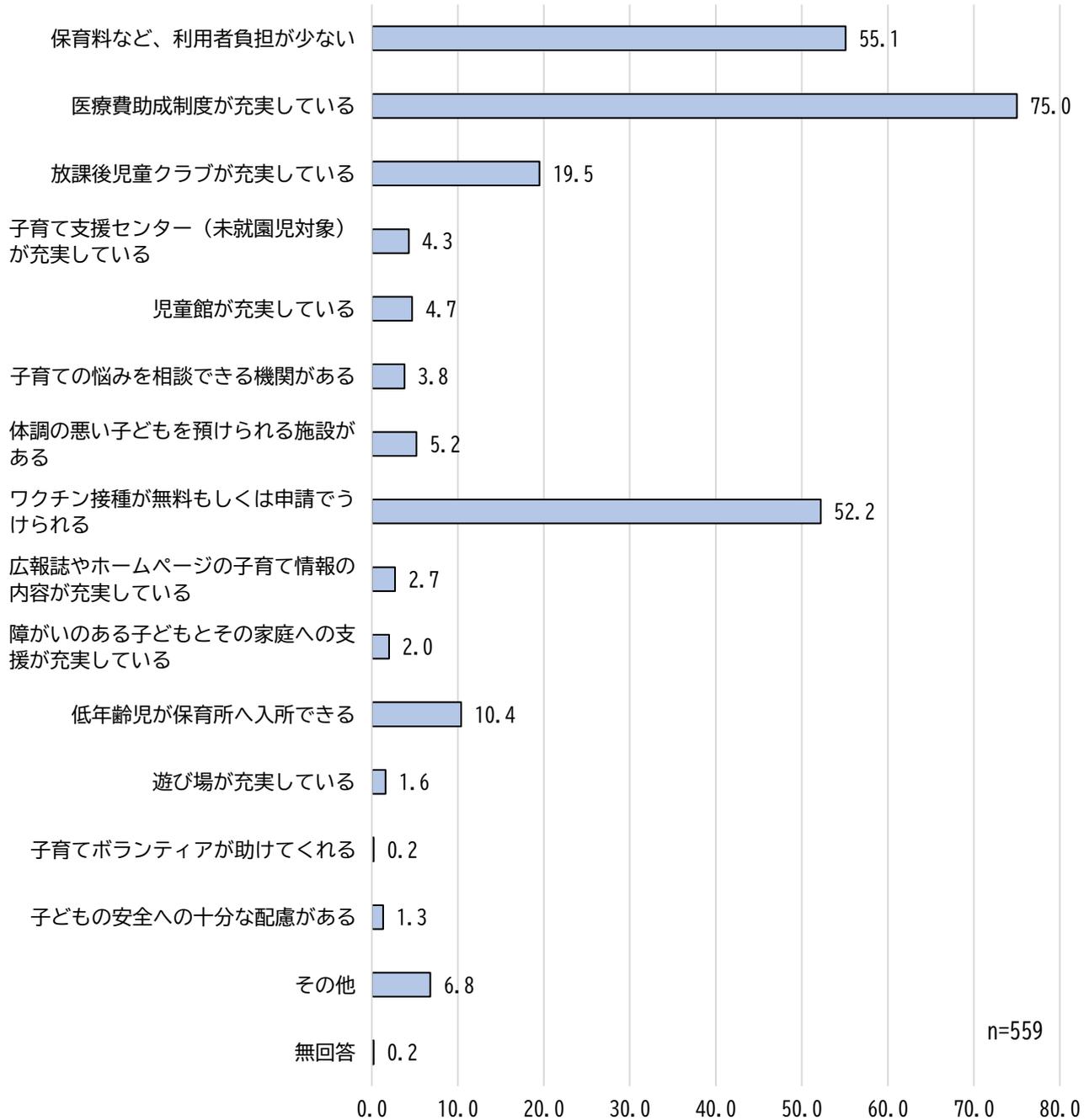
子育てをしやすい環境であると感じるかについて、「とてもそう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』は87.2%となっています。

お子さんの学年別でみると、すべての学年で『そう思う』の割合が高くなっており、「小学校3年生」では90.3%となっています。



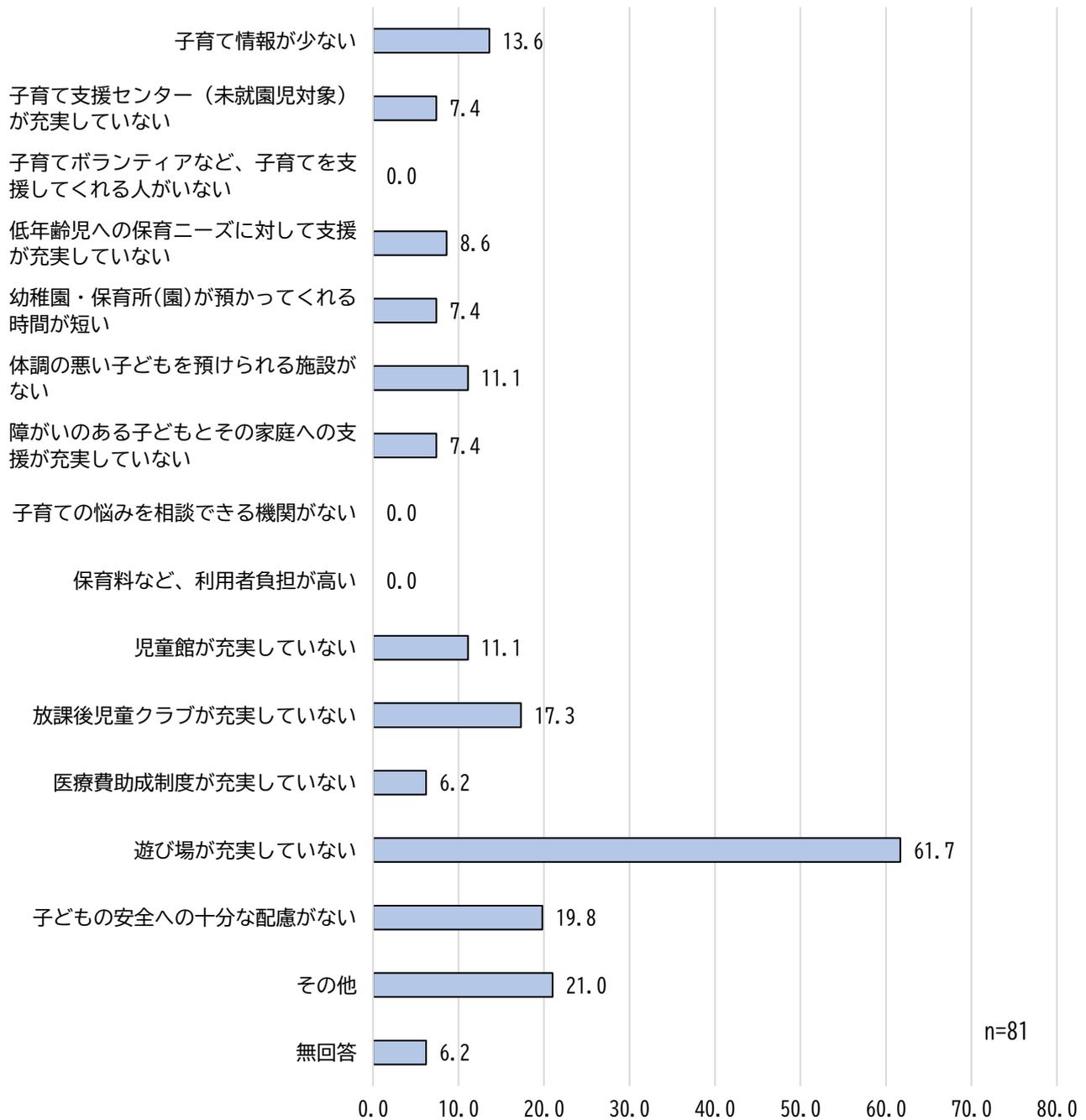
問7で、「1.とてもそう思う」「2.どちらかというと思う」に○をつけた方におうかがいします。  
 問8 いすみ市のどんなところが、子育てをしやすいと感じますか。

いすみ市のどんなところが、子育てをしやすいと感じるかについて、「医療費助成制度が充実している」が75.0%で最も高く、次いで「保育料など、利用者負担が少ない」が55.1%、「ワクチン接種が無料もしくは申請で受けられる」が52.2%が続いています。



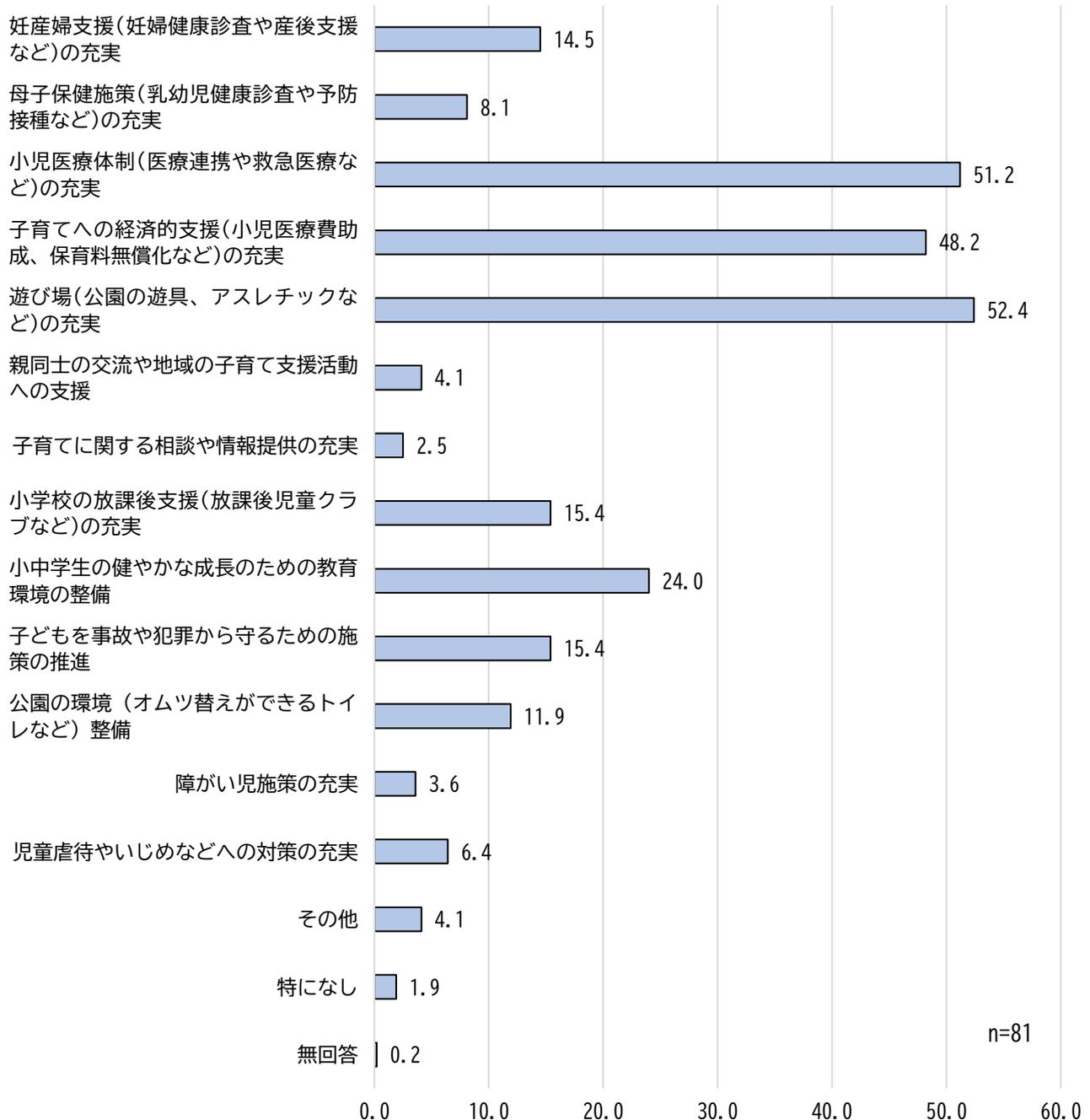
問7で、「3. あまり思わない」「4. まったく思わない」に○をつけた方におうかがいします。  
 問9 いすみ市のどんなところが、子育てをしにくいと感じますか。

いすみ市のどんなところが、子育てをしにくいと感じるかについて、「遊び場が充実していない」が61.7%で最も高く、次いで「子どもの安全への十分な配慮がない」が21.0%、「児童館が充実していない」と「放課後児童クラブが充実していない」が17.3%が続いています。



問10 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。

子育てをしやすいまちづくりのために、充実させる必要がある取り組みは、「遊び場(公園の遊具、アスレチックなど)の充実」が52.4%で最も高く、次いで「小児医療体制(医療連携や救急医療など)の充実」が51.2%、「子育てへの経済的支援(小児医療費助成、保育料無償化など)の充実」が48.2%となっています。



問 11 いすみ市の子育て支援について、ご意見、ご提案があれば、お書きください。

(主なご意見、ご提案)

- ・環境もいいし、子供にとっては住みやすい所だと思います。
- ・きれいで安全な公園が有ったら嬉しいです。さびた遊具で危険を感じることも有るので。
- ・小学生がおもいきり体を動かせるアスレチックなど、市内3ヶ所あるとよいと思う（大原あたり1つ、岬あたり1つ、国吉あたり1つ）。休日、友人と勉強できたり、ソファなど沢山あるところでくつろげる図書館のスペースがあったり、学校外で誰かに気軽に相談できる場所があるとよいと思います。
- ・出産できる産婦人科があれば。
- ・これは田舎なのではない事だと思いますが、子供達の遊びに行く場が少ない。理想は学校の近くに駄菓子屋さんや、学校外で遊べる場があるとすごくいいなと思います。
- ・小児科をもう少し増やして欲しい
- ・公園が欲しい。
- ・学校や地方自治体が発行し、親が記入するフォームの一部を英語に翻訳していただきたいです。外国人の私にとって、英語で書かれていないフォームのアンケートに答えて期限内に提出するのは困難です。
- ・車社会で歩行者のことを全然考えていない街並みです。子育て支援センターまでの道も歩道が無く、ベビーカーを安心して押して歩けませんでした。
- ・公園、室内で遊べる遊び場等たくさん欲しい。
- ・夏休みの昼食問題。
- ・放課後児童クラブの先生の対応が良くない。大きい声で子供をガミガミとしかりつけ、言い方も良くない。実態を確認して頂きたい。子供が学童に行きたくないと言う。学童に預けている保護者への定期的なアンケートや指導者への指導をお願いしたい。
- ・中学にもスクールバスの導入
- ・発達障害など、学校で困り事の多い子供たちへの手厚い支援と、子育てで悩んでいる親への支援を希望します。
- ・保育所については、外遊びが少ないのが気になります。また、保育所や学童保育の先生方は、子どもファーストというよりは、いかに効率よく保育するかという大人中心の保育をされているように感じます。親同士の会話でも出てくる内容です。保育所の先生の数がぎりぎり、保育に余裕が無いように感じます。
- ・児童手当は高校卒業まで支援して欲しいです。
- ・登下校の危険な場所のガードレール、カーブミラー設置を見直してほしい。中で水漏れしているトンネルなども。登下校の道の除草なども。通れないと草を避けて道路に出て歩くしかないのです。

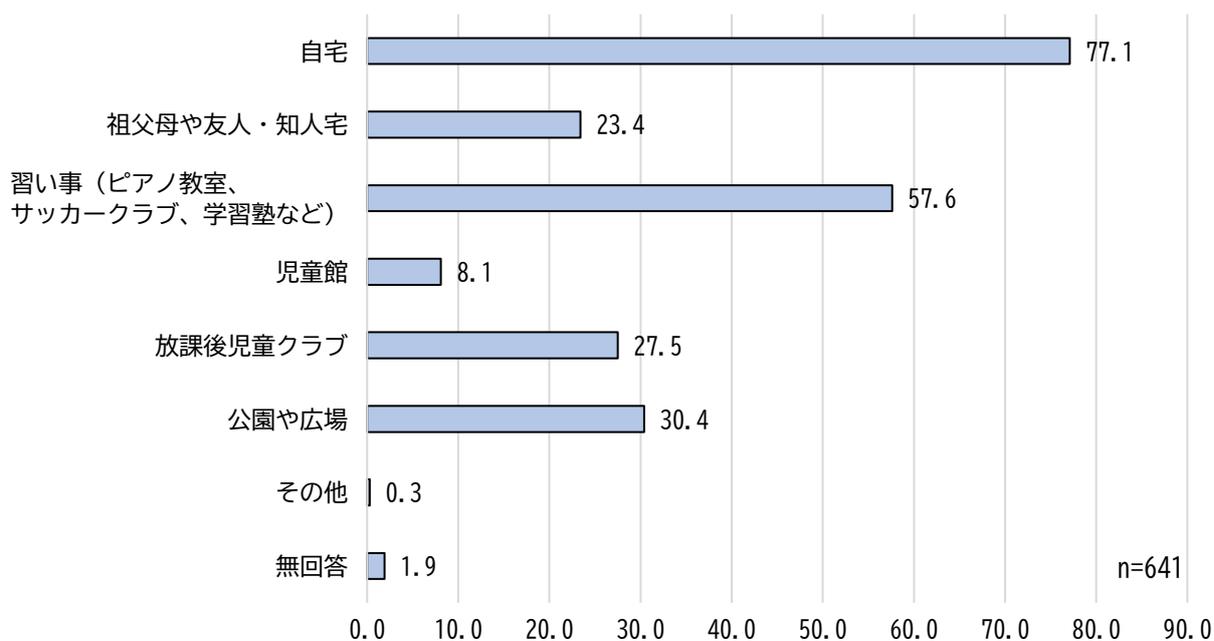
(など全 143 件)

## 4. お子さんの放課後のすごしかたについて

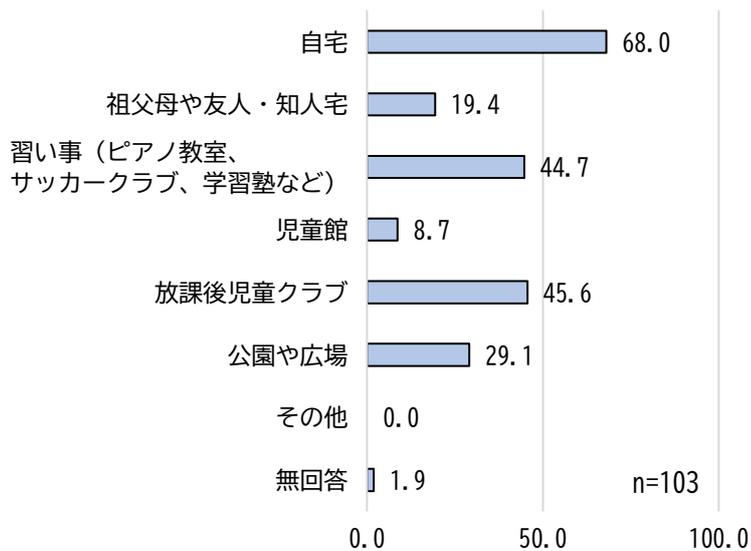
問 12 お子さんについて、放課後（平日の学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたい（希望）と思いますか。

放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が 77.1%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 57.6%、「公園や広場」が 30.4%が続いています。

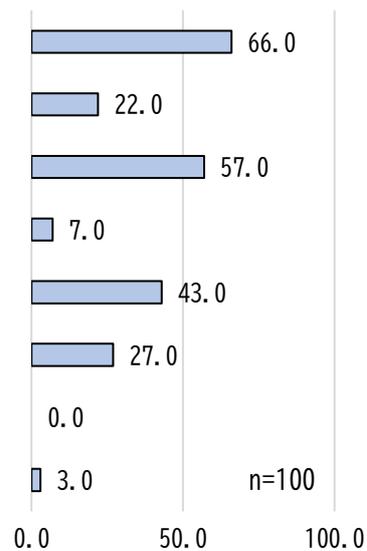
お子さんの学年別で見ると、すべての学年で「自宅」の割合が最も高くなっています。



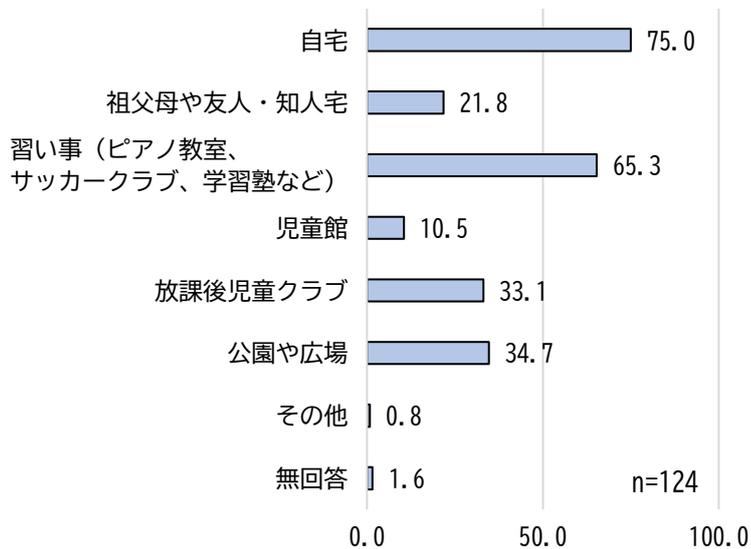
小学1年生



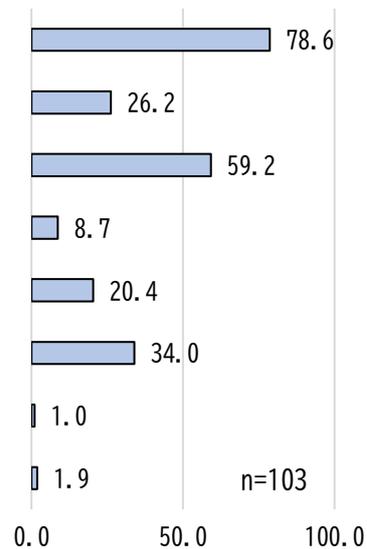
小学2年生



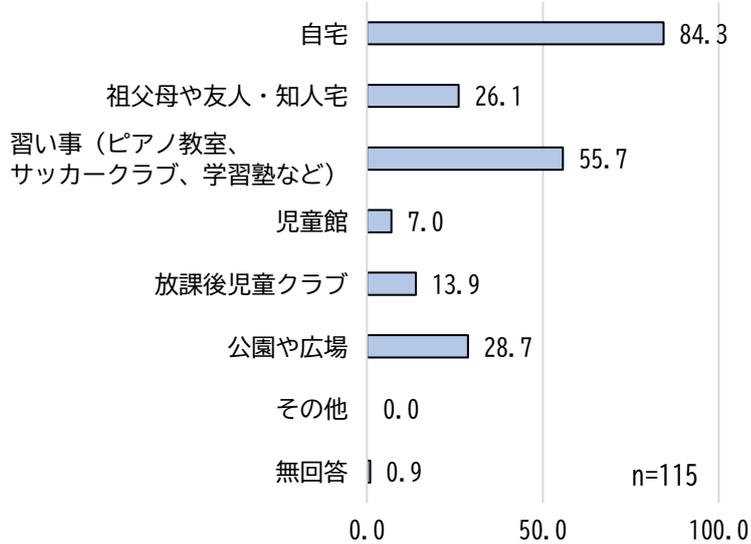
小学3年生



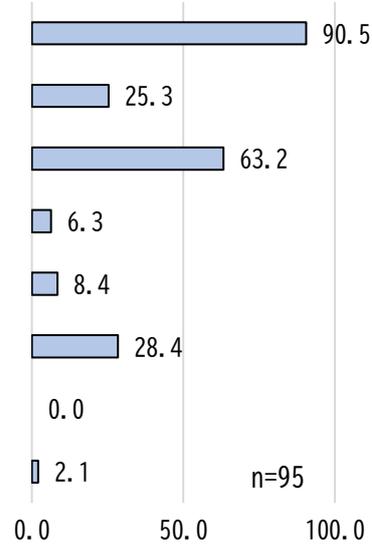
小学4年生



小学5年生

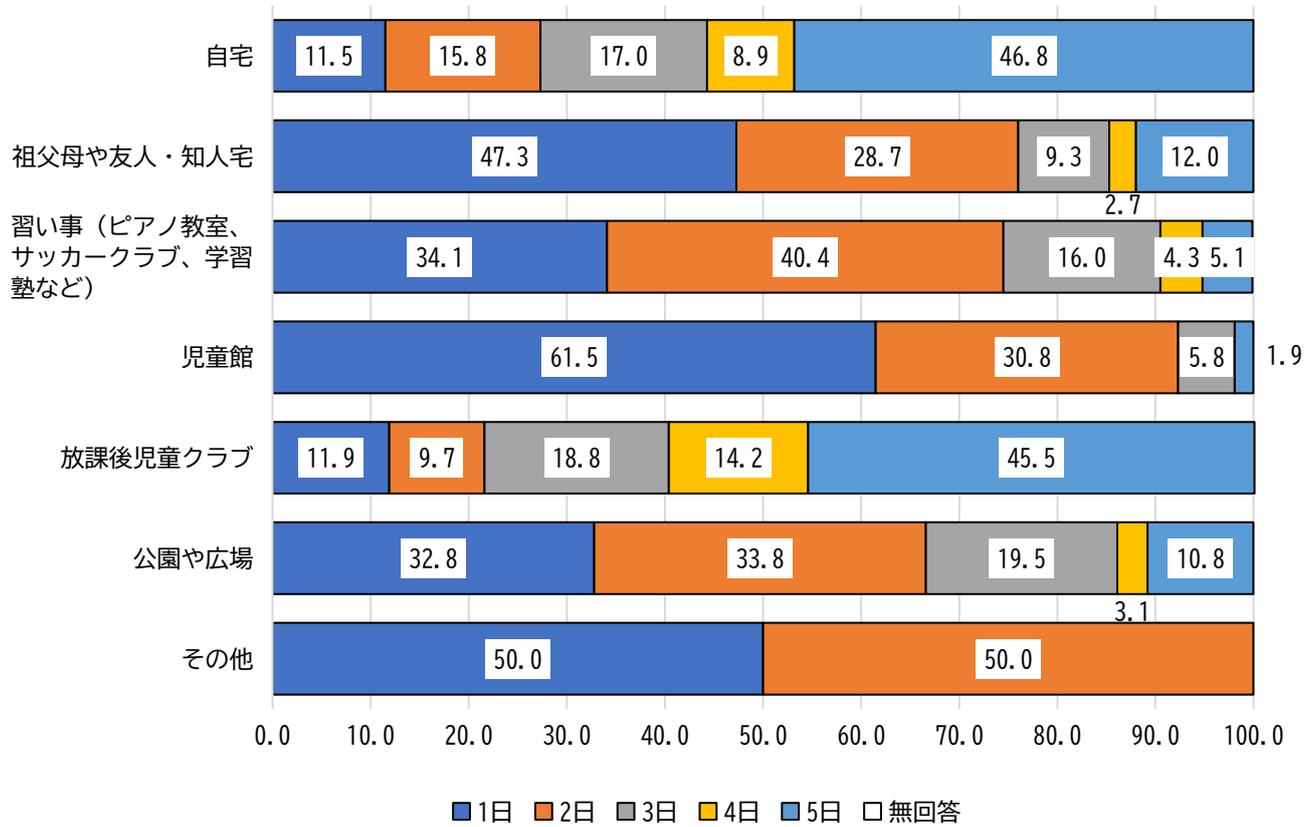


小学6年生



・過ごさせたい日数

過ごさせたい日数としては、「自宅」と「放課後児童クラブ」では、「5日」が、「祖父母や友人・知人宅」と「児童館」では「1日」が、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」と「公園や広場」でが「2日」の割合が最も高くなっています。



問 12 で「5. 放課後児童クラブ」と回答した方におうかがいします。

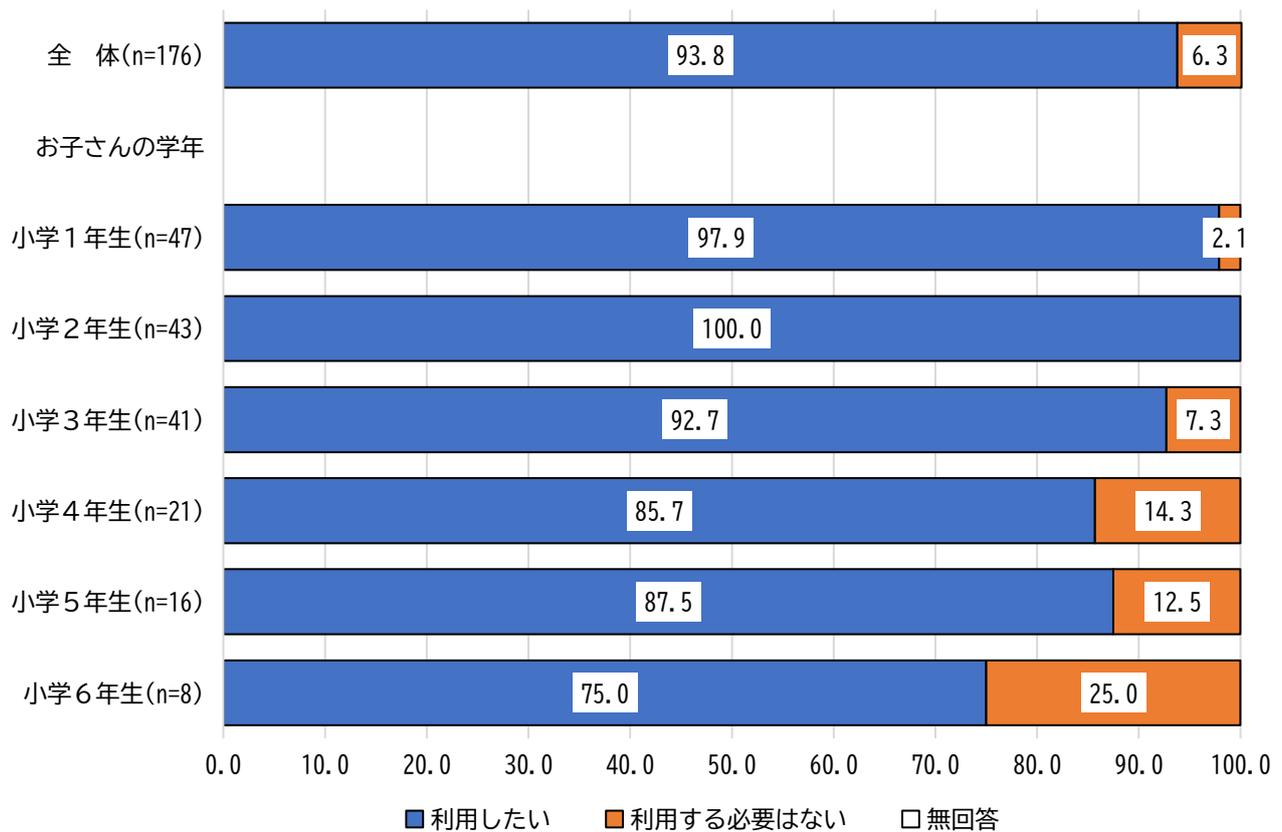
問 12-1 「放課後児童クラブ」の利用希望についておうかがいします。利用の意向と希望する時間をご記入ください。

(1) 平日

・利用意向

平日の利用意向としては、「利用したい」が 93.8%、「利用する必要はない」が 6.3%となっています。

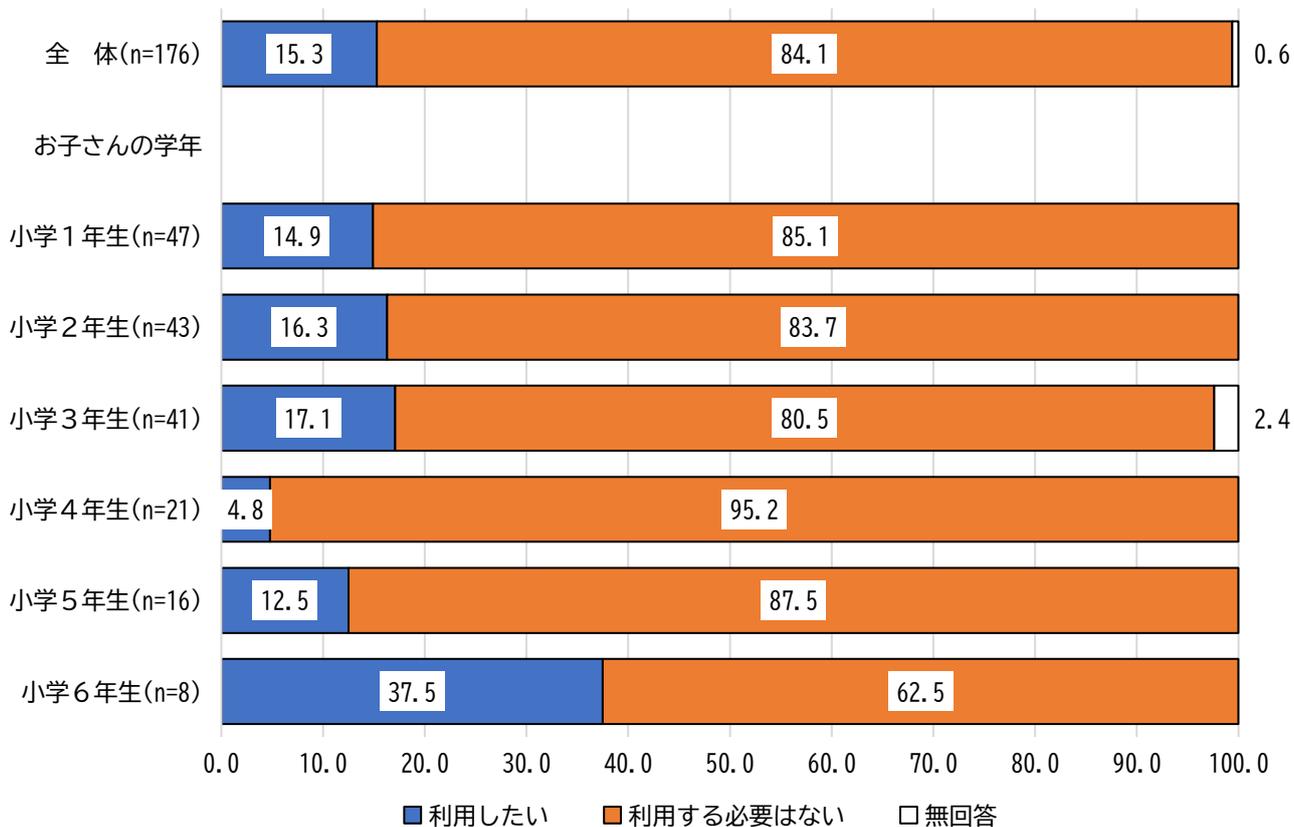
お子さんの学年で見ると、「小学2年生」では、「利用したい」が 100.0%となっており、「小学1年生」から「小学3年生」までの学年では「利用したい」が9割を超えています。



(2) 土日、祝日

土日、祝日の利用意向としては、「利用したい」が15.3%、「利用する必要はない」が84.1%となっています。

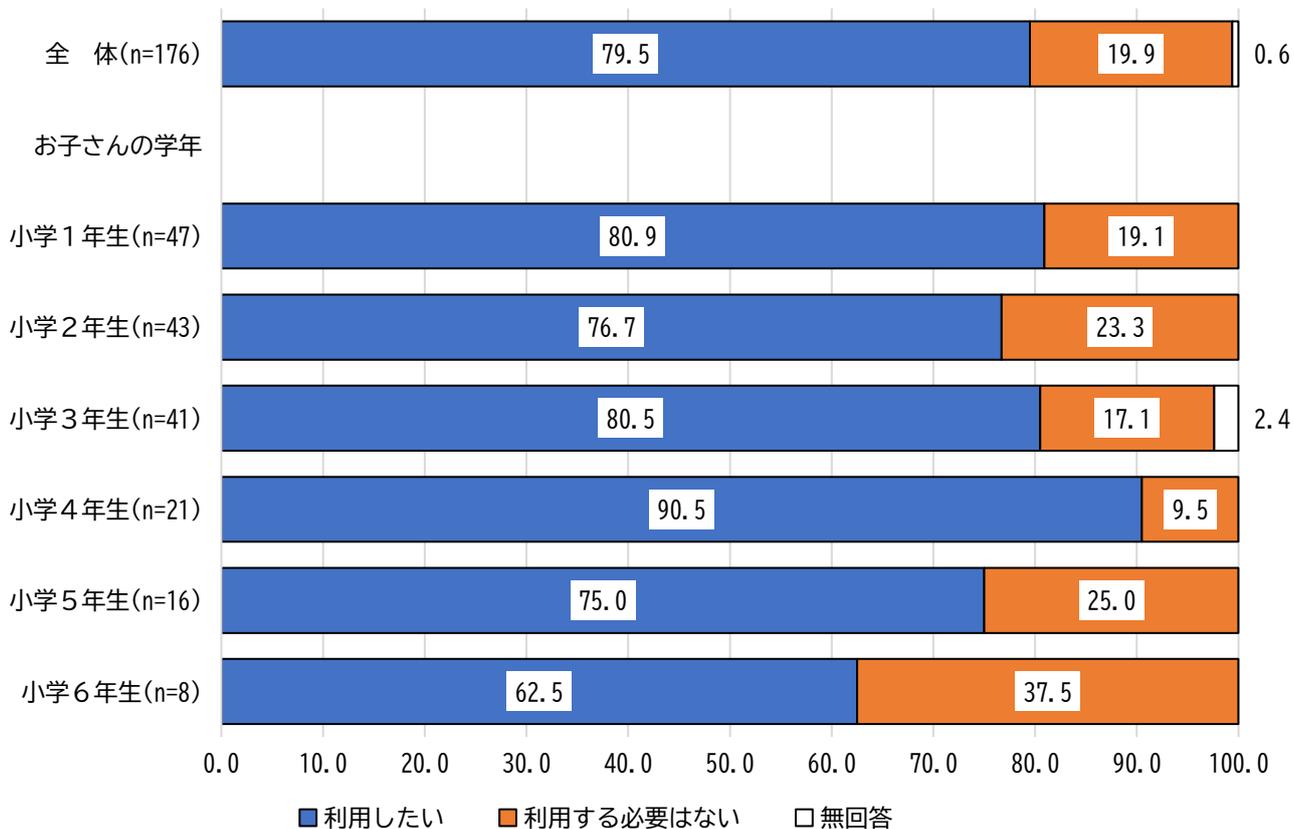
お子さんの学年でみると、「小学6年生」では、「利用したい」が37.5%となっています。



### (3) 夏休みや冬休み

夏休みや冬休みの利用意向としては、「利用したい」が79.5%、「利用する必要はない」が19.9%となっています。

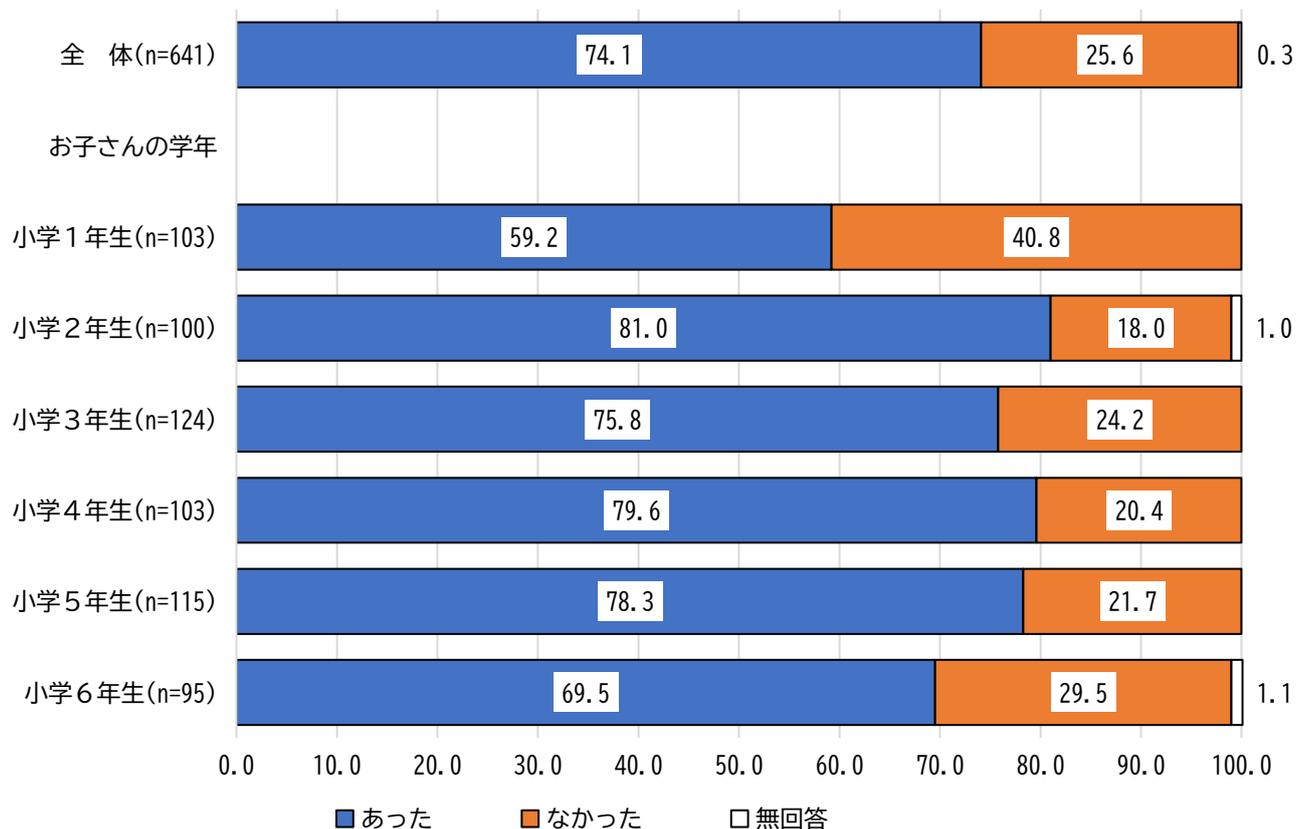
お子さんの学年で見ると、「小学4年生」では、「利用したい」が90.5%となっています。



## 5. お子さんの病気の際の対応について

問 13 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

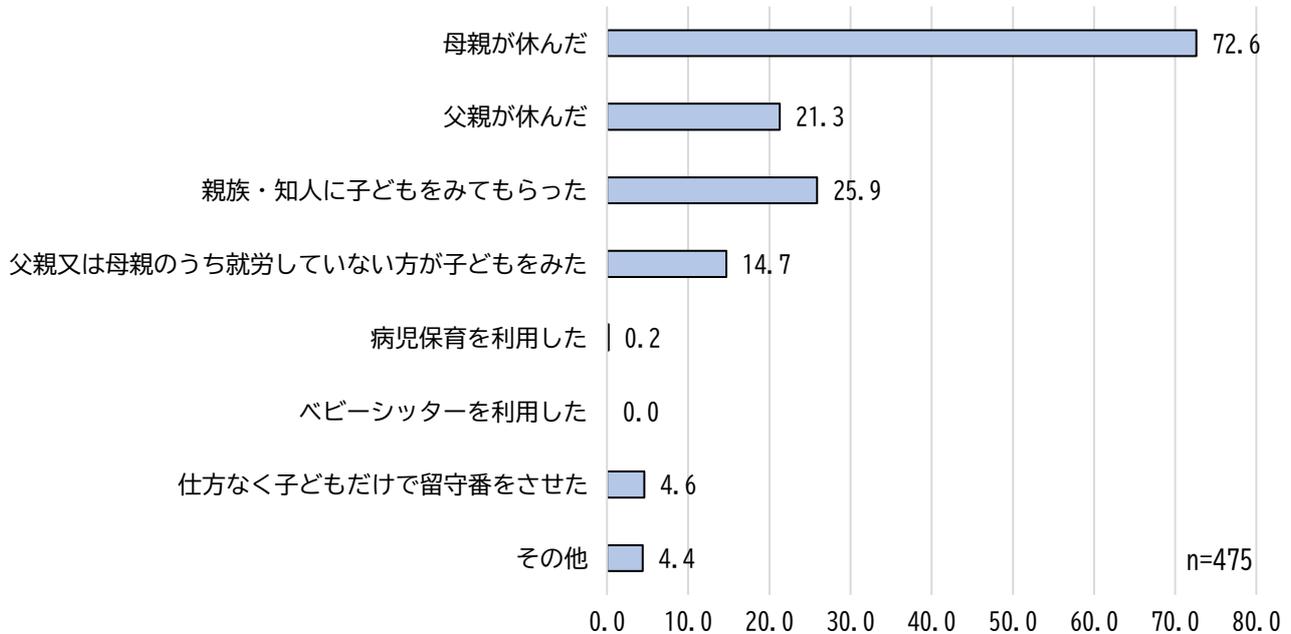
お子さんが病気やケガで学校を休んだことがあったかについて、「あった」が74.1%、「なかった」が25.6%となっています。



問 13-1 お子さんが病気やけがで学校を休んだ際に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

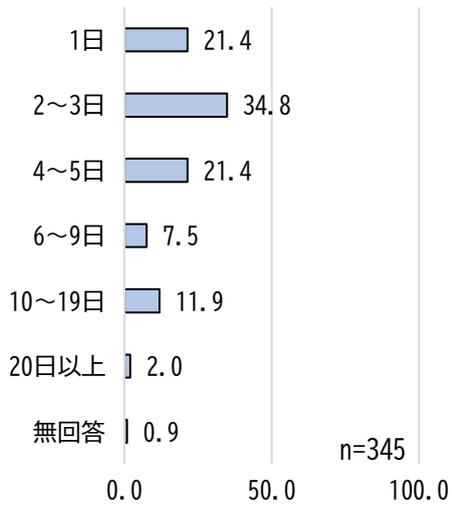
お子さんが病気やけがで学校を休んだ際に行った対処方法は、「母親が休んだ」が72.6%で最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が25.9%、「父親が休んだ」が21.3%となっています。

対処方法を行った日数は、すべての対処方法で「2～3日」が最も高くなっています。

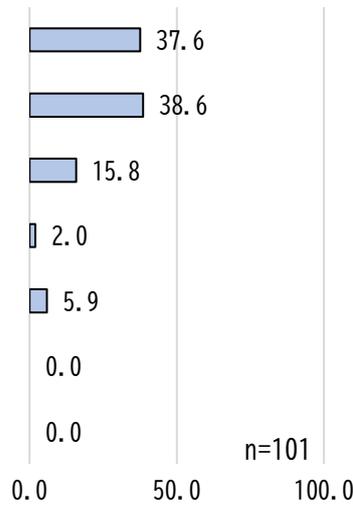


・対処方法を行った日数

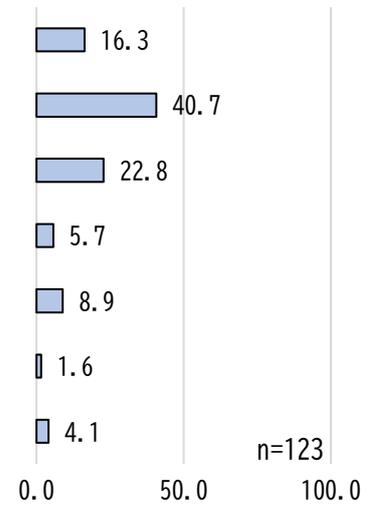
母親が休んだ



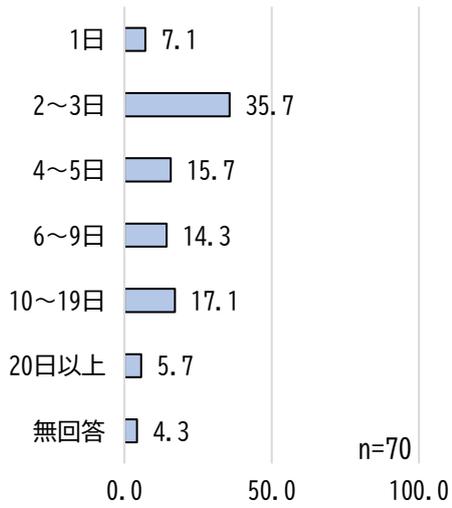
父親が休んだ



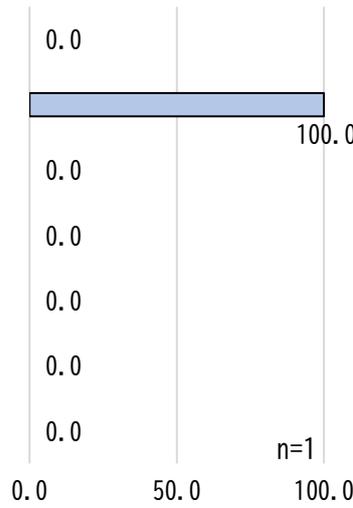
親族・知人に  
子どもをみてもらった



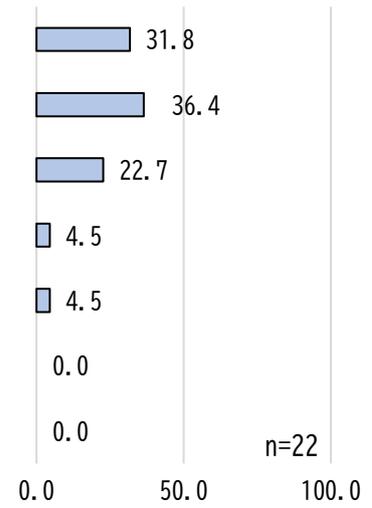
父親又は母親のうち  
就労していない方が子どもをみた



病児保育を利用した



仕方なく子どもだけで留守番をさせた



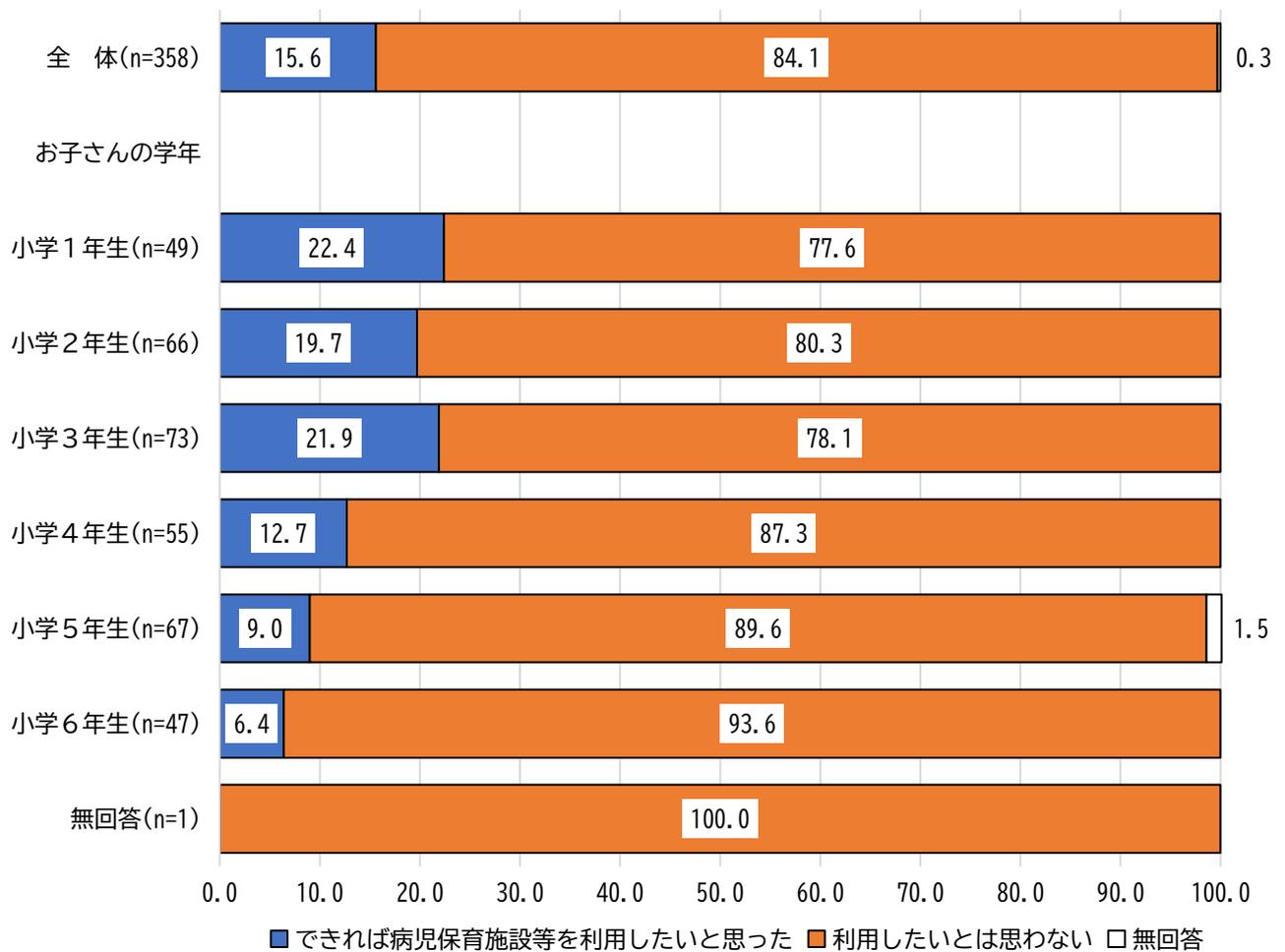
その他



問 13-1 で「1. 母親が休んだ」「2. 父親が休んだ」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。  
 問 13-2 その際、「できれば病児のための保育施設等に預けたい」と思いましたか。  
 当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についてもご記入ください。

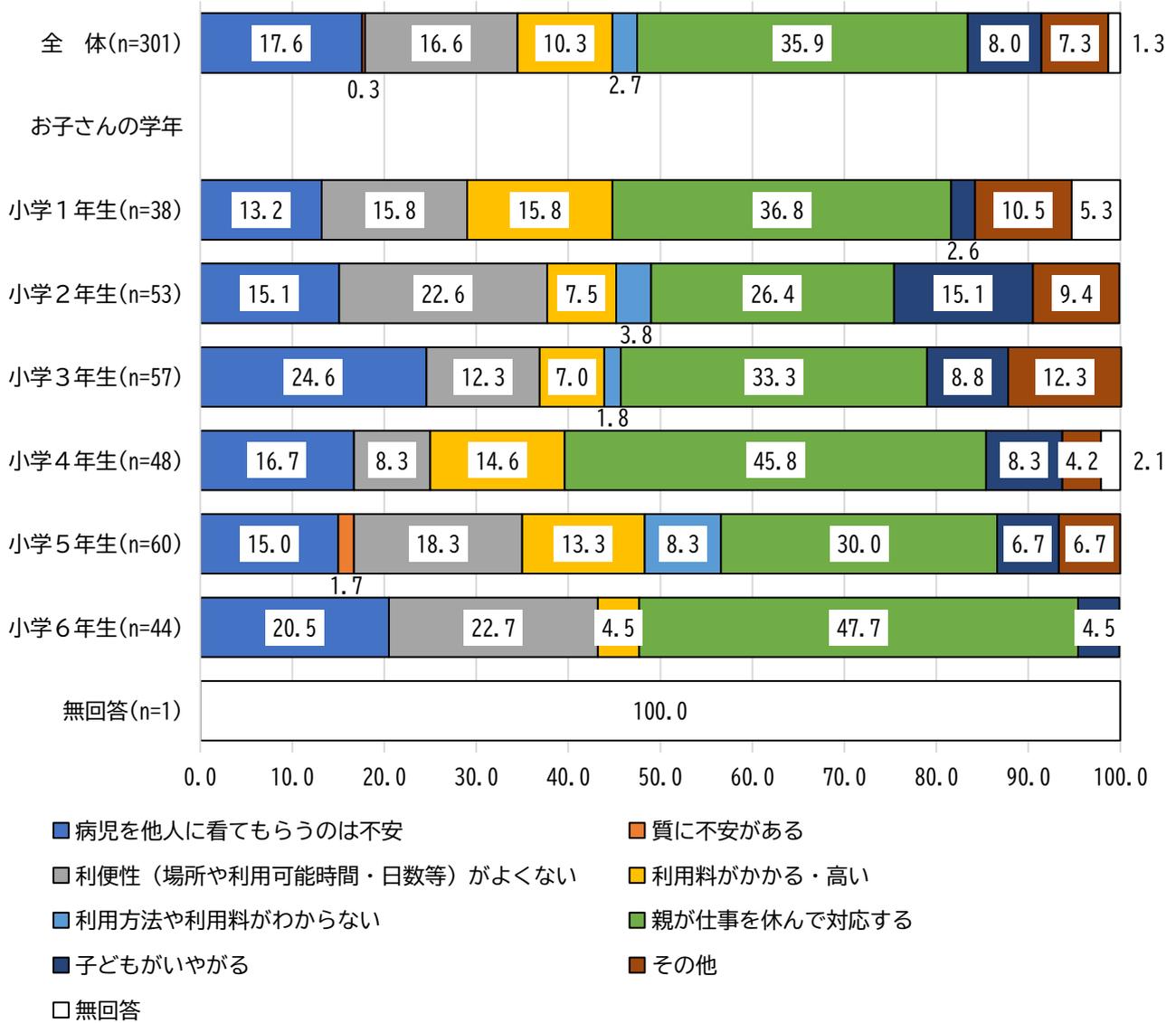
「できれば病児のための保育施設等に預けたい」と思ったかについては、「できれば病児保育施設等を利用したいと思った」は 15.6%、「利用したいとは思わない」が 84.1%となっています。

お子さんの学年別でみると、「小学 1 年生」が 22.4%で最も高く、次いで「小学 3 年生」が 21.9%、「小学 2 年生」が 19.7%で続いています。



問 13-3 そう思われる理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用したいとは思わない」は「親が仕事を休んで対応する」が35.9%で最も高く、次いで「病児を他人に看てもらうのは不安」が17.6%、「利便性（場所や利用可能時間・日数等）がよくない」が16.6%で続いています。



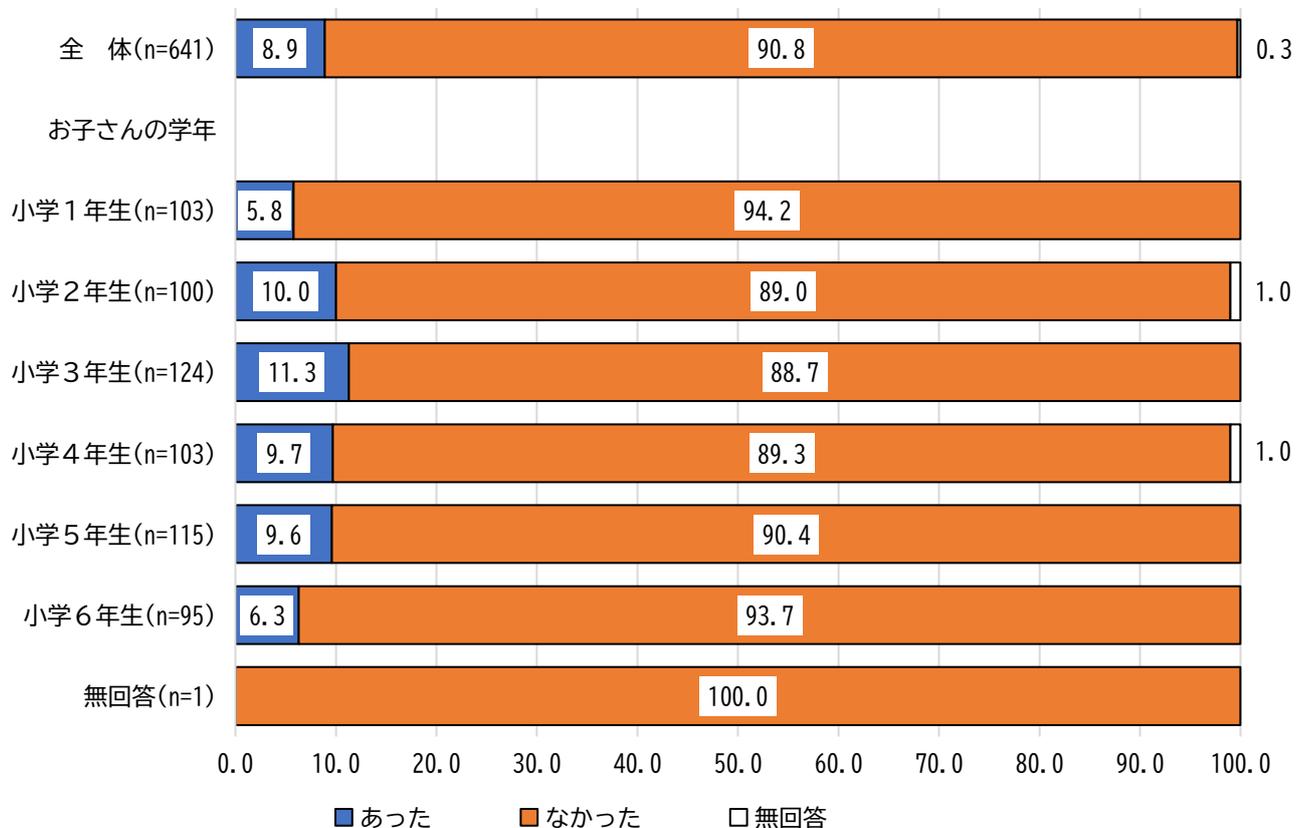
## 6. 宿泊を伴う一時預かりについて

問 14 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外に預けようと思ったことはありませんでしたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数を（ ）内に記入してください。

### (1) 預けようと思ったことがあったか

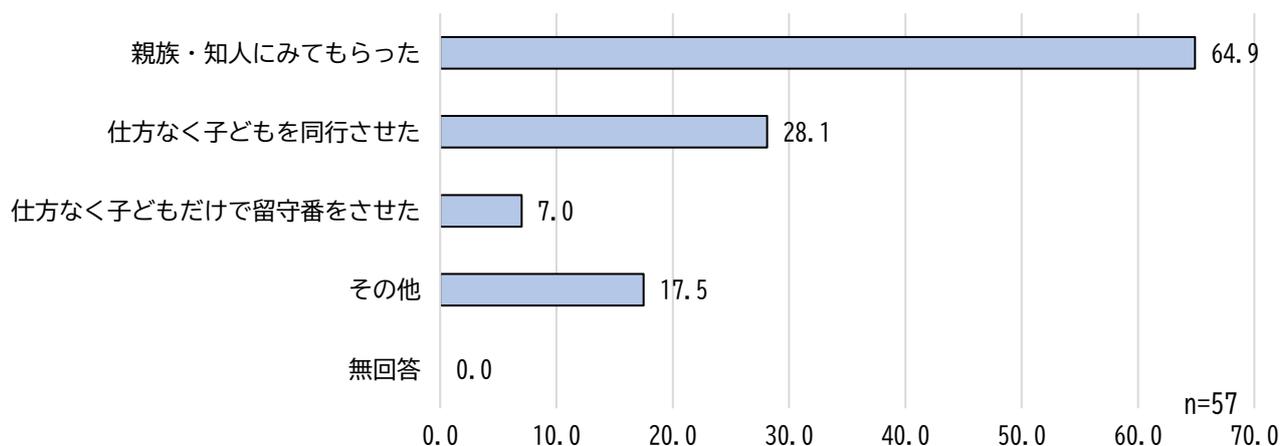
お子さんを泊りがけで家族以外に預けようと思ったことがあったかについて、「あった」が8.9%、「なかった」が90.8%となっています。

お子さんの学年別でみると、すべての学年で「なかった」が9割近くとなっており、「小学1年生」が94.2%で最も高くなっています。

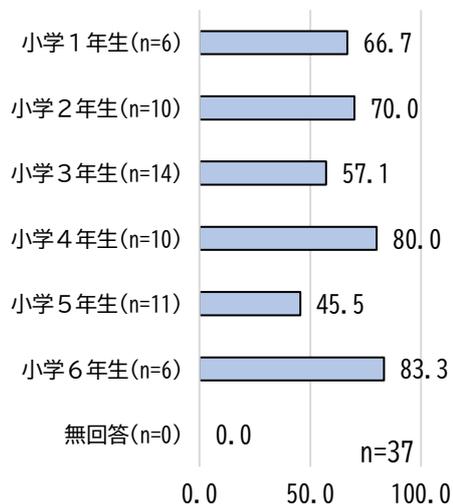


## (2) 対処方法

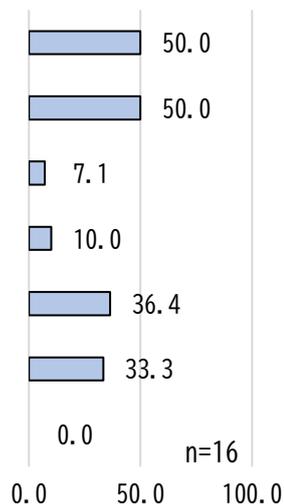
対処方法としては、「親族・知人にみてもらった」が64.9%で最も高くなっています。



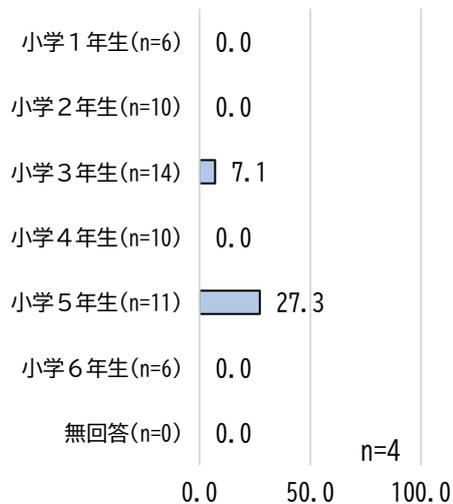
### 親族・知人にみてもらった



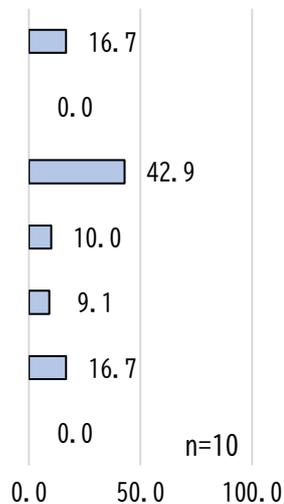
### 仕方なく子どもを同行させた



### 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



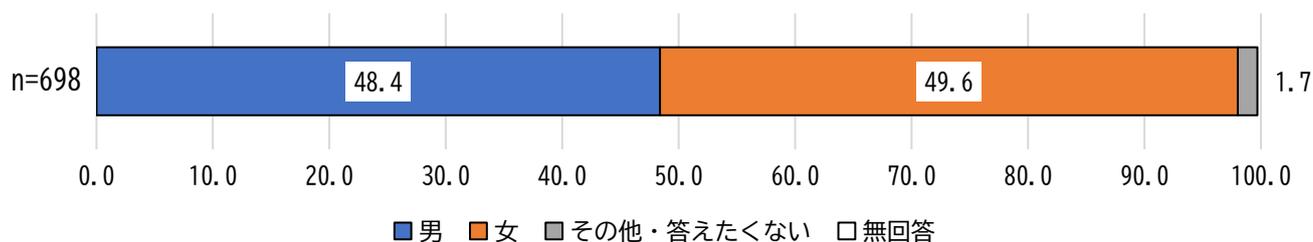
### その他



## IV 調査結果 中学生生徒

問2 あなたの性別を教えてください。

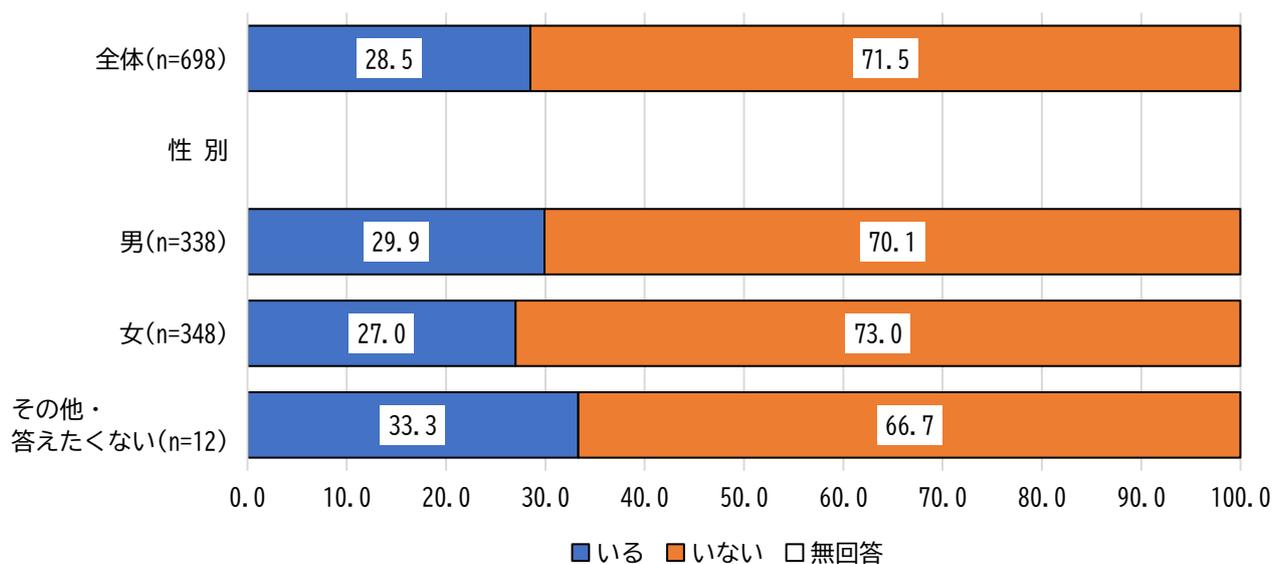
回答者の性別は、「男」が48.4%、「女」が49.6%、「その他・答えたくない」が1.7%となっています。



問3 家族の中にあなたが、いつも助けたり、お世話をしたりする人がいますか。

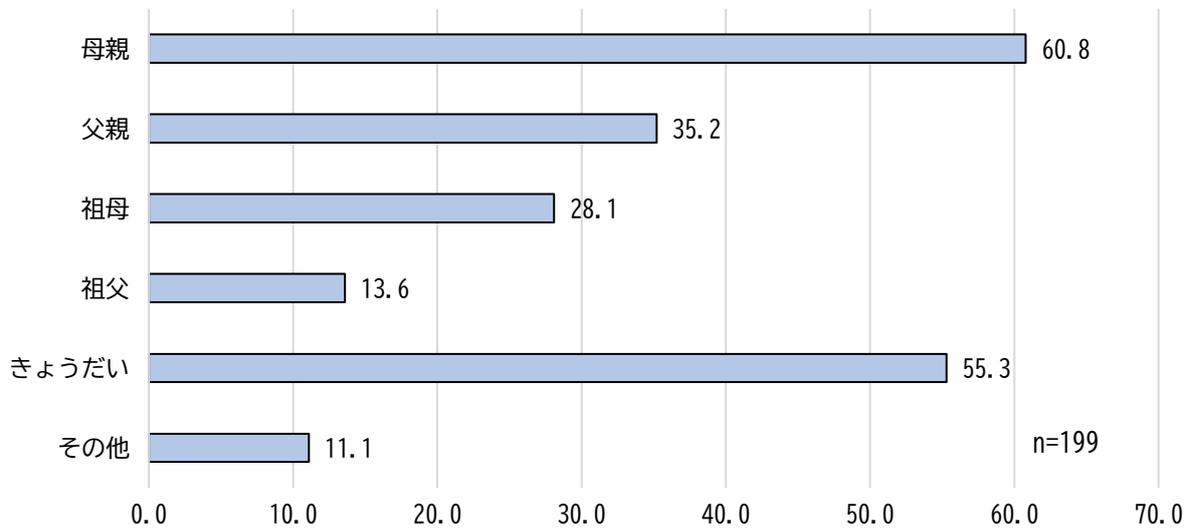
家族の中にあなたが、いつも助けたり、お世話をしたりする人がいるかについて、「いる」が28.5%、「いない」が71.5%となっています。

性別でみると、男子生徒が女子生徒よりも「いる」が2.9ポイント高くなっています。



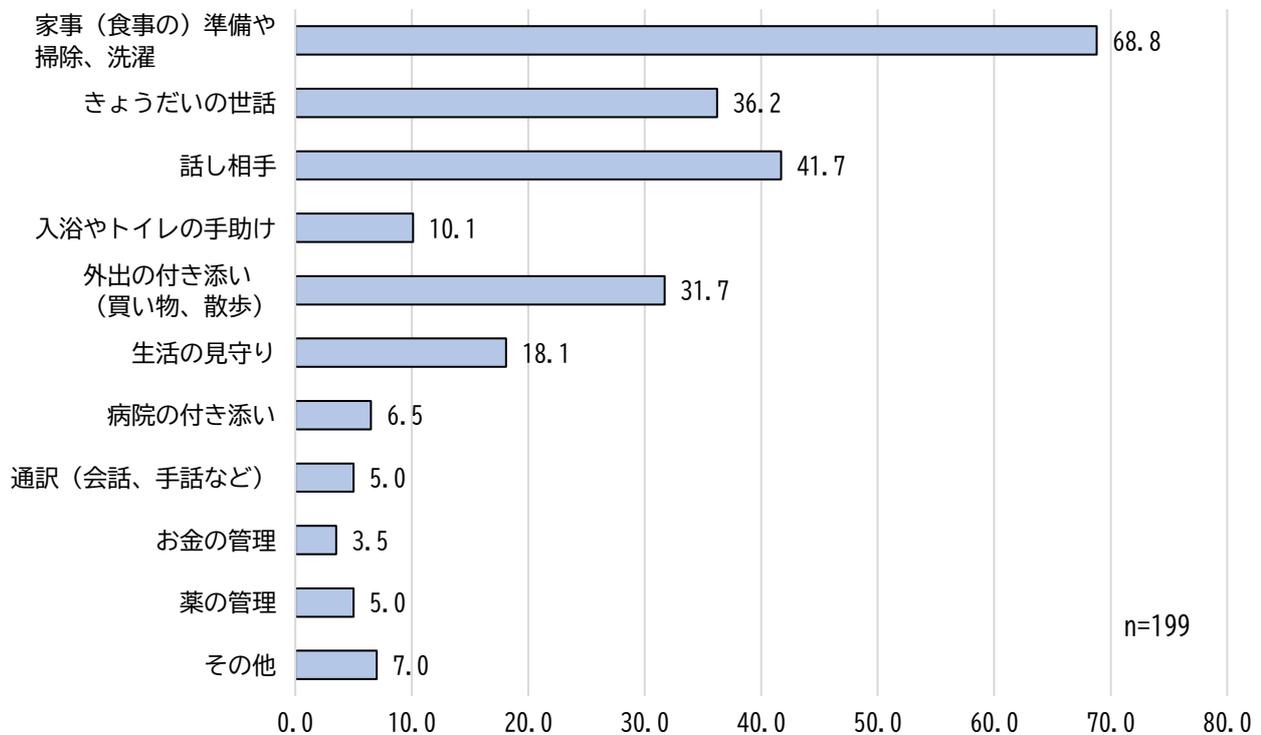
問4 あなたが、いつも助けたり、お世話をしたりする人を選んでください。

いつも助けたり、お世話をしている人は、「母親」が 60.8%で最も高く、次いで「きょうだい」が 55.3%、「父親」が 35.2%で続いています。



問5 あなたが、行っているお世話の（助けている）内容を教えてください。

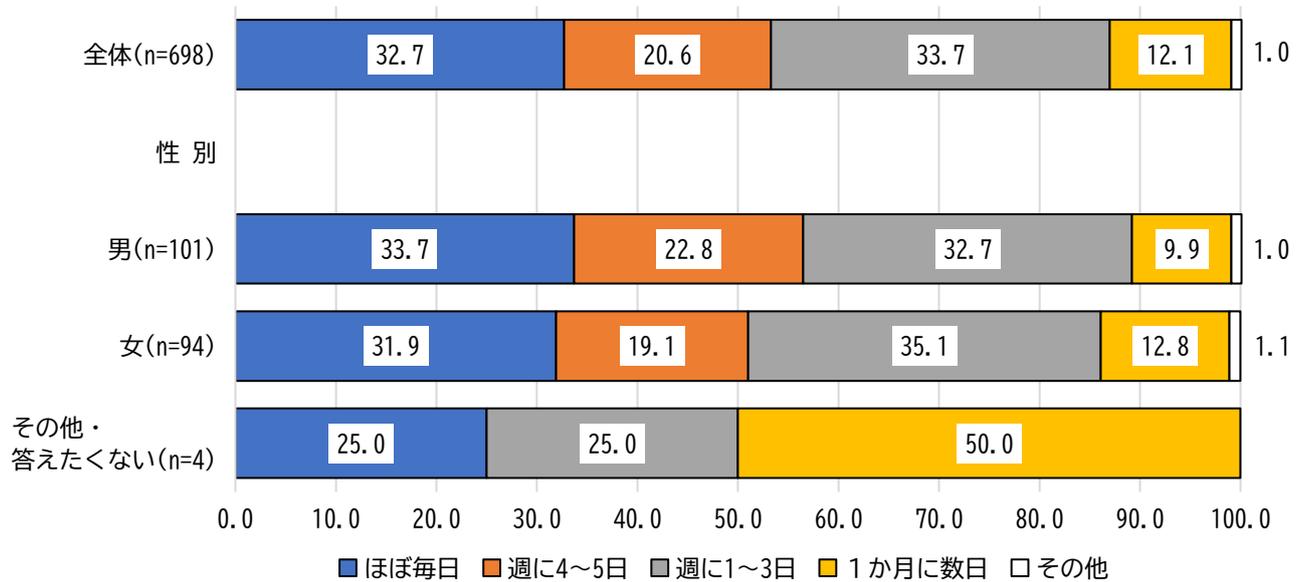
行っている（助けている）お世話の内容は、「家事（食事の）準備や掃除、洗濯」が 68.8%で最も高く、次いで「話し相手」が 41.7%、「きょうだいの世話」が 36.2%で続いています。



問6 あなたが助けたり、お世話をしている頻度を教えてください。

助けたり、お世話をしている頻度は、「週に 1～3 日」が 33.7%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が 32.7%、「週に 4～5 日」が 20.6%が続いています。

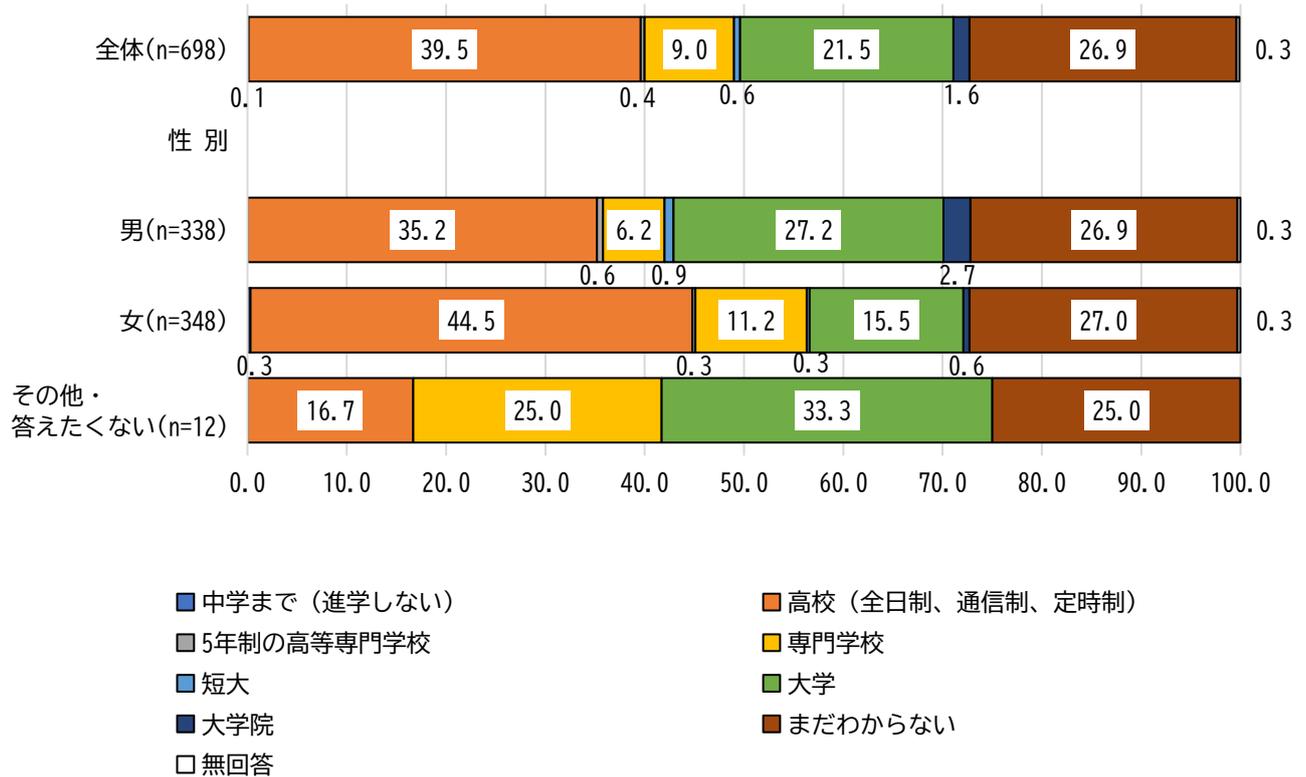
性別でみると、「ほぼ毎日」の回答は、男子生徒の方が女子生徒よりも 1.8 ポイント高くなっています。



問7 あなたは将来、どの学校に進学したいですか。

将来、どの学校に進学したいかについて、「高校（全日制、通信制、定時制）」が 39.5%で最も高く、次いで「大学」が 21.5%、「専門学校」が 9.0%が続いています。一方で、将来の進学先が「まだわからない」は 26.9%となっています。

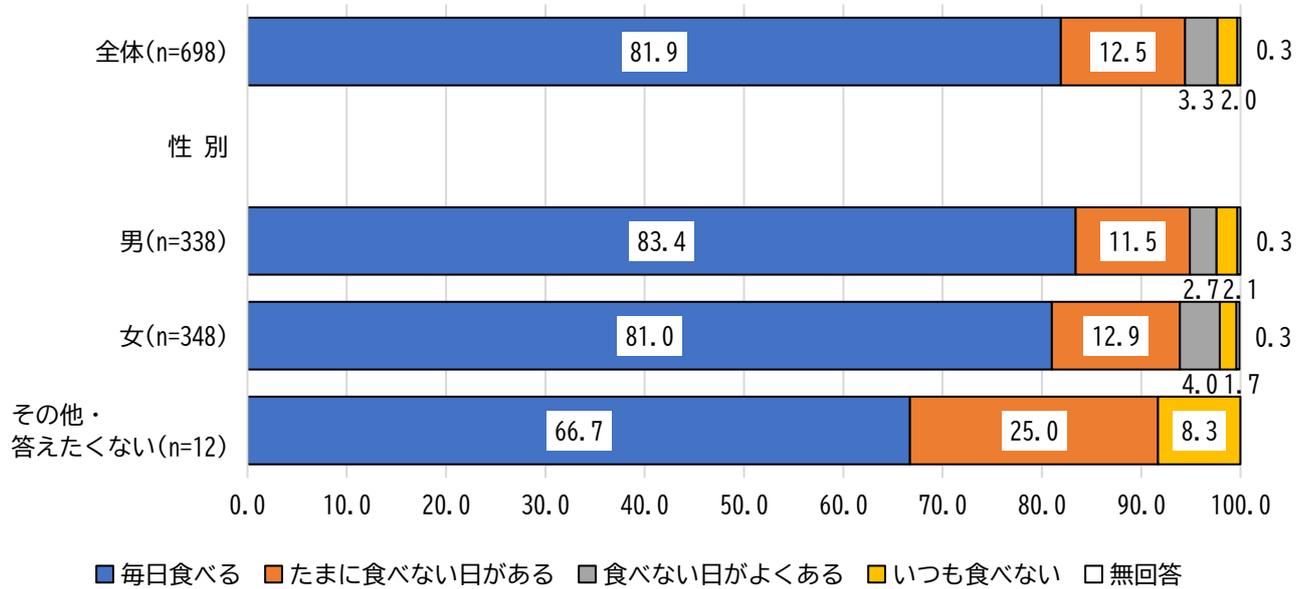
性別で見ると、「高校（全日制、通信制、定時制）」の割合は女子生徒の方が男子生徒よりも 9.3 ポイント高くなっています。また、「大学」の割合は男子生徒の方が女子生徒よりも 11.7 ポイント高くなっています。



問8 あなたは、学校に行く日は、毎日、朝ごはんを食べますか。

学校に行く日は、毎日、朝ごはんを食べるかについては、「毎日食べる」が 81.9%で最も高くなっています。

性別でみると、「毎日食べる」割合は男子生徒の方が女子生徒よりも 2.4 ポイント高くなっています。

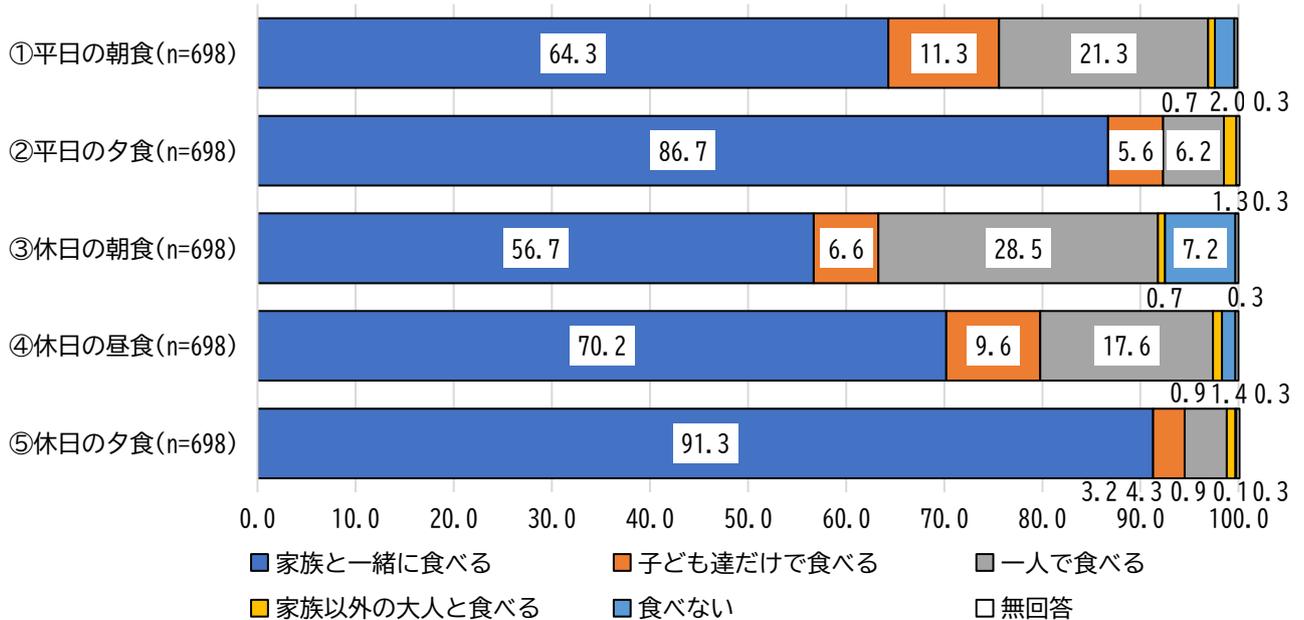


問9 あなたは、ふだん食事をだれといっしょに食べていますか。

ふだん食事をだれといっしょに食べているかについては、各食事のタイミングすべてで「家族と一緒に食べる」が最も高くなっています。

回答結果を比較すると、「家族と一緒に食べる」が最も高くなったのは、「休日の夕食」で 91.3%でした。一方で、最も低くなったのは、「休日の朝食」で 56.7%となっています。

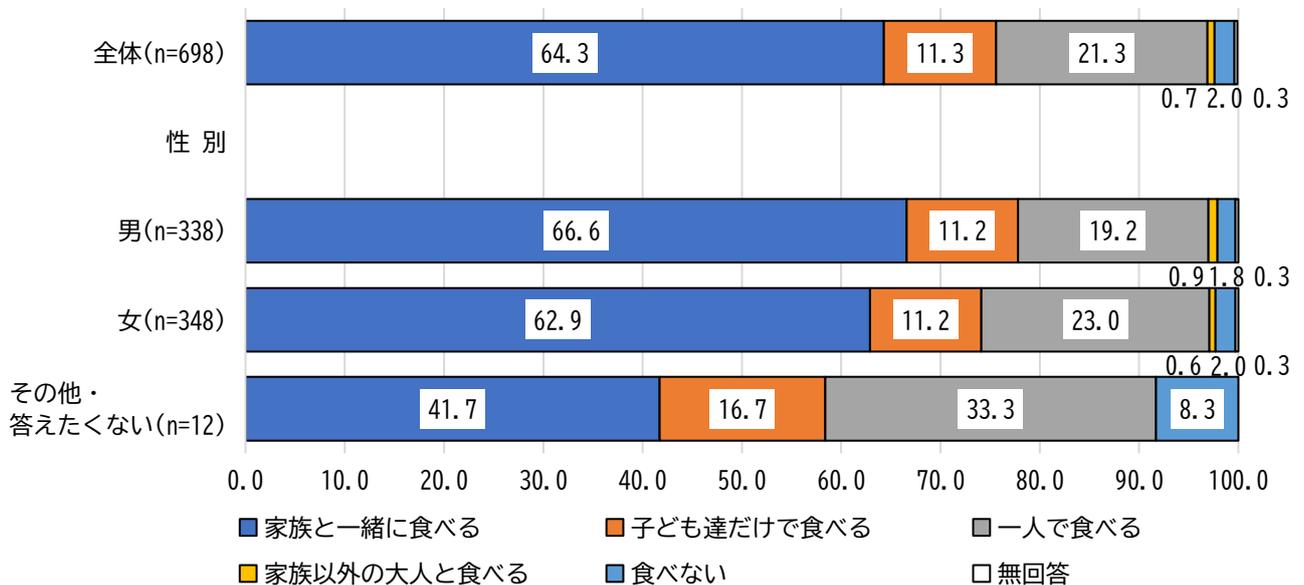
夕食については「家族と一緒に食べる」割合が平日・休日ともに8割以上となっています。一方で、朝食・昼食については「一人で食べる」割合が夕食よりも高くなっています。



① 平日の朝食

平日の朝食は、「家族と一緒に食べる」が 64.3%となっています。

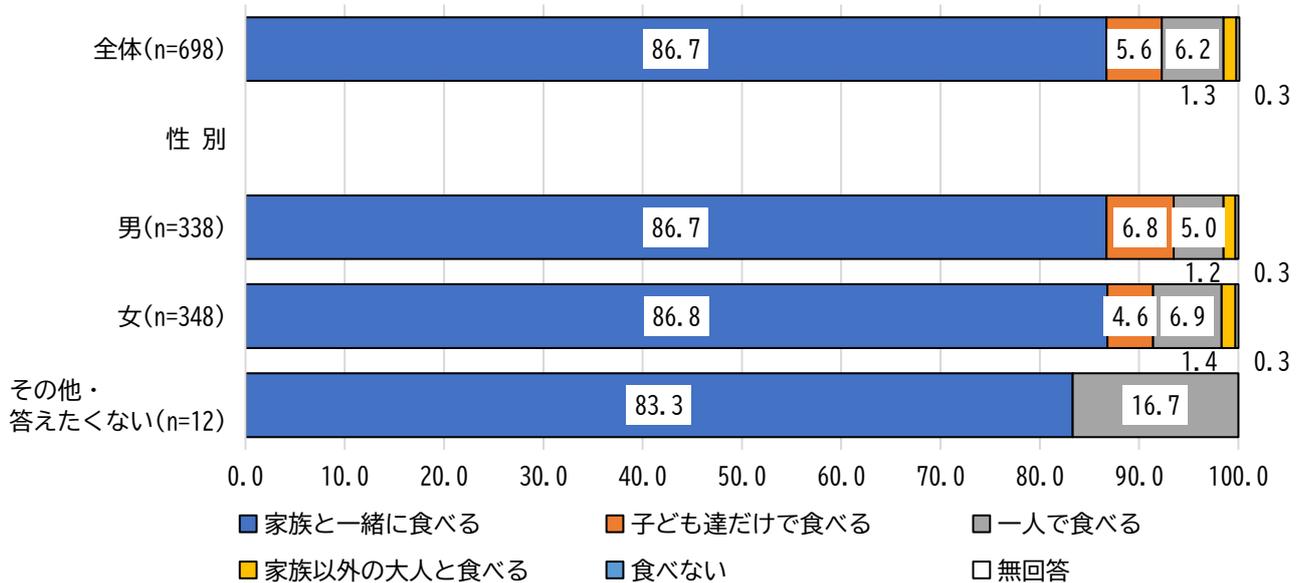
性別でみると、女子生徒の方が男子生徒よりも「一人で食べる」割合が 3.8 ポイント高くなっています。



## ② 平日の夕食

平日の夕食は「家族と一緒に食べる」が86.7%となっています。

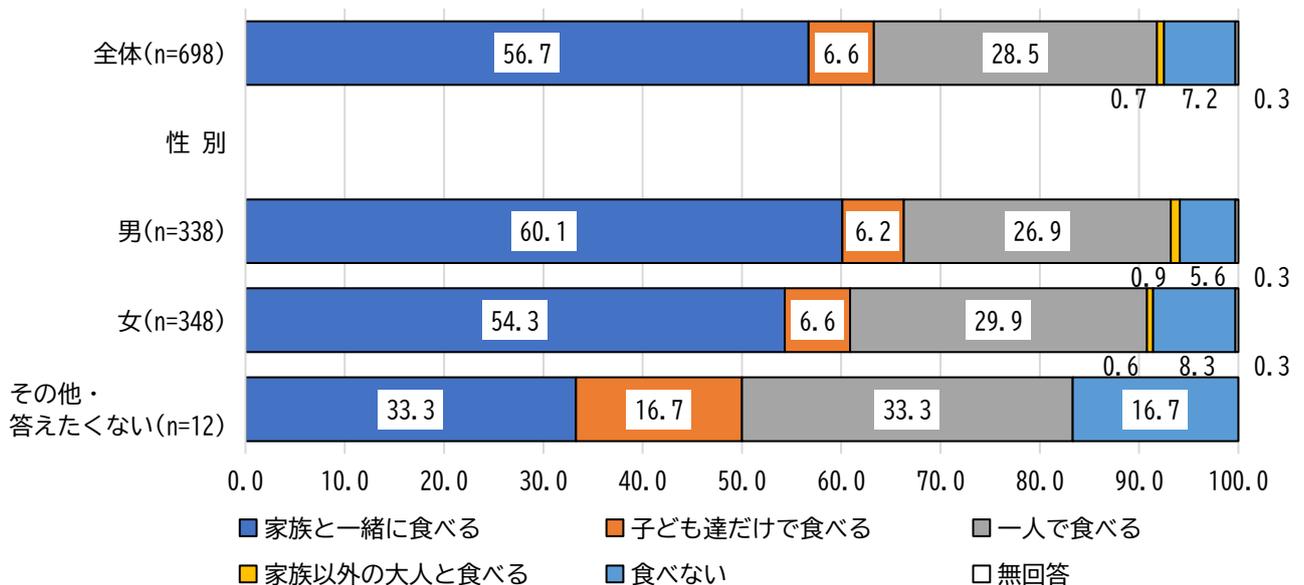
性別による差は特にありませんでした。



## ③ 休日の朝食

休日の朝食は「家族と一緒に食べる」が56.7%となっています。

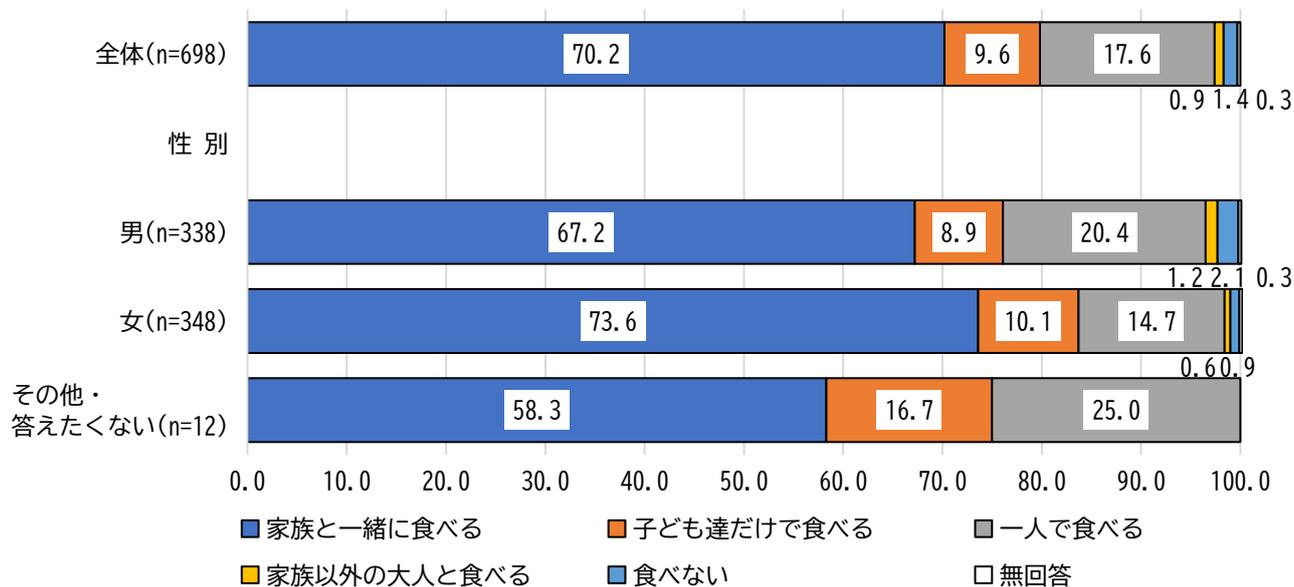
性別で見ると、男子生徒の方が女子生徒よりも「家族と一緒に食べる」割合が5.8ポイント高くなっています。



#### ④ 休日の昼食

休日の昼食は「家族と一緒に食べる」が70.2%となっています。

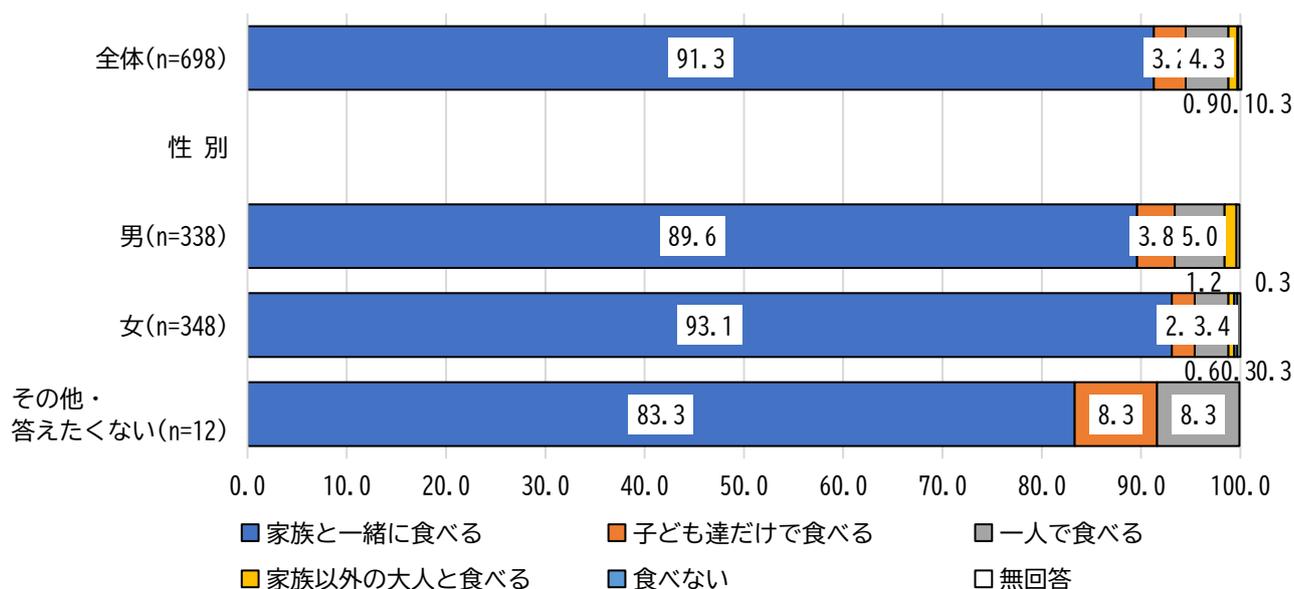
性別でみると、女子生徒の方が男子生徒よりも「家族と一緒に食べる」割合が6.4ポイント高くなっています。



#### ⑤ 休日の夕食

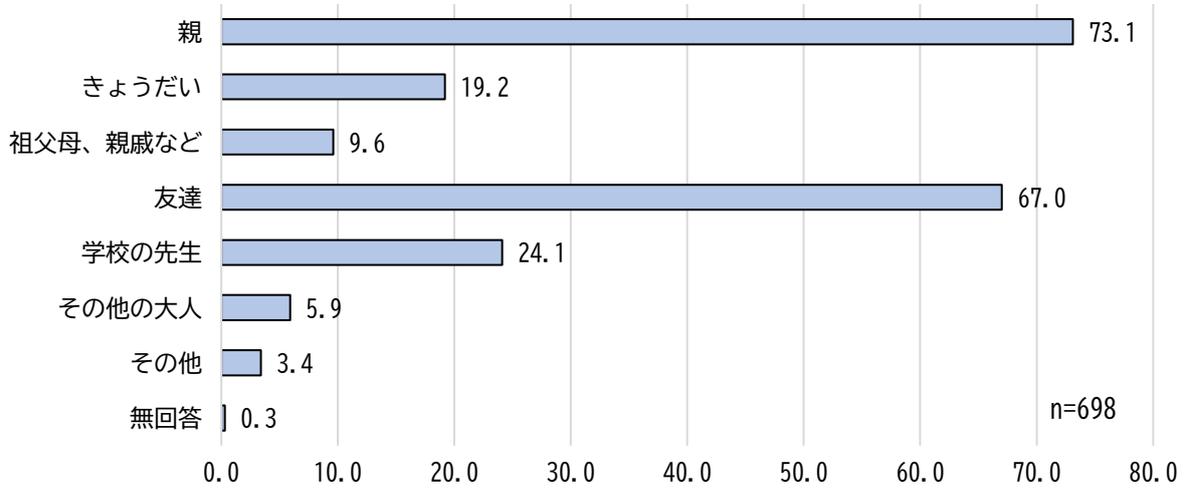
休日の夕食は「家族と一緒に食べる」が91.3%となっています。

性別でみると、女子生徒の方が男子生徒よりも「家族と一緒に食べる」割合が3.5ポイント高くなっています。



問10 あなたは、困ったことがあった場合、だれに相談しますか。

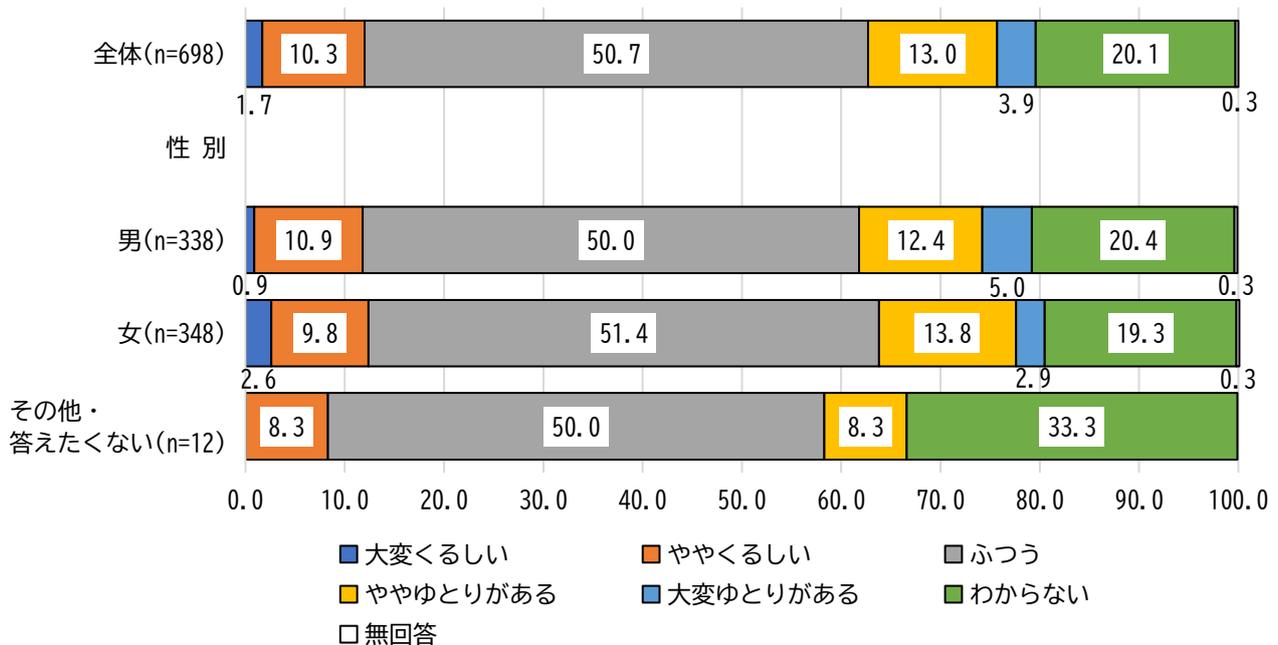
困ったことがあった場合に相談する人は、「親」が73.1%で最も高くなっています。次いで「友達」が67.0%、「学校の先生」が24.1%が続いています。



問11 あなたの家の、暮らしは（お金について）次のどれにあたると思いますか。

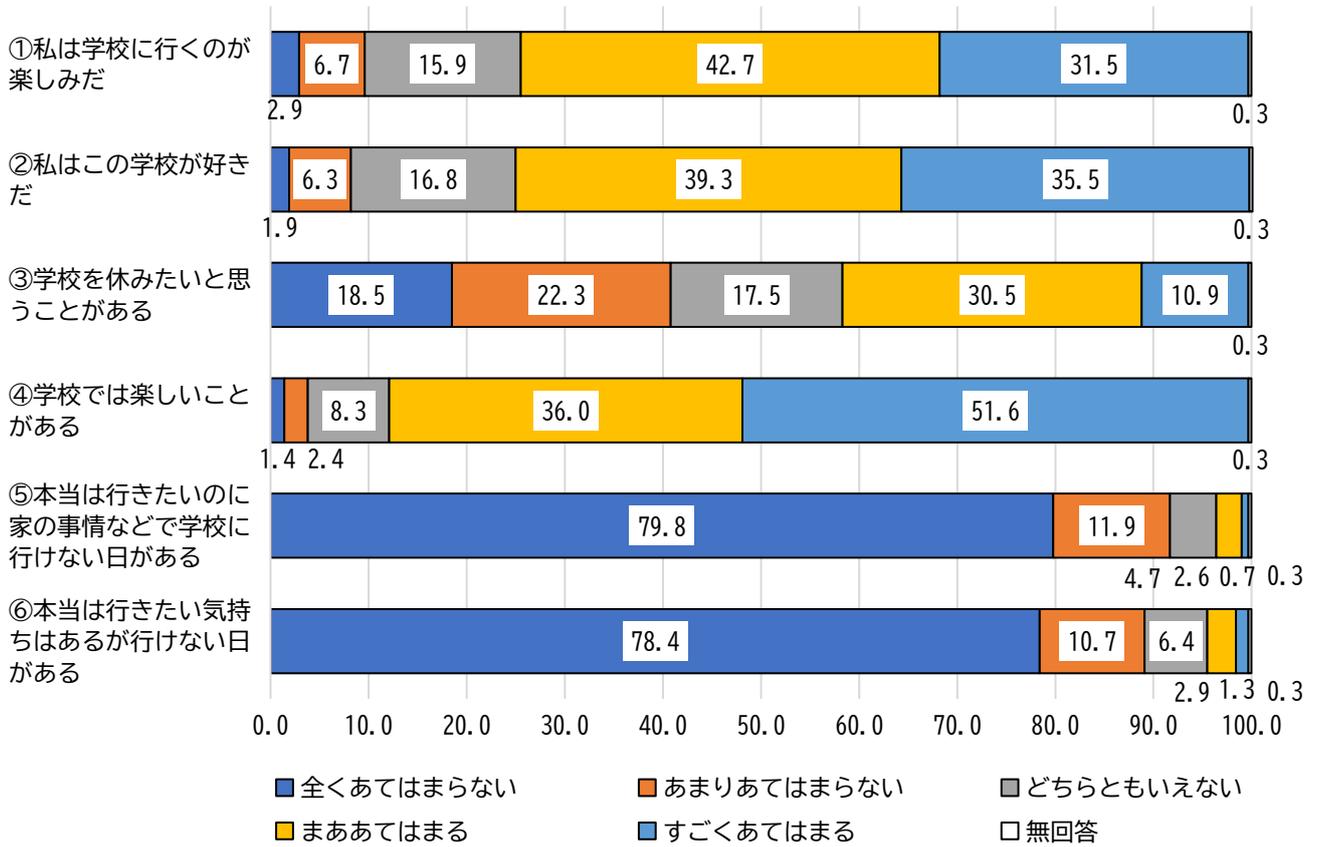
あなたの家の、暮らし（お金について）については、「ふつう」が50.7%で最も高くなっています。また、「大変くるしい」と「ややくるしい」を合わせた『くるしい』は12.0%、「大変ゆとりがある」と『ややゆとりがある』を合わせた『ゆとりがある』は16.9%となっています。

性別による差は特にありませんでした。



問 12 あなたの学校への気持ちをおたずねします。

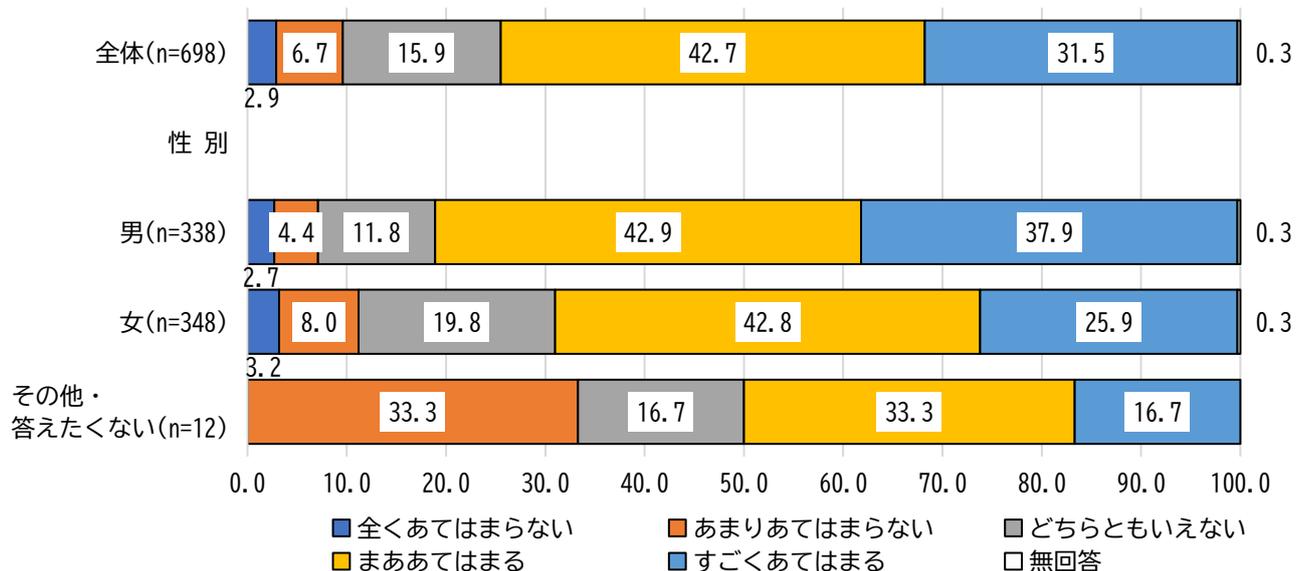
学校の気持ちについて、「すごくあてはまる」と「まああてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も高くなったのは、「学校では楽しいことがある」で 87.6%でした。一方で、「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が最も高くなったのは、「本当は行きたいのに家の事情などで学校に行けない日がある」で 91.7%でした。



① 私は学校に行くのが楽しみだ

「すごくあてはまる」と「まああてはまる」を合せた『あてはまる』は 74.2%となっています。

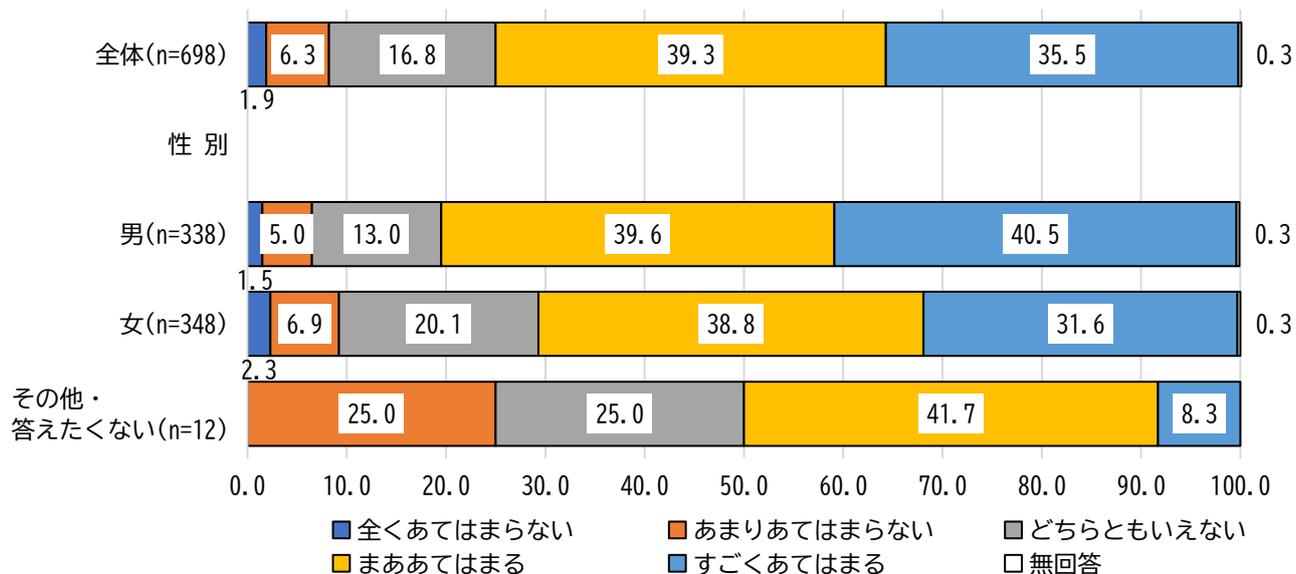
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「すごくあてはまる」の割合が 12.0 ポイント高くなっています。



② 私はこの学校が好きだ

「すごくあてはまる」と「まああてはまる」を合せた『あてはまる』は 74.8%となっています。

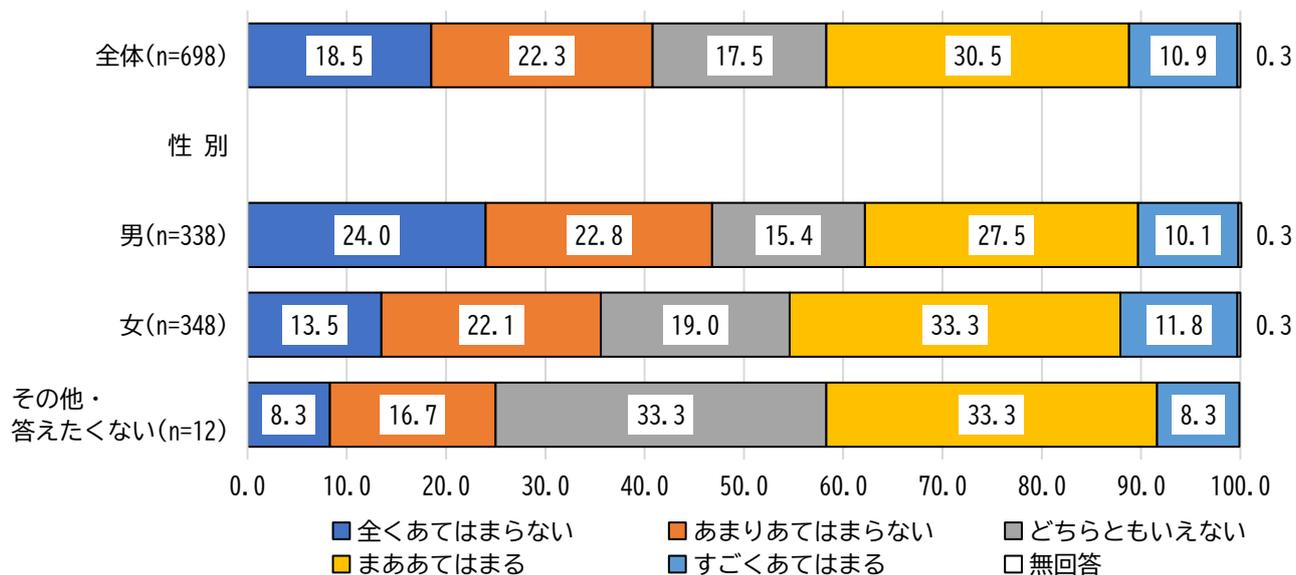
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「すごくあてはまる」の割合が 8.9 ポイント高くなっています。



### ③ 学校を休みたいと思うことがある

「すごくあてはまる」と「まああてはまる」を合せた『あてはまる』は41.4%となっています。

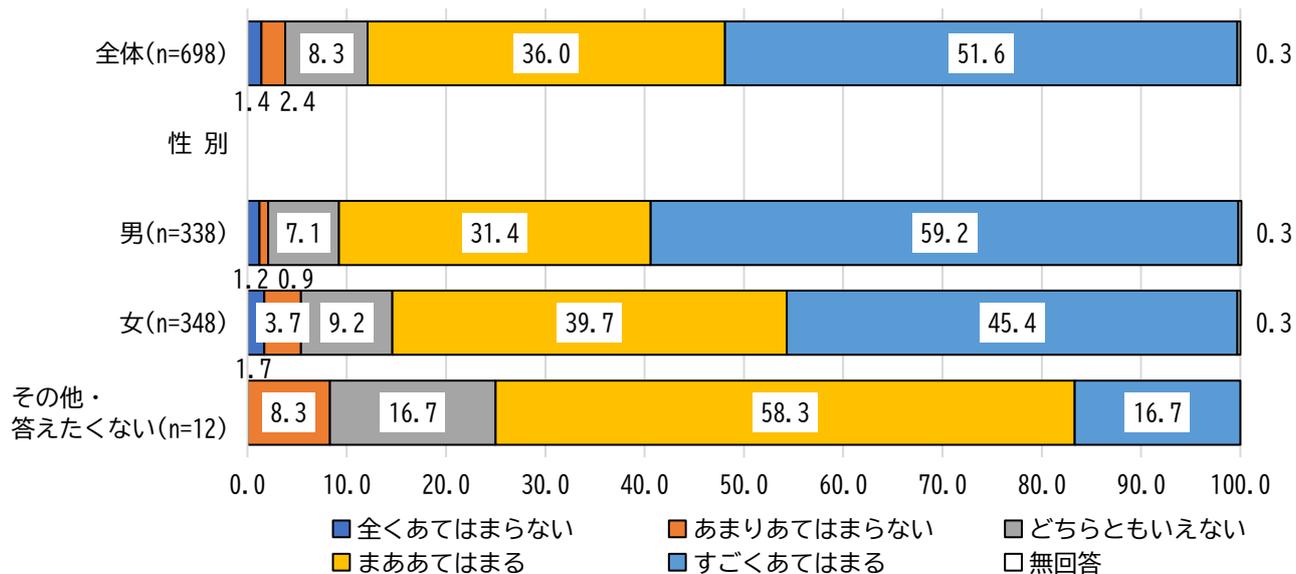
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「全くあてはまらない」の割合が10.5ポイント高くなっています。一方で、女子生徒の方が男子生徒よりも「まああてはまる」の割合が5.8ポイント高くなっています。



### ④ 学校では楽しいことがある

「すごくあてはまる」と「まああてはまる」を合せた『あてはまる』は87.6%となっています。

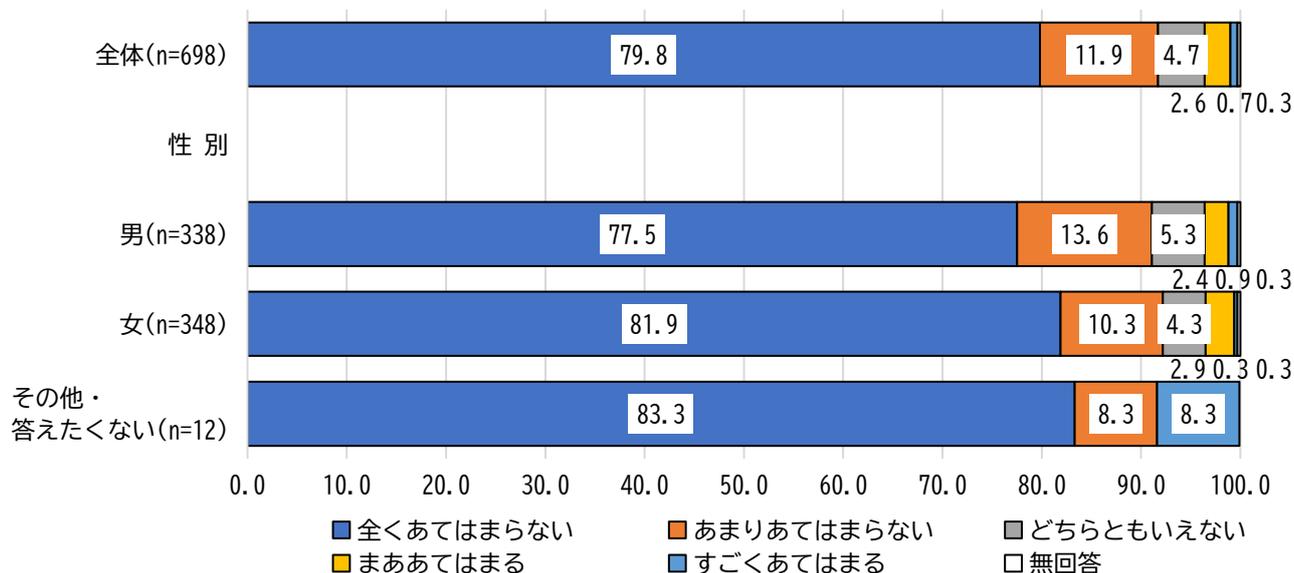
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「すごくあてはまる」の割合が13.8ポイント高くなっています。



⑤ 本当は行きたいのに家の事情などで学校に行けない日がある

「すごくあてはまる」と「まああてはまる」を合せた『あてはまる』は3.3%となっています。

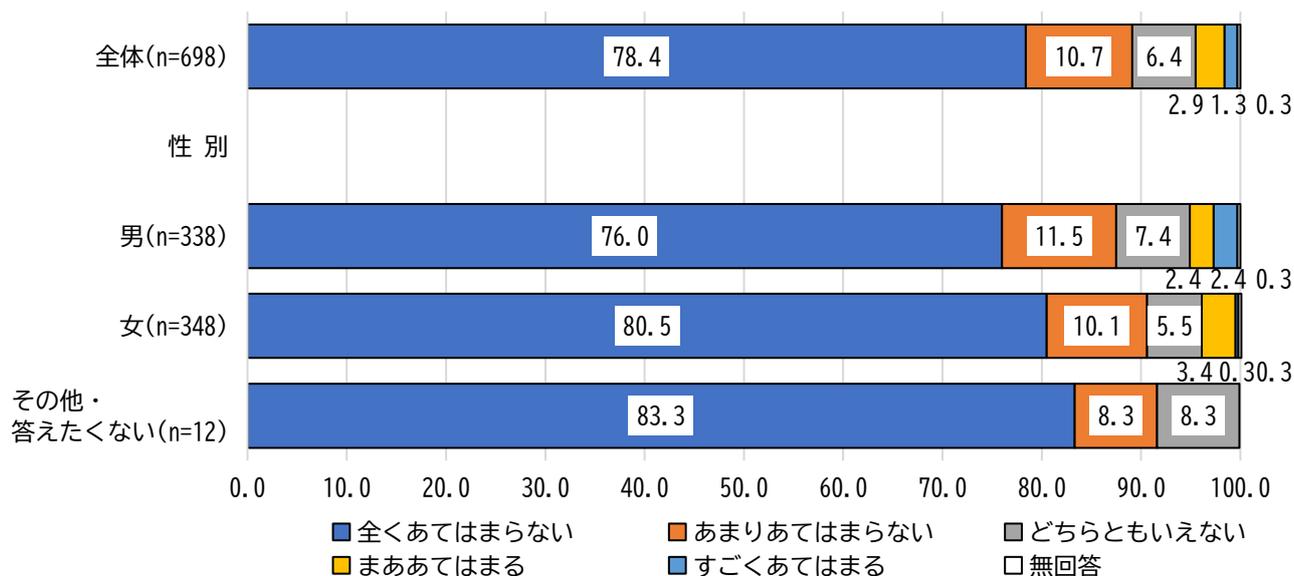
性別でみると、女子生徒の方が男子生徒よりも「全くあてはまらない」の割合が4.4ポイント高くなっています。



⑥ 本当は行きたい気持ちはあるが行けない日がある

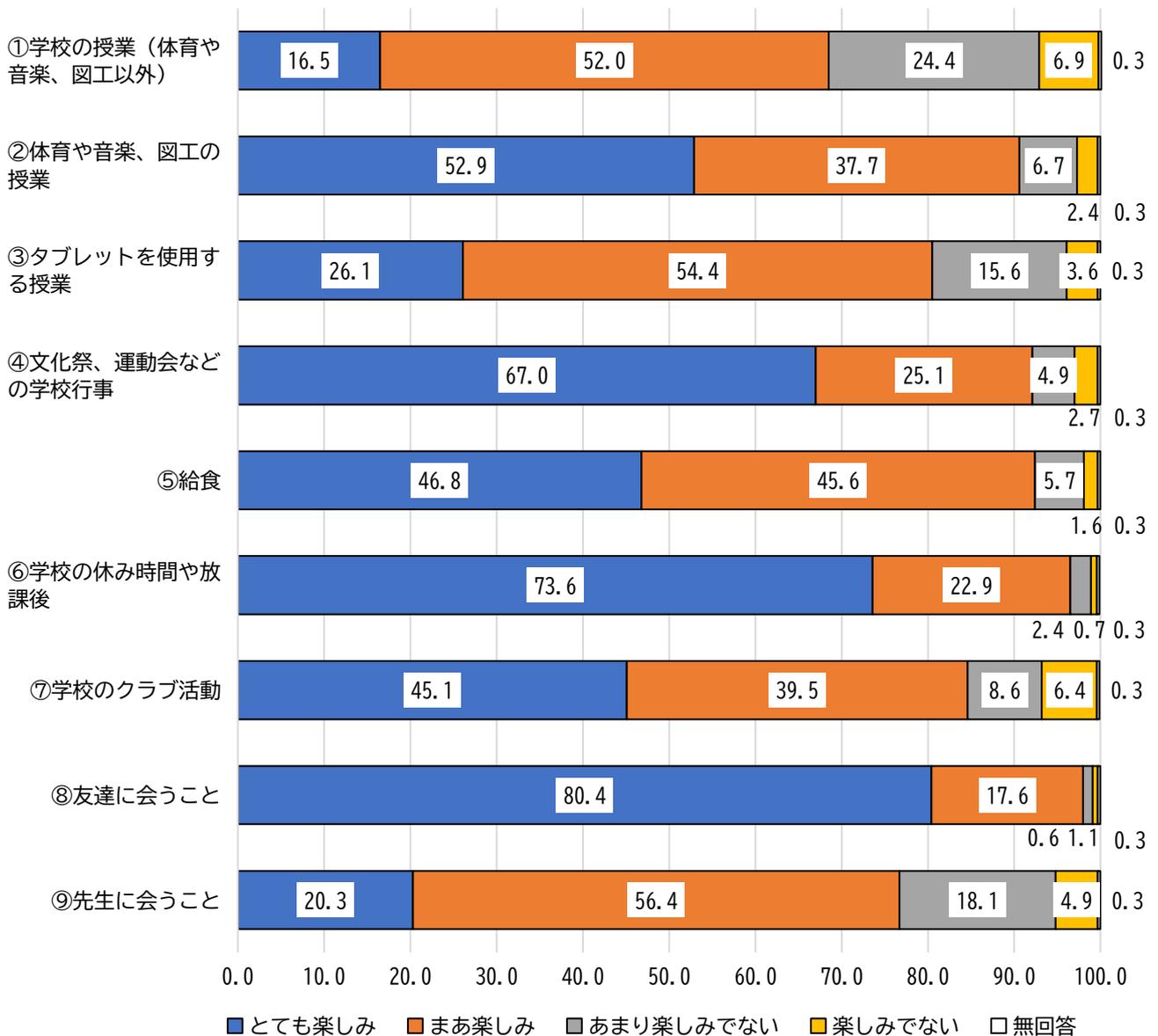
「すごくあてはまる」と「まああてはまる」を合せた『あてはまる』は4.2%となっています。

性別でみると、女子生徒の方が男子生徒よりも「全くあてはまらない」の割合が4.5ポイント高くなっています。



問 13 あなたが、学校生活の中で楽しみにしていることについて教えてください。

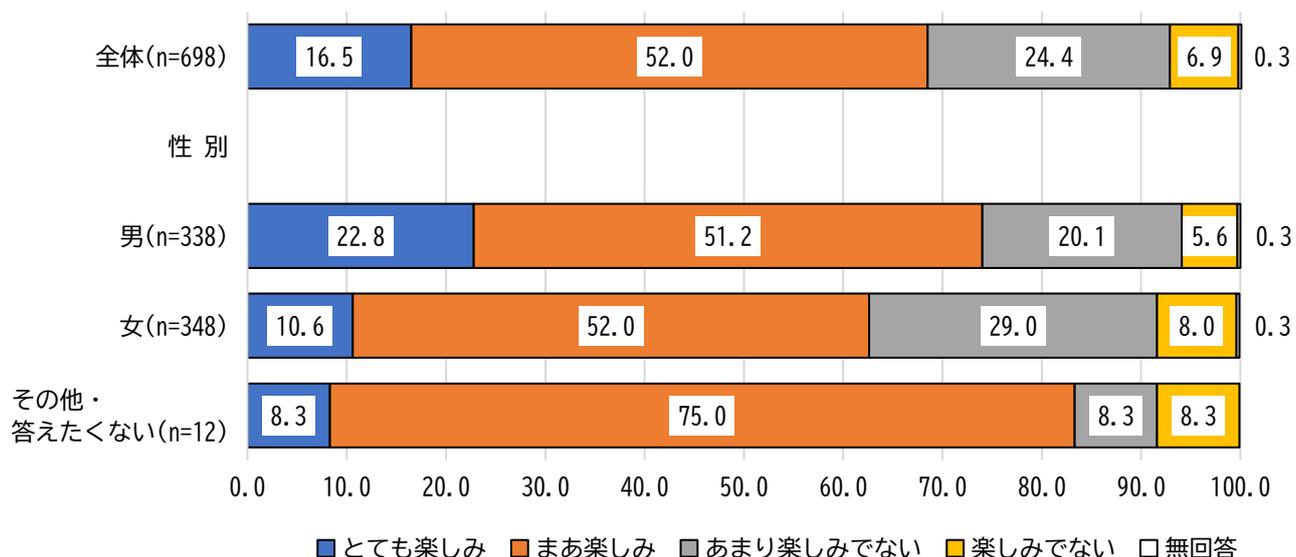
学校生活の中で楽しみにしていることについて、「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』が最も高くなったのは、「友達と会うこと」で 98.0%となっています。一方で、「楽しみでない」と「あまり楽しみでない」を合わせた『楽しみでない』が最も高くなったのは、「学校の授業（体育や音楽、図工以外）」で 31.3%となっています。



① 学校の授業（体育や音楽、図工以外）

「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は68.5%となっています。

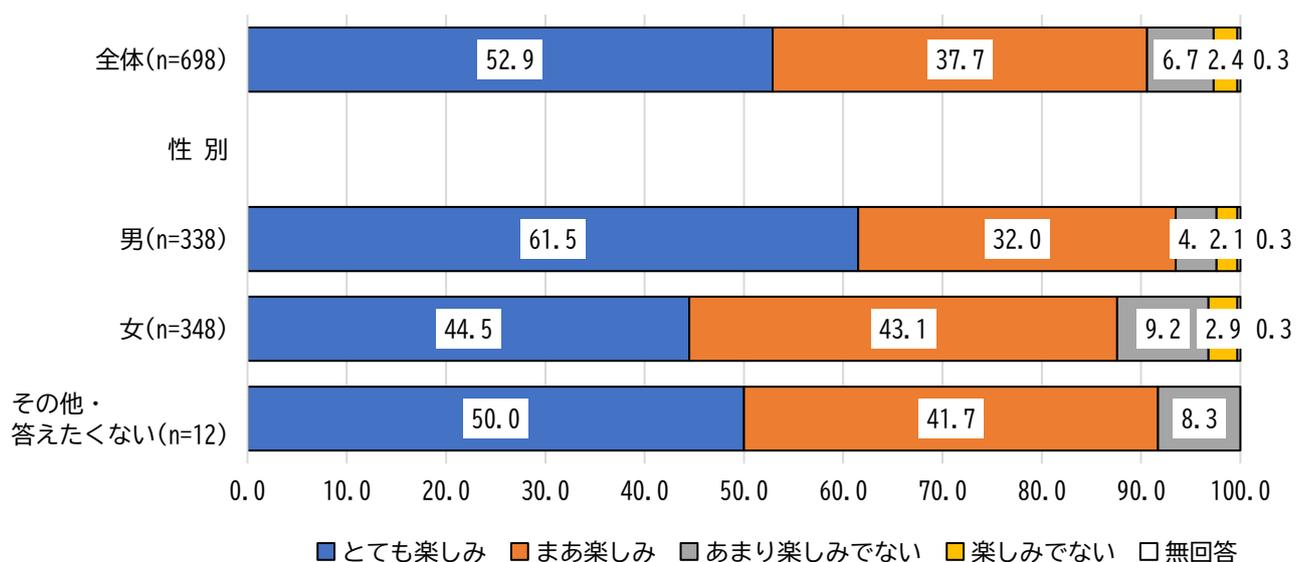
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が12.2ポイント高くなっています。一方で、女子生徒の方が男子生徒よりも「あまり楽しみでない」の割合が8.9ポイント高くなっています。



② 体育や音楽、図工の授業

「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は90.6%となっています。

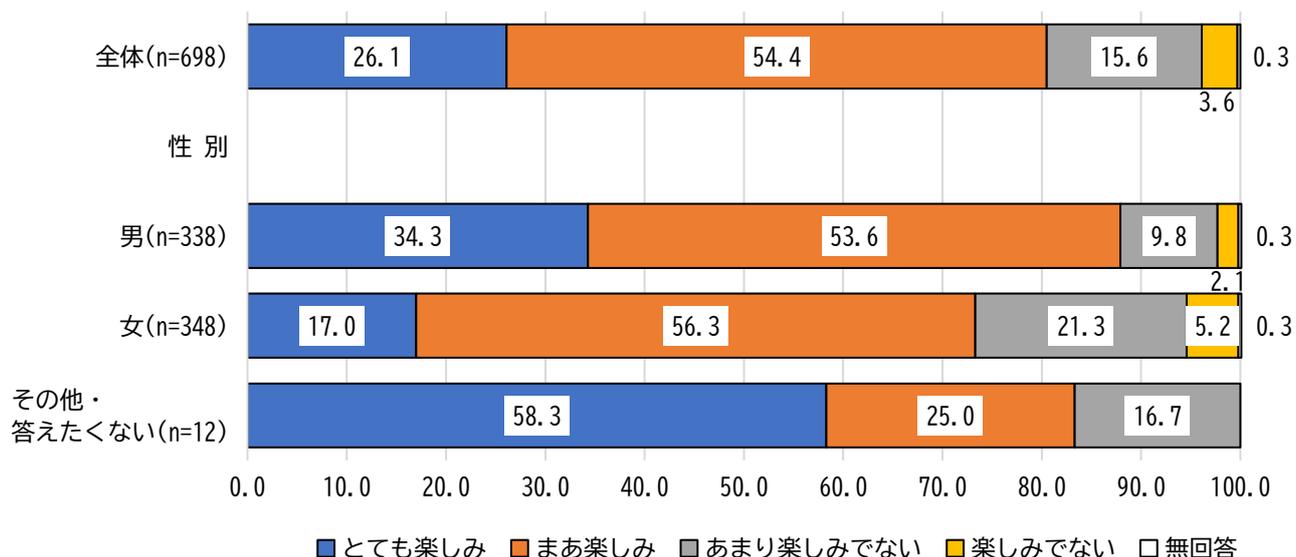
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が17.0ポイント高くなっています。



### ③ タブレットを使用する授業

「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は80.5%となっています。

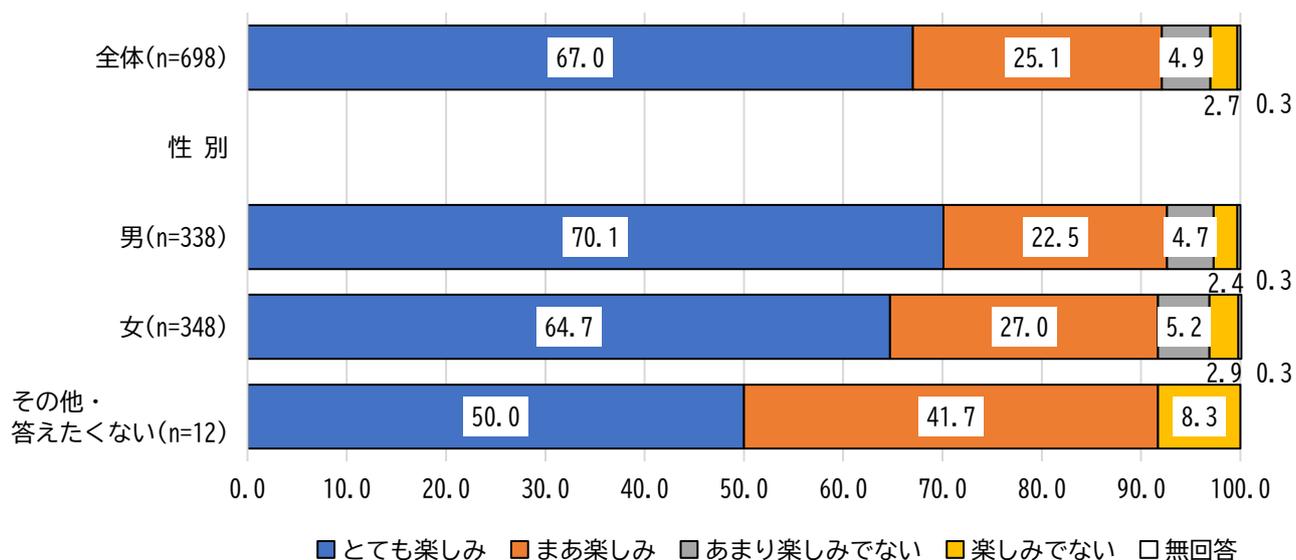
性別で見ると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が17.3ポイント高くなっています。一方で、女子生徒の方が男子生徒よりも「あまり楽しみでない」の割合が11.5ポイント高くなっています。



### ④ 文化祭、運動会などの学校行事

「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は92.1%となっています。

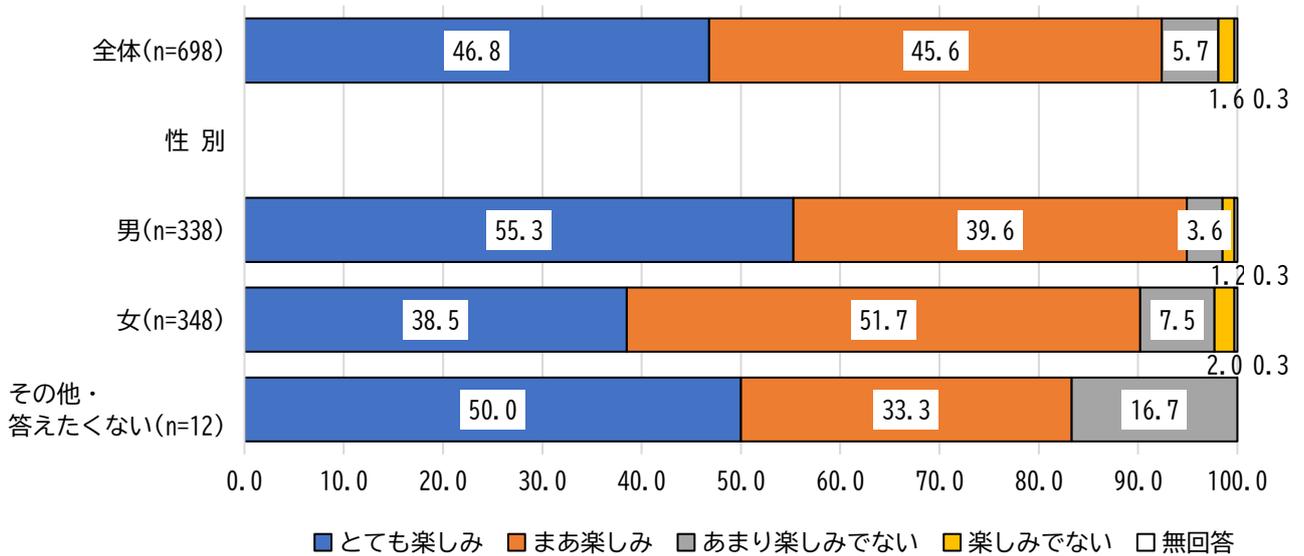
性別で見ると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が5.4ポイント高くなっています。



⑤ 給食

「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は92.4%となっています。

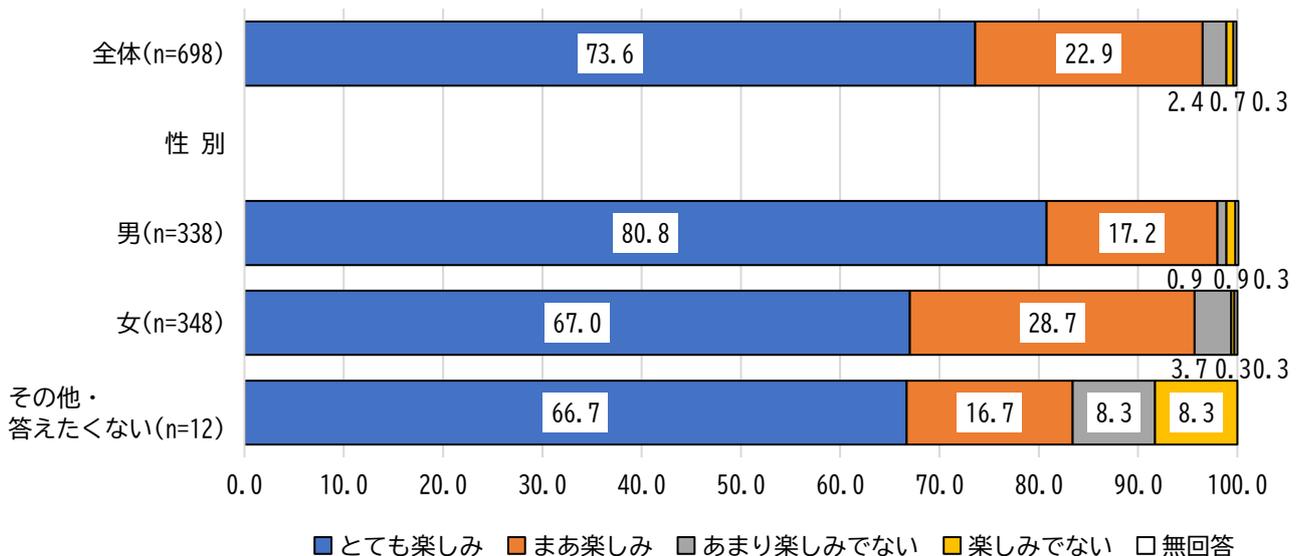
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が16.8ポイント高くなっています。一方で、女子生徒の方が男子生徒よりも「あまり楽しみでない」の割合が3.9ポイント高くなっています。



⑥ 学校の休み時間や放課後

「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は96.5%となっています。

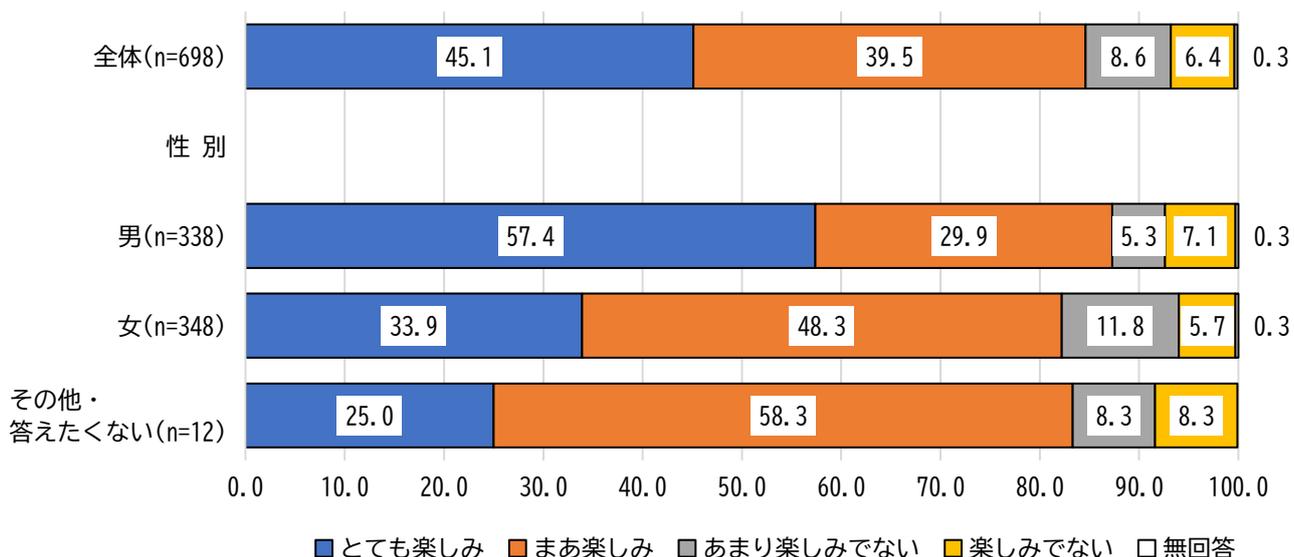
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が13.8ポイント高くなっています。



⑦ 学校のクラブ活動

「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は84.6%となっています。

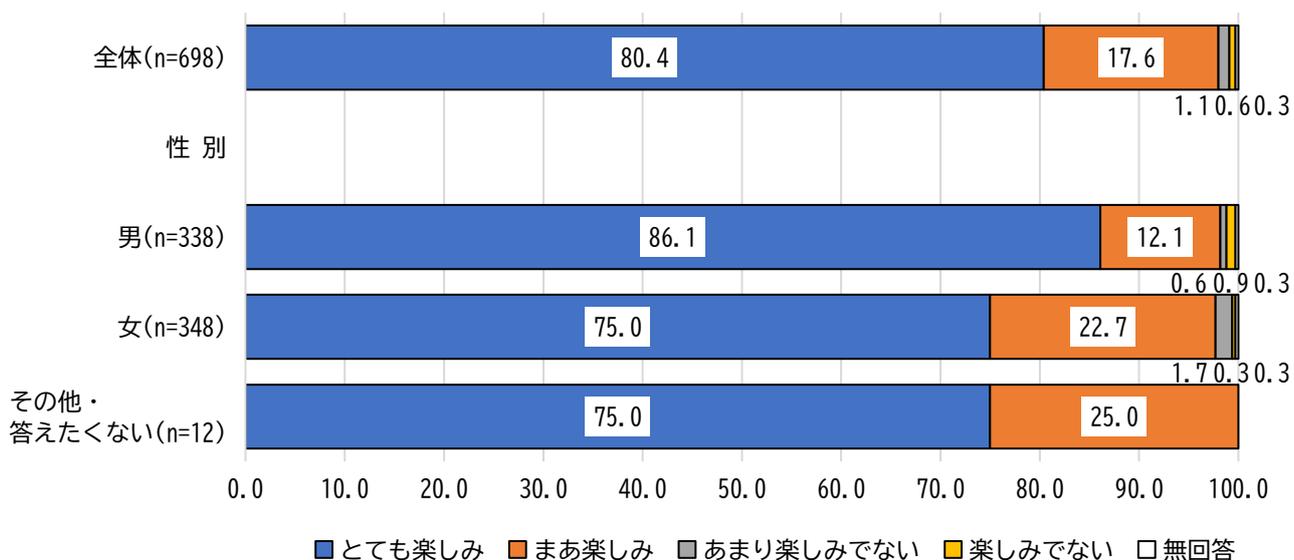
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が23.5ポイント高くなっています。一方で、女子生徒の方が男子生徒よりも「あまり楽しみでない」の割合が6.5ポイント高くなっています。



⑧ 友達に会うこと

「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は98.0%となっています。

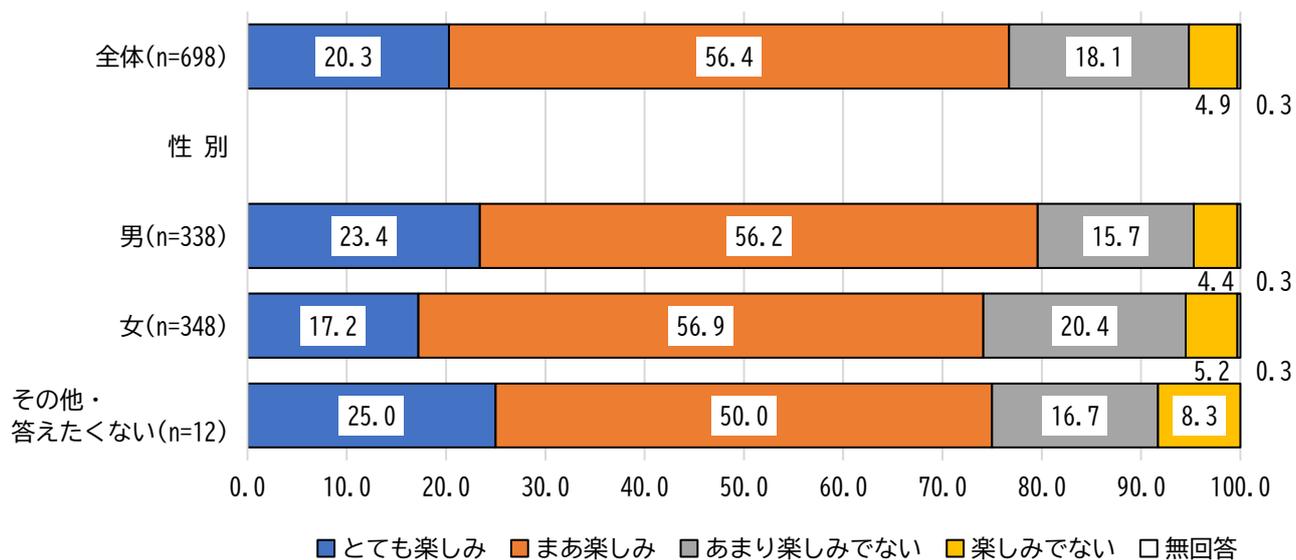
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が11.1ポイント高くなっています。



⑨ 先生に会うこと

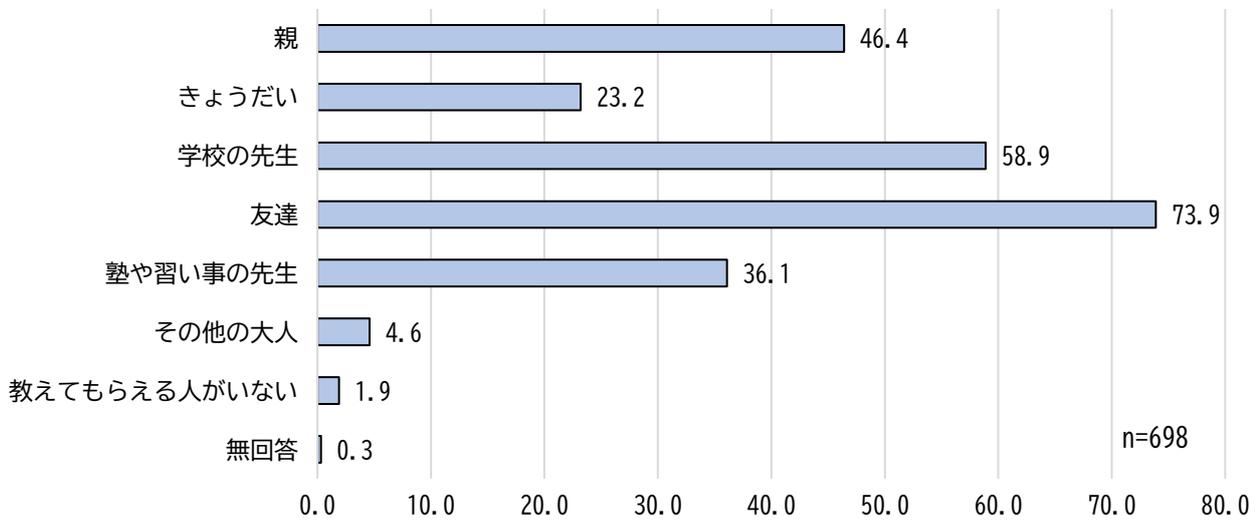
「とても楽しみ」と「まあ楽しみ」を合わせた『楽しみ』は76.7%となっています。

性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「とても楽しみ」の割合が6.2ポイント高くなっています。一方で、女子生徒の方が男子生徒よりも「あまり楽しみでない」の割合が4.7ポイント高くなっています。



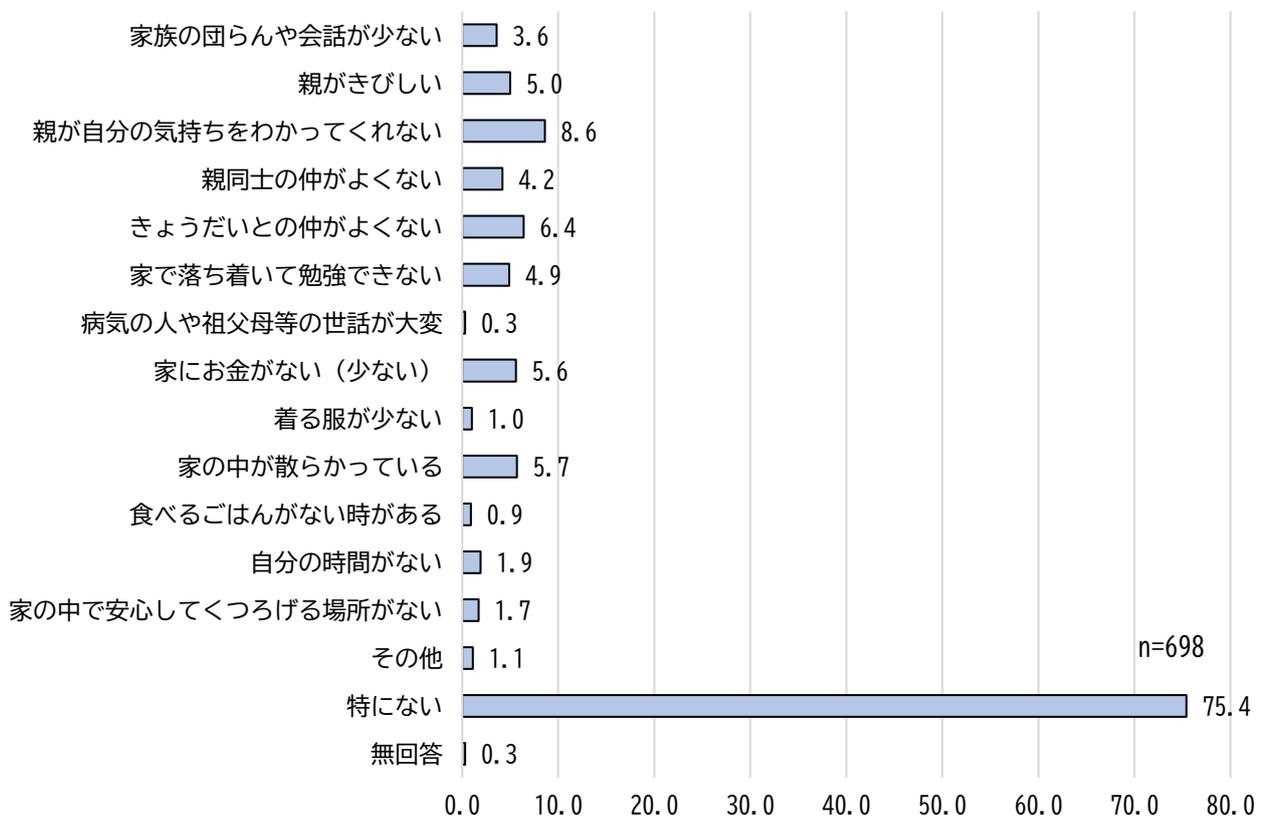
問 14 あなたは、勉強がわからないとき、だれに教えてもらいますか。

勉強がわからないときに、だれに教えてもらうかについては、「友達」が 73.9%で最も高くなっています。次いで「学校の先生」が 58.9%、「親」が 46.4%で続いています。



問 15 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることや心配なことはありますか。

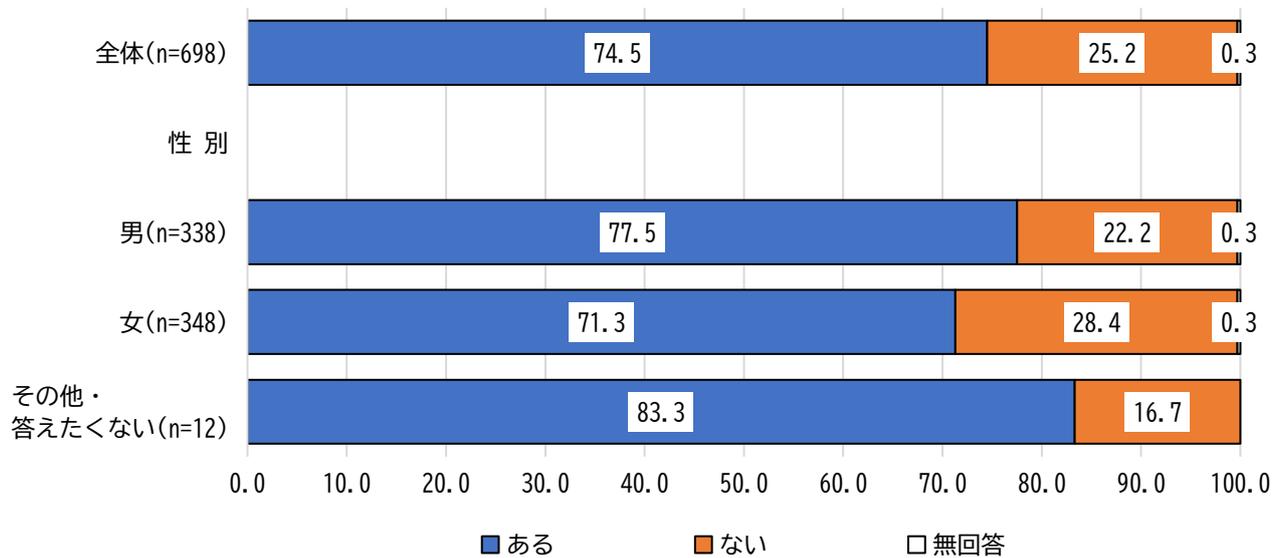
家族のことなどで、困っていることや心配なことについては、「親が自分の気持ちをわかってくれない」が 8.6%で最も高くなっている。次いで「きょうだいとの仲がよくない」が 6.4%、「家の中が散らかっている」が 5.7%となっています。一方で、「特にない」は 75.4%となっています。



問 16 あなたは、将来なりたい職業や夢がありますか。

将来なりたい職業や夢について、「ある」が74.5%、「ない」が25.2%となっています。

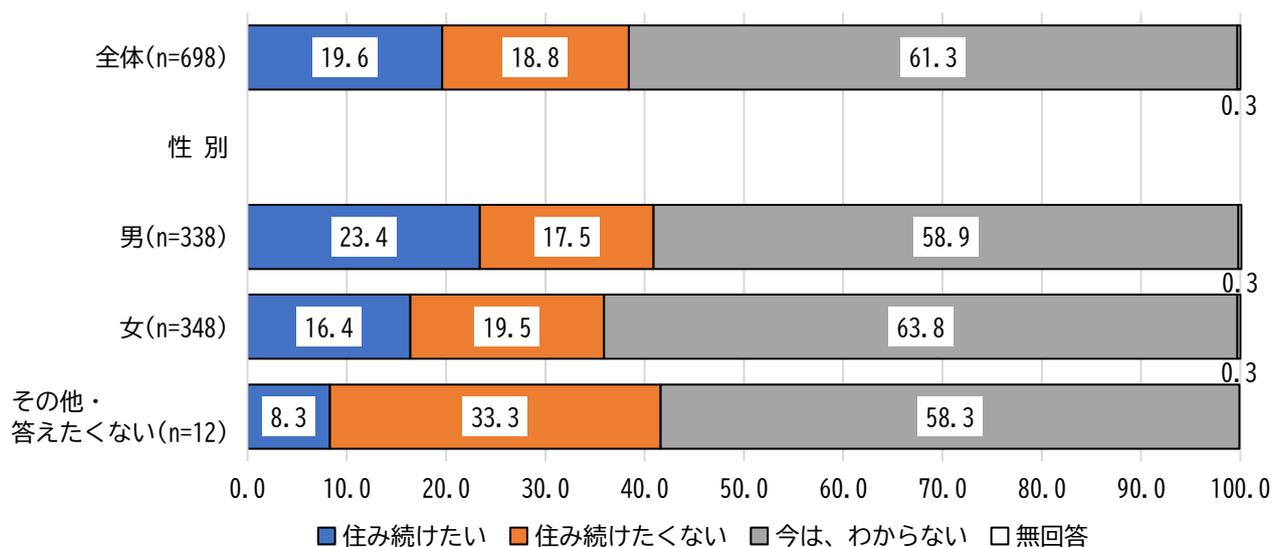
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「ある」の割合が6.2ポイント高くなっています。



問 17 あなたは、いすみ市にずっと住みたいですか。

いすみ市にずっと住みたいかについては、「今は、わからない」が61.3%で最も高くなっています。

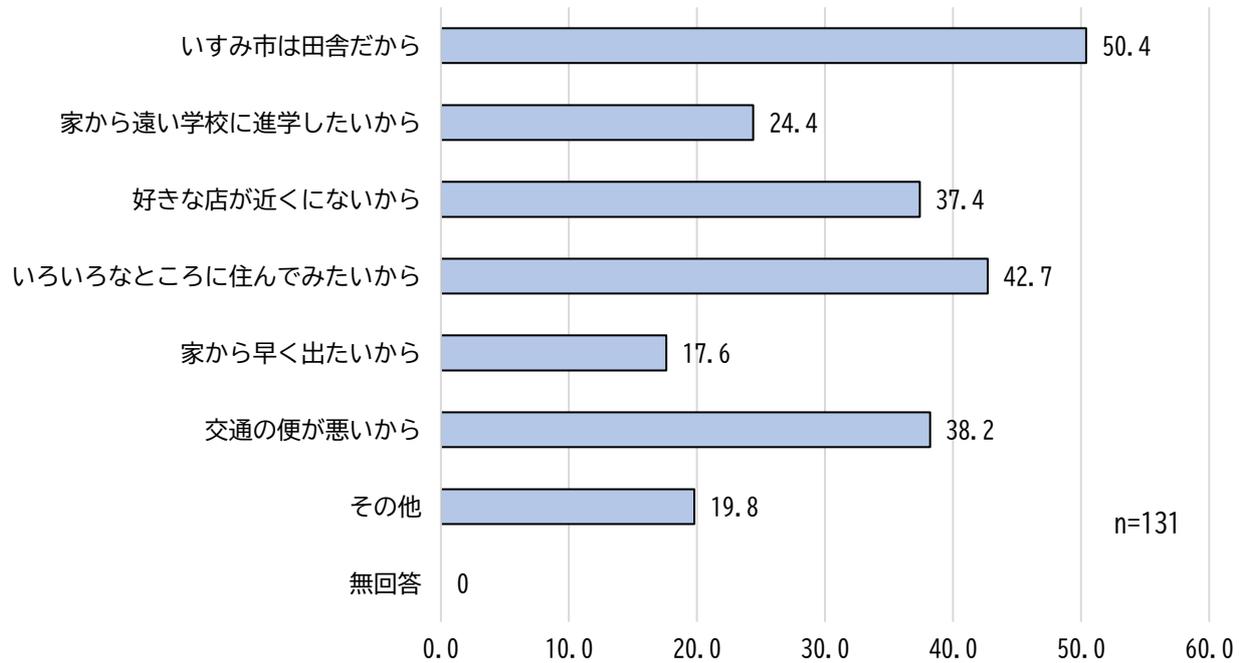
性別でみると、男子生徒の方が女子生徒よりも「住みたい」の割合が7.0ポイント高くなっています。一方で、女子生徒の方が男子生徒よりも「住みたくない」の割合が2.0ポイント高くなっています。



問 17 で「2 住み続けたくない」を選んだ方にうかがいます。

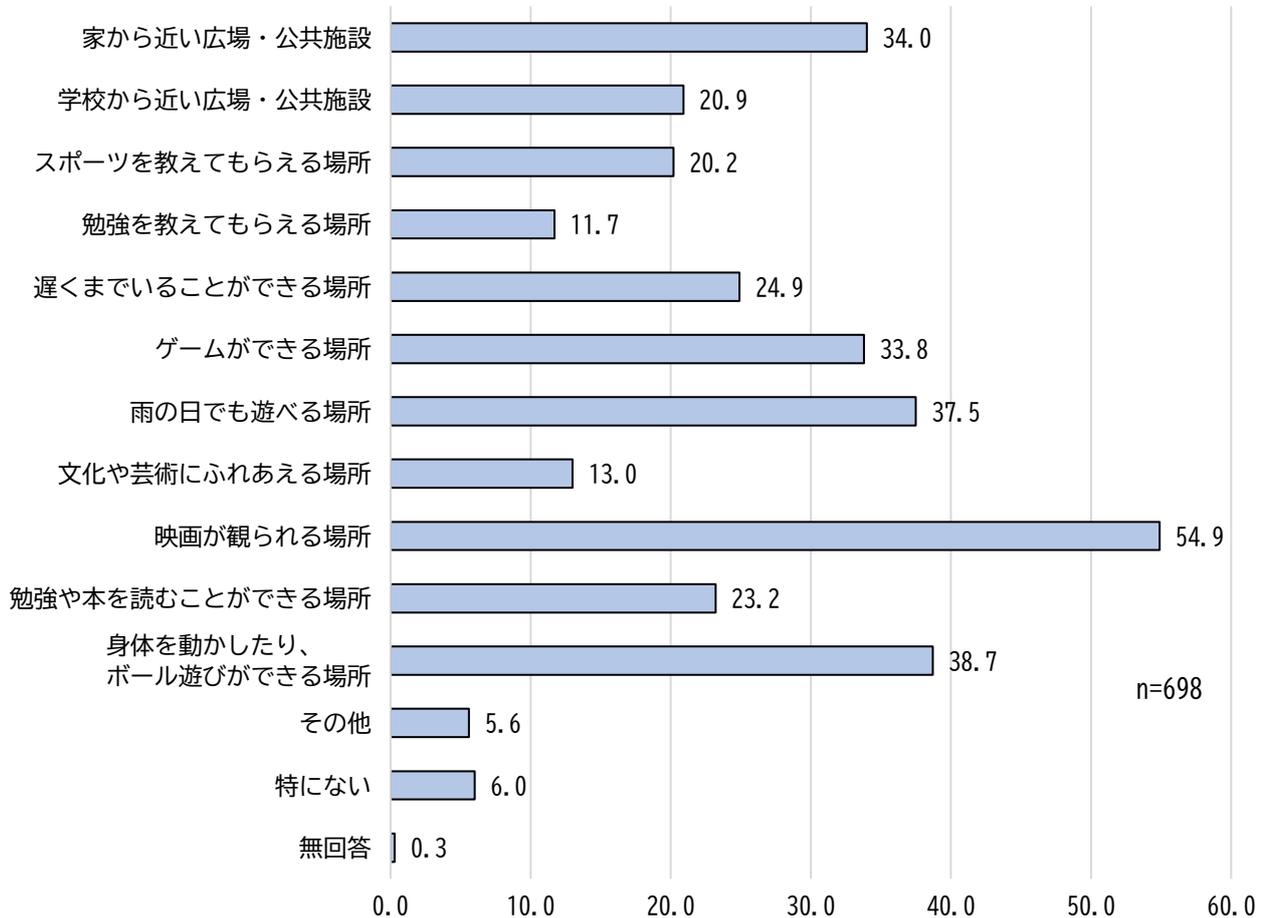
問 18 住み続けたくない理由を教えてください。

住み続けたくない理由については、「いすみ市は田舎だから」が 50.4%で最も高くなっている。次いで「いろいろなところに住んでみたいから」が 42.7%、「交通の便が悪いから」が 38.2%で続いている。



問 19 いすみ市にあったらいいなと思うものやこれから力を入れてもらいたいことはありますか。

いすみ市にあったらいいなと思うものやこれから力を入れてもらいたいことは、「映画が観られる場所」が 54.9%で最も高くなっています。次いで「身体を動かしたり、ボール遊びができる場所」が 38.7%、「雨の日でも遊べる場所」が 37.5%が続いています。



問 20 いすみ市が将来どのような市になればよいと思いますか。ふだん思っていることやほしいものなどご自由にお書きください。

(主なご意見、ご提案)

- ・事件のない安全で楽しい市になればいいと思う。
- ・犯罪のない平和で、自然豊かな市になってほしいです。
- ・誰もが困らない自然豊かで、良い暮らしができる市。
- ・このまま、自然が沢山の市になって欲しいと思う。
- ・ゴミが無くなりお花がいっぱいな街にしたいです。お祭りなどの行事をさかんにしたいです。そして、いすみ市をもっと知って欲しいです。
- ・たくさん人との交流ができるようなところ。
- ・みんなが仲良く、にぎやかな市になればいいなと思う。
- ・このまま自然が綺麗であってほしい。
- ・色々なお店や公園などがあって豊かな町。
- ・市の皆が仲良く、千葉の中心になれる様な市になって欲しい。
- ・誰もが困らない自然豊かで、良い暮らしができる市。
- ・少子高齢化をなくし活気があふれ、イベントがたくさんある。
- ・活発な市になってもらいたい具体的に、イベントや産業、工業 農業が盛んになってほしいです。あとは、市民がいっぱい、いるといいと思いました。
- ・治安が良いより良いいすみ市を築きたい。
- ・きれいな海が取り柄の明るい市になればいいと思います。
- ・いすみ市内が明るく気持ちよいいすみ市のなればいい。犯罪などもないいすみ市。
- ・特にはない、地球温暖化があるため、農作物などが育たなくなってしまう環境になってしまうと思う。だけど、このまま自然がいっぱいあるいすみ市であってほしい。
- ・自然がしっかり守られていて優しい方々であふれる場所。この田舎の雰囲気が好きです。無理に都会にしたり発展させようとしてほしくないです。でもあまり不便がない市がいいです。
- ・自然が多いので電灯をつけるなど、交通の幅をもっと増やした方がいいと思う。路面電車や自転車の貸し借り。いすみ鉄道を大原からより遠くに伸ばすなど。
- ・夷隅川の水質を改善してほしい。無駄な道路工事に税金を使わないでほしい。
- ・映画館やショッピングモールなどたくさんのお店や遊園地などがある市になればいい。
- ・みんなが暮らしやすい市。図書館を作ったりスーパーを増やす。新築住宅ばかり作っているのが不安。
- ・もうちょっと商業施設や便利が高い建物が建ってほしい。近所の人との交流が市のイベントなどで深まってほしい。

(など全 589 件)

いすみ市  
子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
【結果報告書】

令和6年9月

発行 いすみ市

編集 いすみ市 子育て支援課

〒298-8501 千葉県いすみ市大原7400番地1

TEL : 0470-60-1120